

【石川県地域がん情報管理事業報告書】

石川県におけるがん登録

(平成14年標準集計・平成10年罹患者生存率集計)

平成18年3月

石 川 県

目 次

I 石川県地域がん情報管理事業の概要	1
1 目 的	1
2 実施体系の概要	3
3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物	5
II 地域がん登録の評価（登録精度）	6
1 届出の精度	6
2 診断の精度	7
III 罹患集計	8
1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率	8
2 年齢階級別罹患率	12
IV 死亡集計	17
1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	17
2 年齢階級別死亡率	21
V 受療状況	23
1 来院の動機	23
2 自覚症状の有無	24
3 病巣のひろがり	25
4 診断方法	26
5 治療方法	28
VI 地域特性	32
1 医療圏別罹患率及び死亡率	32
2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率	36
VII 全国推計値との比較	40
1 罹患率の比較	40
2 年齢調整罹患率の比較	42
3 死亡率の比較	43
4 年齢調整死亡率の比較	44
VIII 生存率集計	45
1 生存率集計対象及び方法	45
2 生存率の概要	46
3 生存率と受療状況	49
<参考>二次医療圏域	50

付 表

I 罹患集計関係

表 1-1	罹患数、罹患率、年齢調整罹患率	51
表 1-2	部位別罹患率経年変化(平成4年～14年)	51
表 1-3	部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年～14年)	52
表 1-4	年齢階級別罹患率	53
表 1-5	年齢階級別罹患率	56
表 1-6	年齢階級別罹患順位及び罹患数	57

II 死亡集計関係

表 2-1	死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	58
表 2-2	部位別死亡率経年変化(平成4年～14年)	58
表 2-3	部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年～14年)	59
表 2-4	年齢階級別死亡率	60

III 受療状況関係

表 3-1	来院の動機	62
表 3-2	自覚症状の有無	63
表 3-3	病巣のひろがり	64
表 3-4	診断方法	65
表 3-5	治療方法	66
表 3-6	手術	67

IV 地域特性

表 4-1	医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率	68
-------	--	----

V 全国推計値との比較関係

表 5-1	罹患率の比較	72
表 5-2	年齢調整罹患率の比較	72
表 5-3	死亡率の比較	73
表 5-4	年齢調整死亡率の比較	73

VI 生存集計関係

表 6-1	部位別、性別5年生存率(累積生存率、相対生存率)	74
表 6-2	検診群、非検診群別累積5年生存率	74
表 6-3	病巣のひろがり別累積5年生存率	74

資 料

石川県地域がん情報管理事業実施要綱	75
石川県地域がん情報管理事業実施要領	76
石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則	77
石川県地域がん情報管理事業業務区分	79
障害対策及びセキュリティ対策	80
石川県成人病検診管理指導協議会設置要綱	81
石川県成人病検診管理指導協議会委員名簿	84
石川県悪性新生物届出票	85
記入・届出上の留意事項	86
石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出医療機関名及び届出数	88

I 石川県地域がん情報管理事業の概要

- 1 目的
- 2 実施体系の概要
- 3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

1 目的

がん(悪性新生物)は、図1に示すとおり、死亡原因の第1位を占めており、また増加の一途をたどっている。その対策を実効的かつ効率的に推進することは、県民の健康の保持・増進を図る上で極めて重要な課題である。そのためには「がん登録」によってがん罹患数等を的確に把握し、がんに関する動向、地域性等を踏まえて、がん対策を検討・実施することが必要不可欠である。

石川県地域がん情報管理事業では、県内で発症したがんについてその発病から治癒または死亡に至るまでの全経過に関する医療情報を多方面から集め、個々の悪性新生物ごとに集約し、これらの情報を使用して、次の諸活動に資することとしている。

- (1) がん登録統計[※]の作成、解析、報告
 - ① 罹患数の集計及び罹患率の動向の把握
 - ② 受療状況の把握
 - ③ 生存率の動向の把握
 - ④ がん登録統計の解析と報告
- (2) がん統計^{※※}の活用
 - ① がんの予防、医療活動の企画と評価
 - ② 医療施設における対がん活動の援助
 - ③ がん予防、医療活動の普及、啓発
 - ④ 生活習慣、生活環境のモニタリングの一環
- (3) 地域がん情報の活用
 - ① がん検診の精度評価
 - ② 医療施設におけるがん医療の評価の支援
 - ③ 疫学研究への活用

注) 用語の定義

※ がん登録統計とは、がん登録(主治医や検診機関からの届出)によって集計される統計をいう。

※※ がん統計とは、上記のがん登録統計にがん死亡(人口動態調査死亡票によるもの)統計を加えた統計をいう。

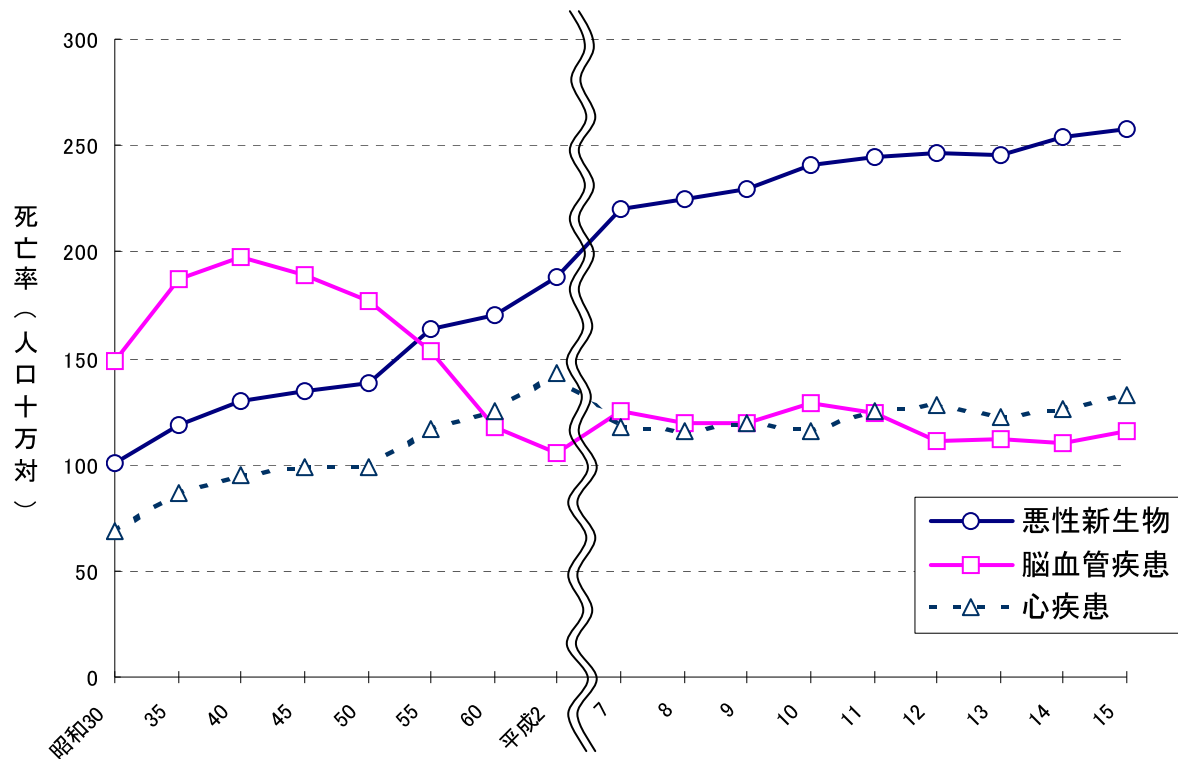


図1 石川県の死因別死亡率の年次推移

【参考】平成7年に死因分類国際統計分類第10回修正 ICD-10 及び死亡診断書の改正(「疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全等は書かないでください。」の注意書きが加えられた。)等の変更があった。

2 実施体制の概要

(1) 実施体制

この事業は、平成3年(1月から試行、10月から本格実施)から、石川県が実施主体となり社団法人石川県医師会、県内全医療施設及び金沢市保健所の協力を得て実施している。(p4、実施体制図参照)。

(2) 事業の精度管理・評価、プライバシー保護等に関する指導、助言

地域がん情報管理事業を進めるにあたり「石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会」において、がん登録資料の利用に際し、個人の秘密保護及び情報管理に必要な事項を審議する。また、集計、解析結果の評価及びがんの動向等について専門的見地からの指導、助言を求めている(p4、実施体制図参照)。

(3) 地域がん情報の収集・集計・解析・報告等の方法

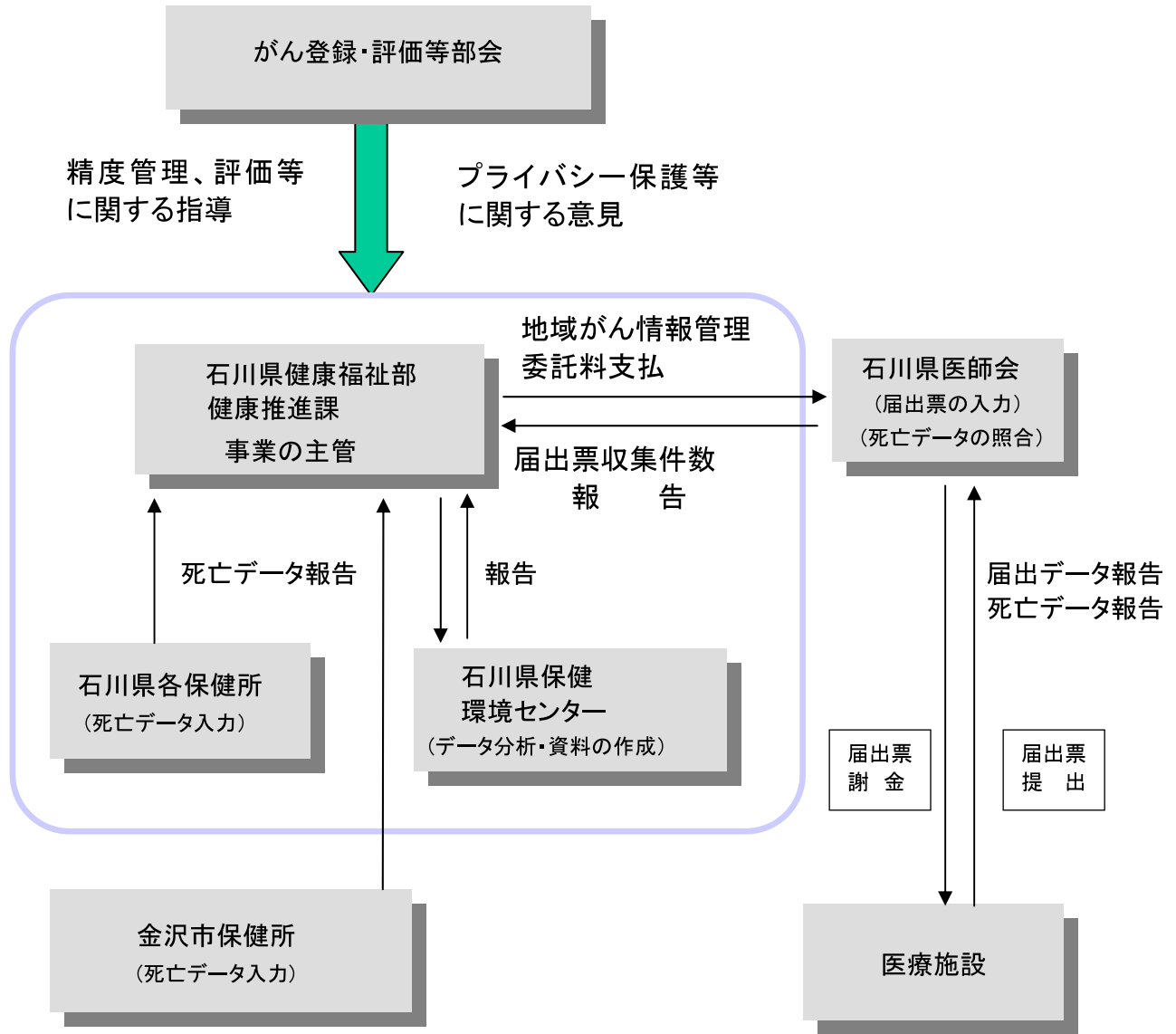
「地域がん情報」には大きく分けて①がん罹患・受療情報、②がん死亡情報、の2種類がある。このうち、がん罹患・受療情報の収集は県医師会に委託している。県医師会は県内医療施設の医師から届出される「石川県悪性新生物届出票」を精査、補足し届出票の内容を入力している。

一方、がん死亡情報は県及び金沢市保健所が人口動態調査死亡票の内容を入力し、県健康推進課がそれを取りまとめ、県医師会に送付する^{注)}。

県医師会は罹患情報と死亡情報との照合、同定を行い、当事業の対象情報を登録する。登録情報は、県保健環境センターに送付され、そこで罹患数(率)、受療状況、生存率等について集計、解析する。その結果は県健康推進課が報告書として公表する。

注) 死亡票の使用に関して厚生労働省「指定統計調査調査票使用」の許可を得て行っている。

地域がん情報管理事業の実施体制図



3 届出・登録・集計対象となる悪性新生物

(1) 登録対象者

県内に住み、県内医療施設において登録対象がんに罹患したと診断された者及びそれによる死亡者を対象とする(外国人を含む。)その登録は次の2つのルートによる。

① 罹患患者の登録

県内医療施設が登録対象がんの患者を診断した場合に提出される「石川県悪性新生物届出票」(以下、「届出票」という。)を県医師会で収集しその内容を入力する。

② 死亡患者の登録

保健所で人口動態調査死亡票(以下、「死亡票」という。)を収集しその内容を入力する。

(2) 対象となる悪性新生物

届出対象となる悪性新生物の範囲は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正(ICD-10)」のうち原発部位が表1に記載した男性8部位、女性10部位(以下、「登録部位」という。)とした。

なお、当事業は精度管理等の観点から男性8部位、女性10部位で開始したが、その罹患数合計は、全国推定罹患数(「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成10年度報告書:主任研究者 大島明)により試算すると、全部位の罹患数合計に対し、男性75.0%、女性82.0%を占める。

(3) 人口及び標準人口

罹患率・死亡率の計算には、国勢調査年次は国勢調査人口を用い、中間年は石川県推計人口を用いた。年齢調整の標準人口には昭和60年モデル人口を用いた。

(4) 平成14年標準集計

登録された悪性新生物のうち、平成14年1月1日から平成14年12月31日の間に罹患日を持つもの(死亡票のみで登録されたがんについては、死亡日を罹患日とした)について、集計・解析した^{注)}。

注)厚生省「地域がん登録」研究班「地域がん登録の手引き-改訂第3版」(1988)において、罹患数集計は登録精度向上のため集計対象年から2年経過した後に行うとしている。

表1 届出対象部位

国際基本分類 (ICD-10)	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S状結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう(嚢)及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

II 地域がん登録の評価（登録精度）

- 1 届出の精度
- 2 診断の精度

1 届出の精度

(1) 死亡票のみによる登録の割合＝DCO割合 (Death Certificate Only)^{注1)}

平成 14 年中の罹患数は 3,125(平成 13 年 2,998)、そのうち死亡票のみによる登録数は 1,600(同 1,553)、DCO割合は 51.2%(51.8%)であり、平成 13 年より 0.6 ポイント減少した。

(2) 罹患数とがん死亡数との比＝I/D比 (Incidence/Death)^{注2)}

平成 14 年中の罹患数は 3,125(平成 13 年 2,998)、死亡数は 2,317(同 2,237)で、I/D比は 1.35(同 1.34)となっている。

図2 がん総数と登録数



注1) 届出の精度は、対象地域の実際の罹患数のうち、どれだけが登録されているかによって判断すべきであるが、これを常時調査することは容易ではない。そこで、「罹患数の中で、死亡票のみで登録されたものがどれだけあるか(DCOの割合)」によって測定する方法が諸外国で広く用いられている。この指標は、生存例の届出もれの程度を間接的に示す負の指標であり、数字が小さいほど届出もれが少ないと考えられ、この率が 20%未満になることが一応の目標とされている。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

注2) 罹患数の信頼度の指標として、「罹患数とがん死亡者数との比」も観察する必要がある。全がんについてこの比の値が 1.5 以下の場合、届出もれのあることが推定される。

(厚生省地域がん登録研究班「地域がん登録の手引き」改訂第4版(1999)より)

2 診断の精度

組織診で確かめられた者の割合^{注)}

平成14年の罹患数は3,125(平成13年2,998)、組織診実施数は1,224(同1,173)、組織診で確かめられた者の割合は39.2%(同39.1%)であり、平成13年より0.1ポイント増加した。

また、罹患数のうちDCOを除いたものを分母とした、組織診で確かめられたものの割合は80.3%(同81.2%)であり、平成13年より0.9ポイント減少した。

注)がんの診断は、最終的には組織診による。そこで、国際的には、組織診で確かめられたがんが、登録した罹患数の中でどれだけの割合を占めるかを調べ、これを診断精度の指標としている。

また、届出のない(死亡票のみ)がんについては、組織診が行われたかどうか明確でない場合が多いため、届出票のあるもの(罹患数のうちDCOを除いたもの)を分母とし、組織診のあるものを分子として、この割合を求める方法もとられている。

表2 石川県における登録精度総括表(平成4年～14年)

	罹患数		組織診 実施数	死亡数	届出精度		診断精度	
	(I)	死亡票のみで 登録された数 (DCO)			DCO 割合 (DCO/I) (%)	I/D値 (I/D)	組織診で確か められた者の割合 (H/I) (%)	DCOを除いたもの を分母とした組織診 で確かめられた者の割合 (H/R) (%)
H14	3,125	1,600	1,224	2,317	51.2	1.35	39.2	80.3
H13	2,998	1,553	1,173	2,237	51.8	1.34	39.1	81.2
H12	2,947	1,524	933	2,256	51.7	1.31	31.7	65.6
H11	3,180	1,425	1,164	2,227	44.8	1.43	36.6	66.3
H10	3,229	1,401	1,214	2,189	43.4	1.48	37.6	66.4
H9	3,262	1,377	1,172	2,092	42.2	1.56	35.9	62.2
H8	3,189	1,343	1,222	2,078	42.1	1.53	38.3	66.2
H7	3,290	1,295	1,292	1,994	39.4	1.65	39.3	64.8
H6	3,337	1,056	1,504	1,885	31.6	1.77	45.1	65.9
H5	3,274	1,136	1,432	1,847	34.7	1.77	43.7	67.1
H4	3,263	1,206	1,311	1,793	37.0	1.82	40.2	63.7

I=罹患数

DCO=罹患数中死亡票のみで登録されているもの

H=組織診実施数

D=死亡数

R=罹患数中届出票で登録されているもの((I)-(DCO))

【参考】登録精度の全国状況(平成12年)

厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成15年度報告書(主任研究者 大島 明)によれば、全国13府県市の登録精度の平均値は以下のとおりである。

DCO/I : 19.9% (5.6% - 36.3%)

I/D : 1.79 (1.53 - 2.45)

H/I : 68.5% (51.0% - 86.4%)

H/R : 85.4% (65.1% - 96.0%)

Ⅲ 罹患集計

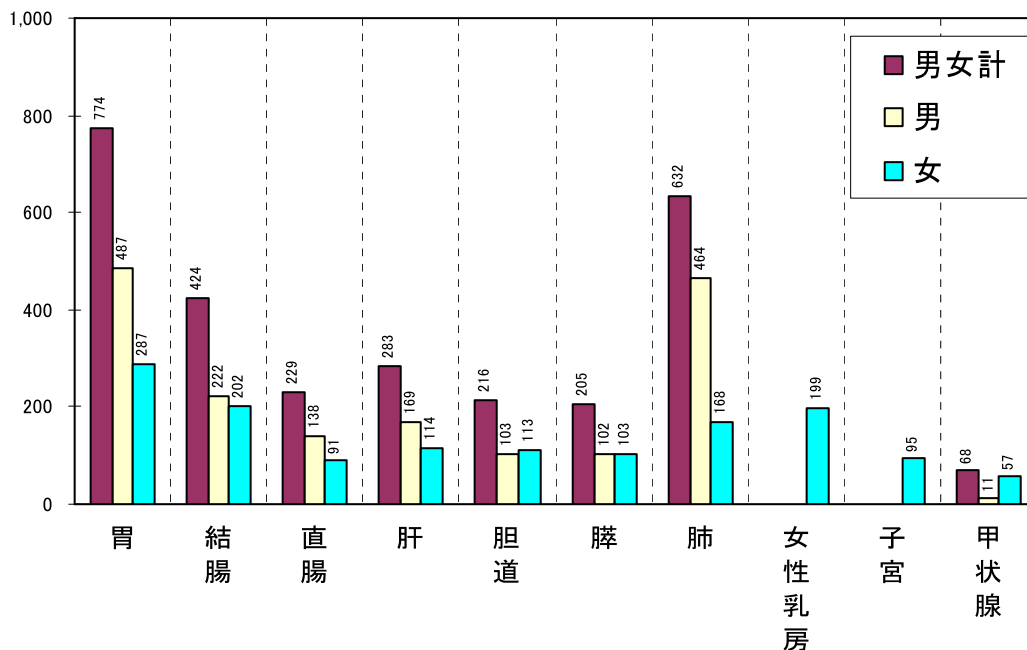
- 1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率
- 2 年齢階級別罹患率

1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

(1) 罹患数（付表 1-1）

平成14年の罹患数は、男女計3,125(男8部位、女10部位合計)であり、男は1,696(8部位)、女は1,429(10部位)であった。部位別では、胃(774)、肺(632)、結腸(424)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸とすると、胃(774)、大腸(653)、肺(632)の順であった。性別では、男は胃(487)、肺(464)、結腸(222)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(360)であった。女は胃(287)、結腸(202)、乳房(199)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(293)であった。

図3-1 罹患数

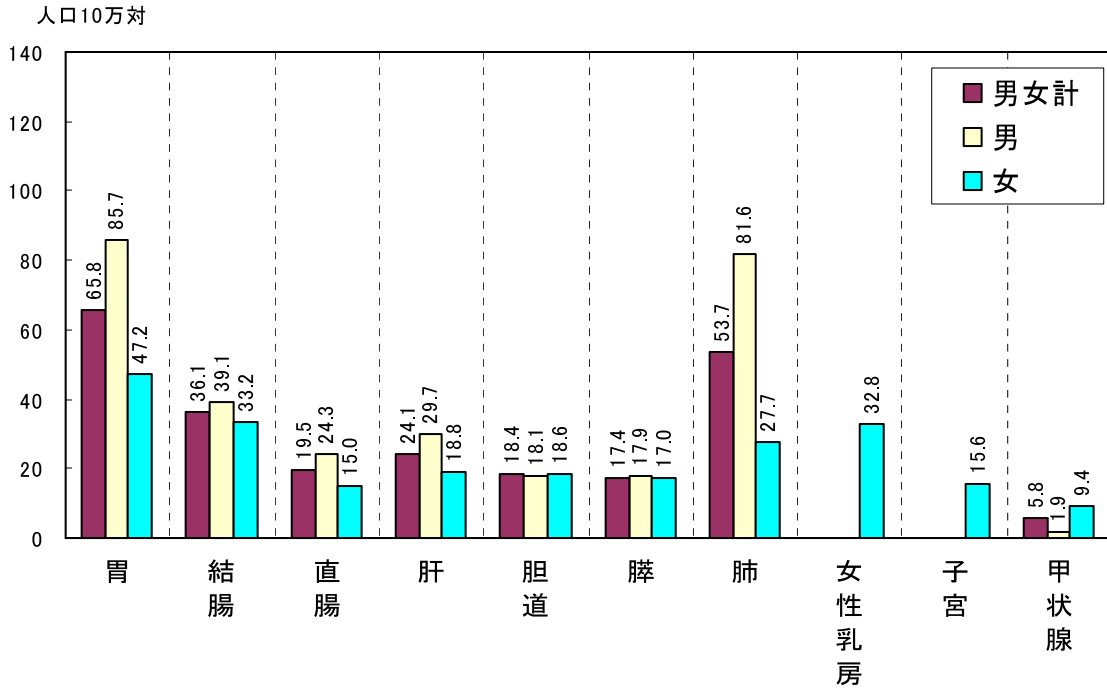


(2) 罹患率（付表 1-2）

平成14年の罹患率(人口10万対)は男女計で胃(65.8)、肺(53.7)、結腸(36.1)の順であった。また、結腸と直腸をあわせて大腸(55.6)とすると胃、大腸、肺の順であった。

性別では、男は胃(85.7)、肺(81.6)、結腸(39.1)、肝(29.7)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(63.4)となる。女は胃(47.2)、結腸(33.2)、乳房(32.8)、肺(27.7)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(48.2)であった。

図3-2 罹患率

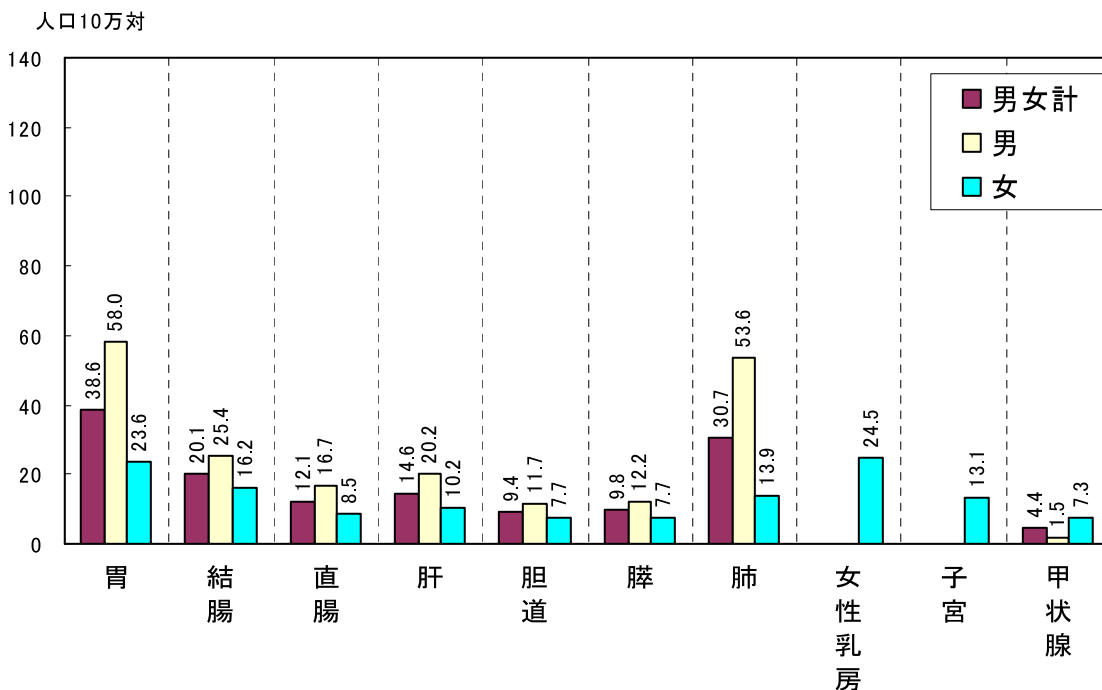


(3) 年齢調整罹患率 (付表 1-1)

直接法による年齢調整罹患率(人口 10 万対、昭和 60 年モデル人口使用)は、男女計では、胃(38.6)、肺(30.7)、結腸(20.1)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(32.2)とすると胃、大腸、肺の順であった。

性別では、男は胃(58.0)、肺(53.6)、結腸(25.4)、肝(20.2)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(42.1)となる。女は乳房(24.5)、胃(23.6)、結腸(16.2)、肺(13.9)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(24.7)となる。

図3-3 年齢調整罹患率

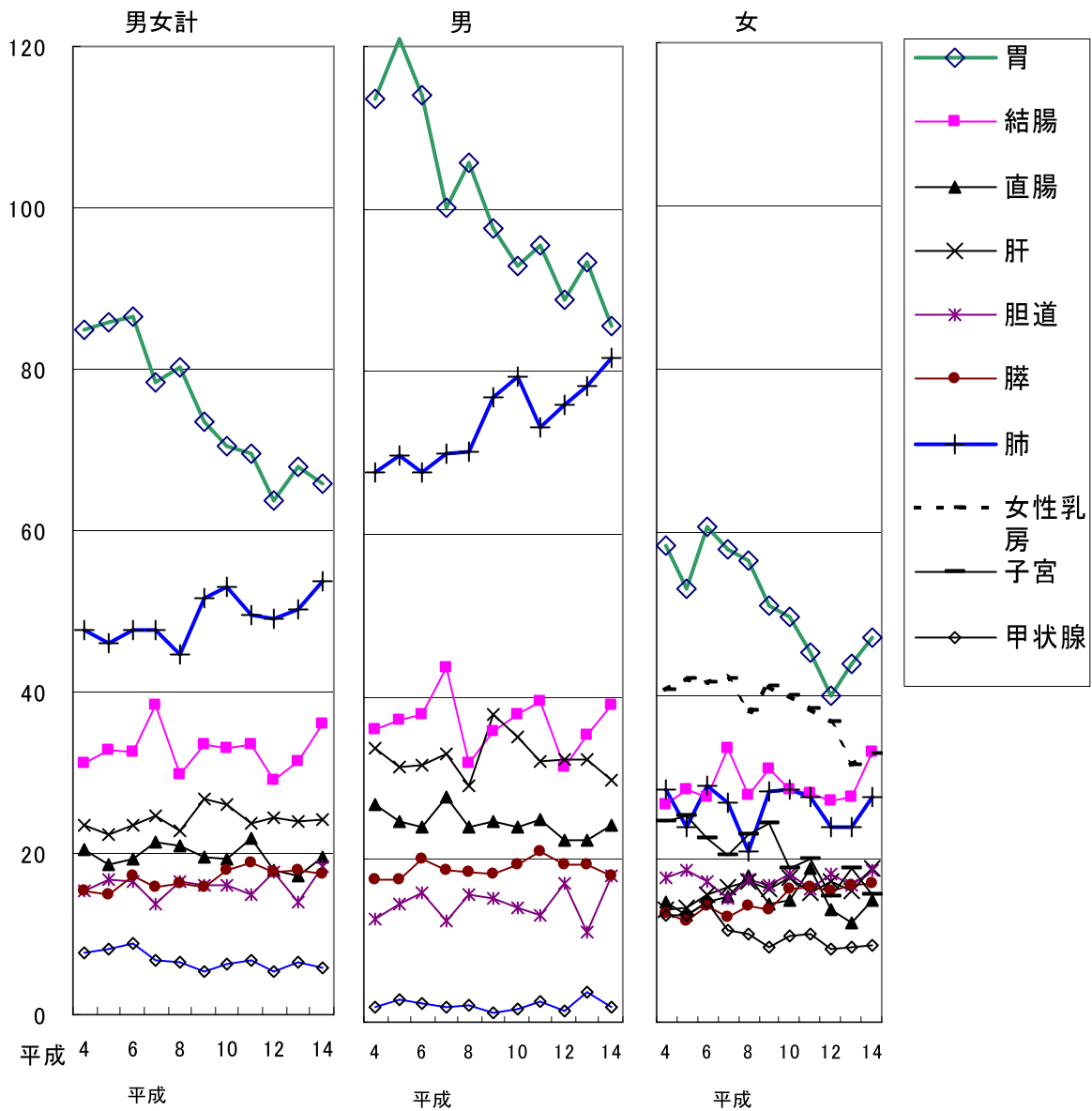


(4) 罹患率の経年変化(平成4年～14年) (付表1-2)

女性では胃が増加傾向にあるように見えるが単年度の変動が大きいため一概には言えない。

図3-4 罹患率の経年変化

人口10万対

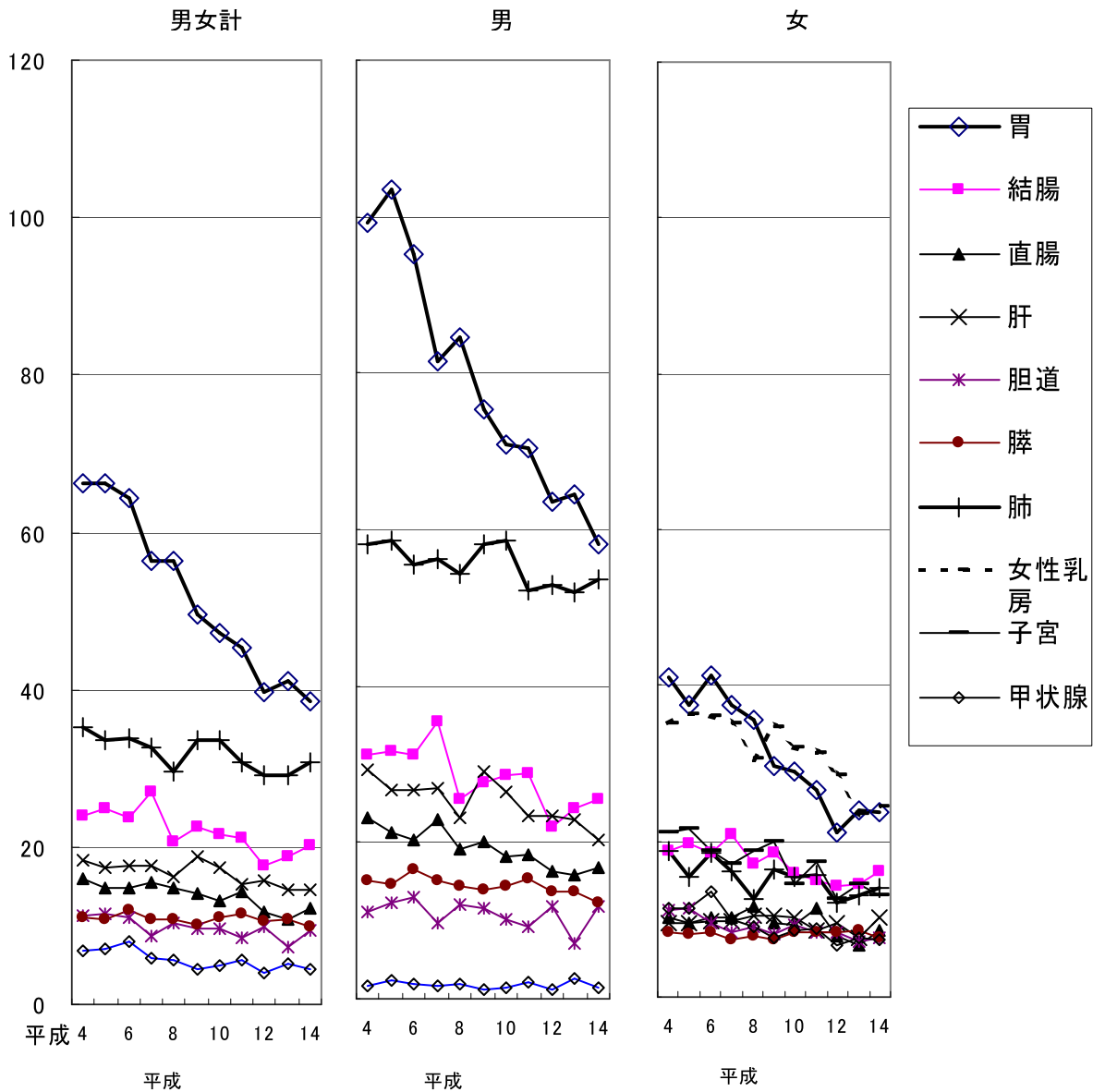


(5) 年齢調整罹患率^{注)}の経年変化(平成4年～14年)(付表1-3)

男女とも胃が減少傾向にある。

図3-5 年齢調整罹患率の経年変化

人口10万対



注) 罹患数を全人口で割ったものが(粗)罹患率であるが、(粗)罹患率は高齢者が多い方が高い罹患率を示しやすいため、地域比較や経年比較をするには適当な指標とはいえない。そこで、年齢構成を基準人口に補正して計算したのが年齢調整罹患率である。

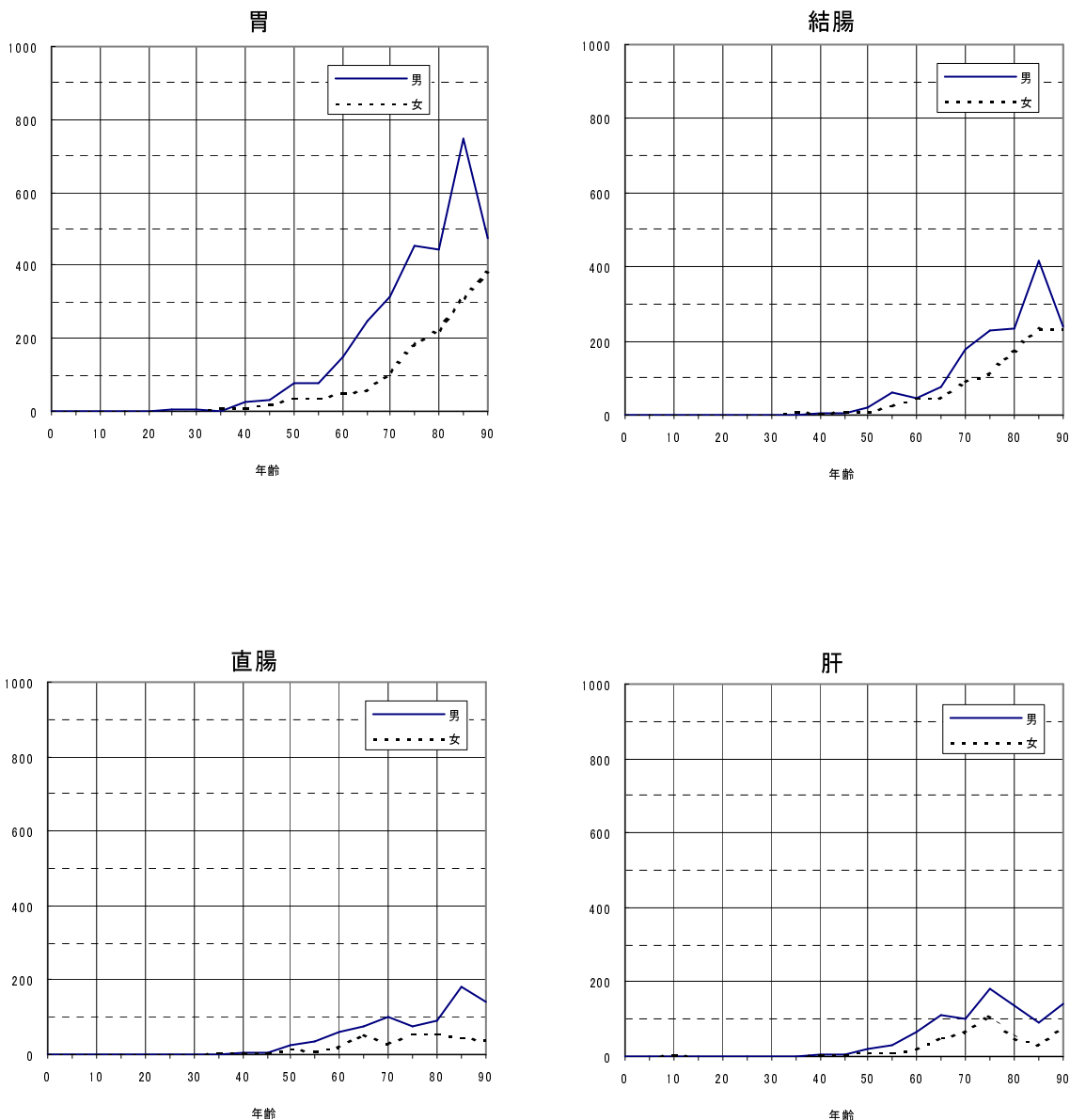
2 年齢階級別罹患率

(1) 年齢階級別罹患率（付表 1-5）

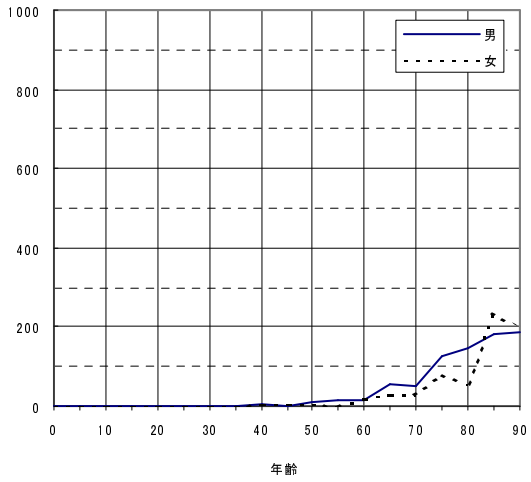
男女ともほぼ加齢に従って増加の傾向を示している。男では胃 85～89 歳で 745.5、肺 90 歳以上で 756.1 と高値を示しており、女では胃 90 歳以上で 374.3、結腸 90 歳以上で 235.7 と高値を示している。

また、女性乳房及び子宮は、他の部位に比べ加齢による変化が少ない。

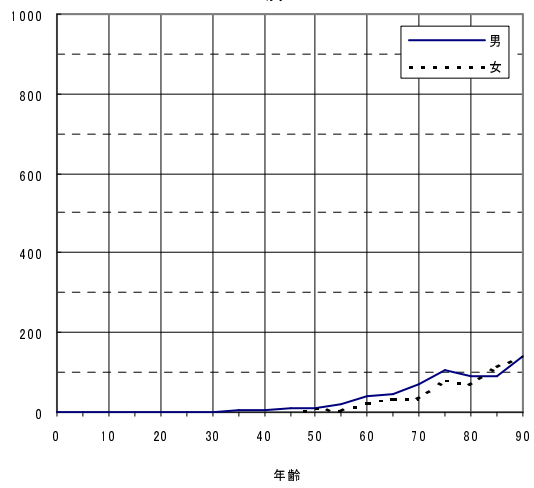
図 3-6 男女別年齢階級別罹患率(人口 10 万対)



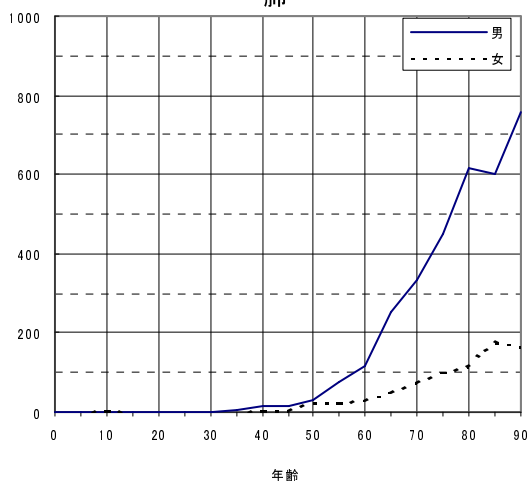
胆道



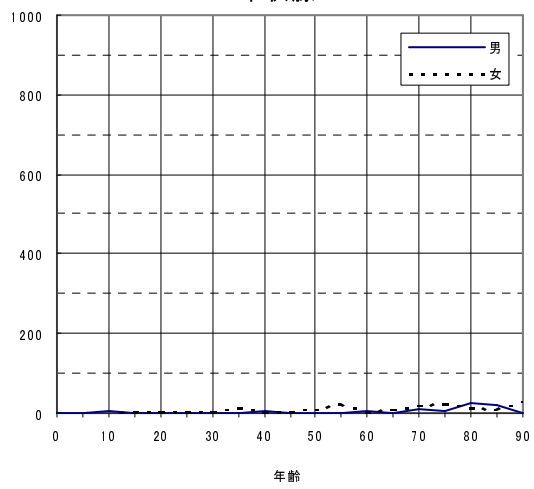
脾



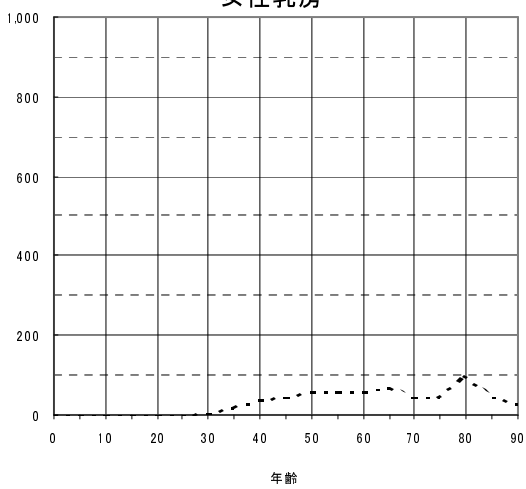
肺



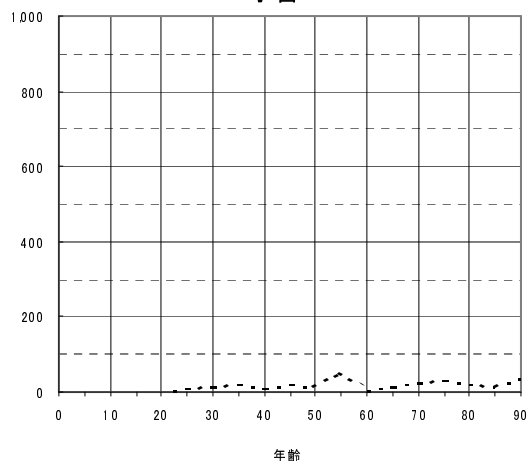
甲状腺



女性乳房



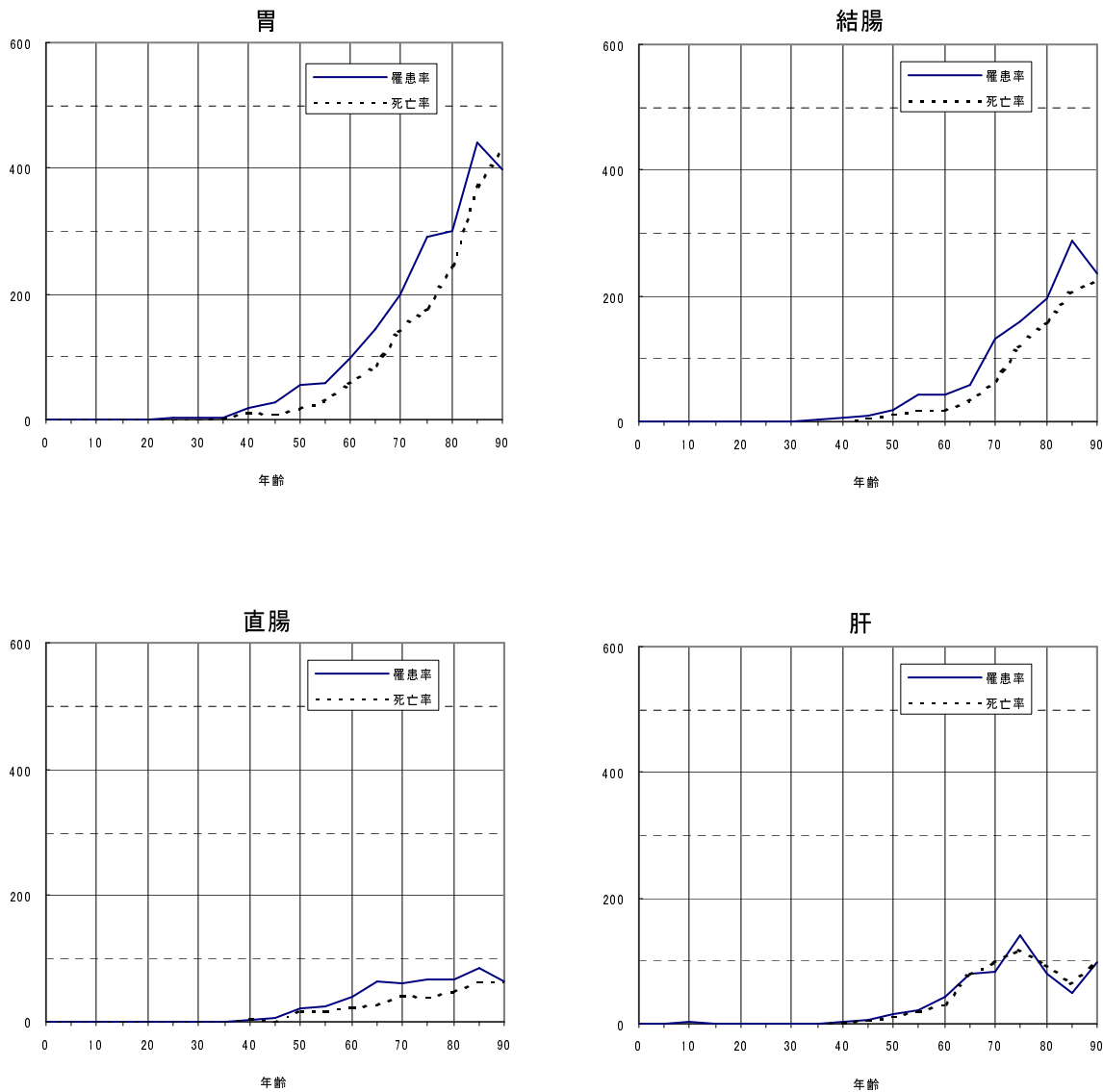
子宮



(2) 年齢階級別罹患率、死亡率比較 (付表 1-5、2-4)

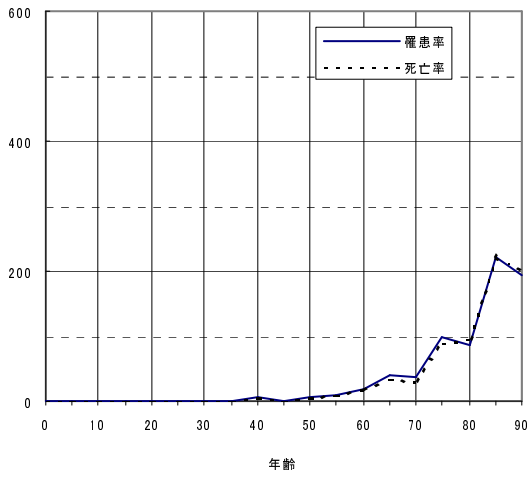
死亡に関する集計結果はIV章で記載するが、部位別の年齢階級別罹患率と死亡率の比較は図 3-7 のとおりであった。

図 3-7 年齢階級別罹患率、死亡率 (男女計) (人口 10 万対)

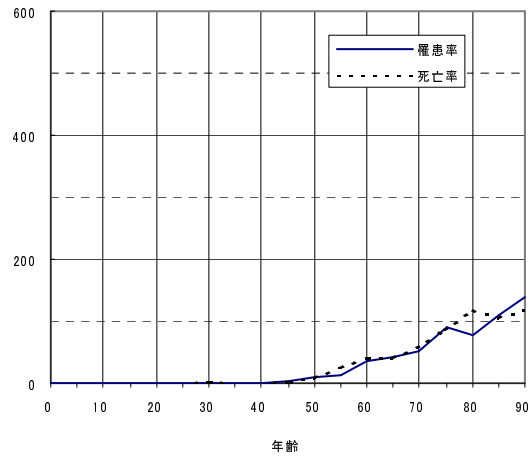


注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

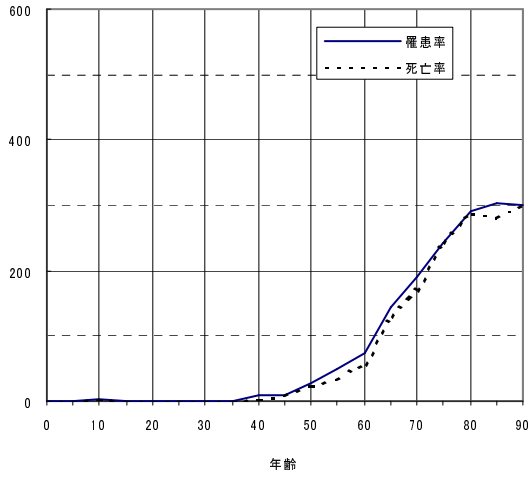
胆道



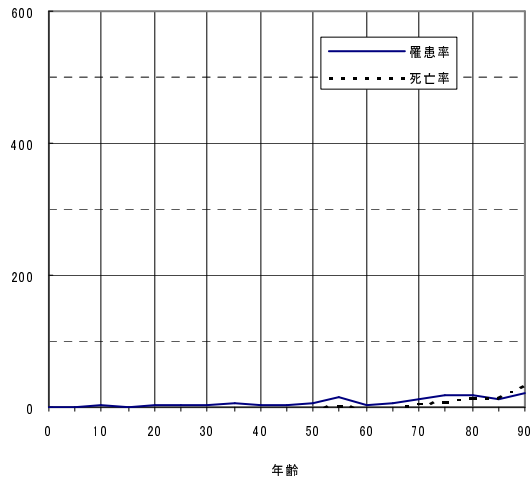
膵



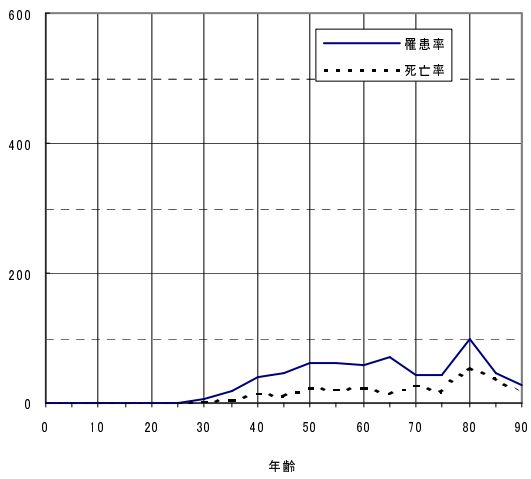
肺



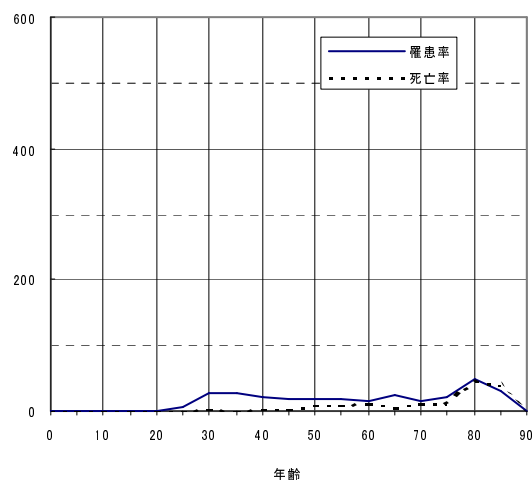
甲状腺



女性乳房



子宮



注) 女性乳房及び子宮の母数は、女性人口

(3) 死亡数に対する罹患数の割合

死亡数に対する罹患数の割合を部位別にとりまとめた(表3)。この割合は部位ごとの生存率の相対的な大小の傾向を示唆するものであり、割合の大きい方が生存率が高いことを示唆すると考えられる。

男女計で最も高いのは甲状腺であり、次いで結腸、直腸、胃といった消化管が続き、膵、肺、胆道、肝は1に近い値となっている。女性乳房、子宮も高い値となっており、生存率が高いことを示唆している。

表 3 死亡数に対する罹患数の割合

	男女計	男	女
胃	1.51	1.53	1.49
結腸	1.57	1.71	1.44
直腸	1.51	1.35	1.82
肝	1.02	0.95	1.15
胆道	1.07	1.14	1.01
膵	1.06	1.11	1.02
肺	1.10	1.10	1.11
女性乳房			2.49
子宮			2.50
甲状腺	3.09	1.83	3.56

IV 死亡集計

- 1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率
- 2 年齢階級別死亡率

1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

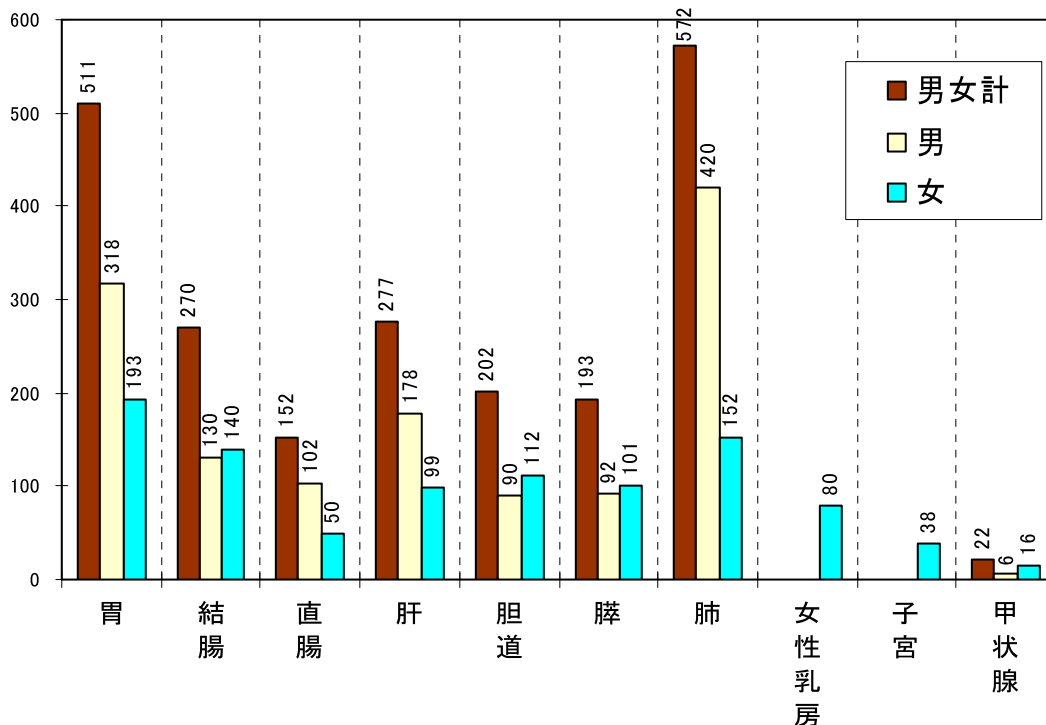
(1) 死亡数（付表 2-1）

平成 14 年のがん死亡数は男女計で 2,317(男 8 部位、女 10 部位合計)であり^{注)}、部位別では肺(572)、胃(511)、肝(277)結腸(270)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸(422)とすると胃、肺、大腸の順となる。

性別では、男は 1,336 であり、部位別では肺(420)、胃(318)、肝(178)、結腸(130)の順になっており、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(232)となる。

女は 981 であり、部位別では胃(193)、肺(152)、結腸(140)の順であり、結腸と直腸をあわせて大腸とすると(190)となる。

図 4 - 1 死亡数



注) データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成 14 年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。

(2) 死亡率、年齢調整死亡率（付表 2-1）

死亡率(人口 10 万対)は、男女計で最も高いのは肺(48.6)、胃(43.5)、肝(23.6)、結腸(23.0)の順となっている。性別で見ると、男の部位別では肺(73.9)、胃(55.9)、肝(31.3)、結腸(22.9)の順となっている。女の部位別では胃(31.8)、肺(25.0)、結腸(23.0)、胆道(18.4)の順となっている。

直接法による年齢調整死亡率(昭和 60 年モデル人口使用)は、前記死亡率と男女計・男性の順位はほぼ同じであった。

図 4-2 死亡率

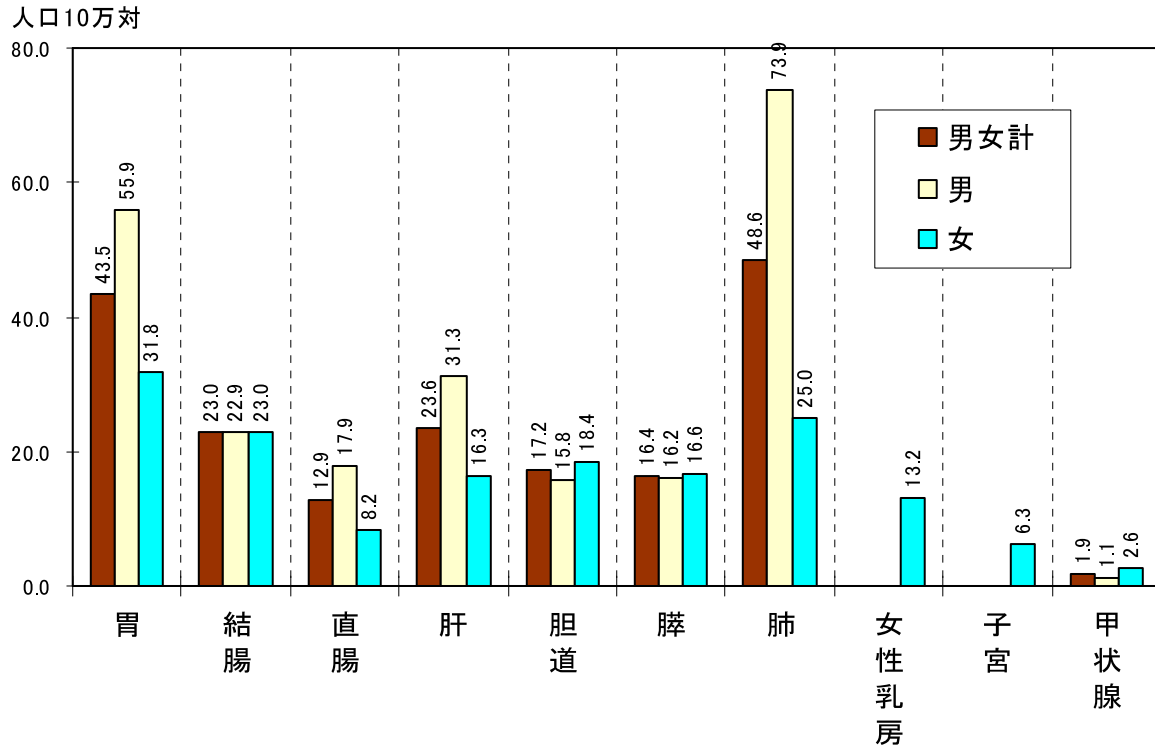
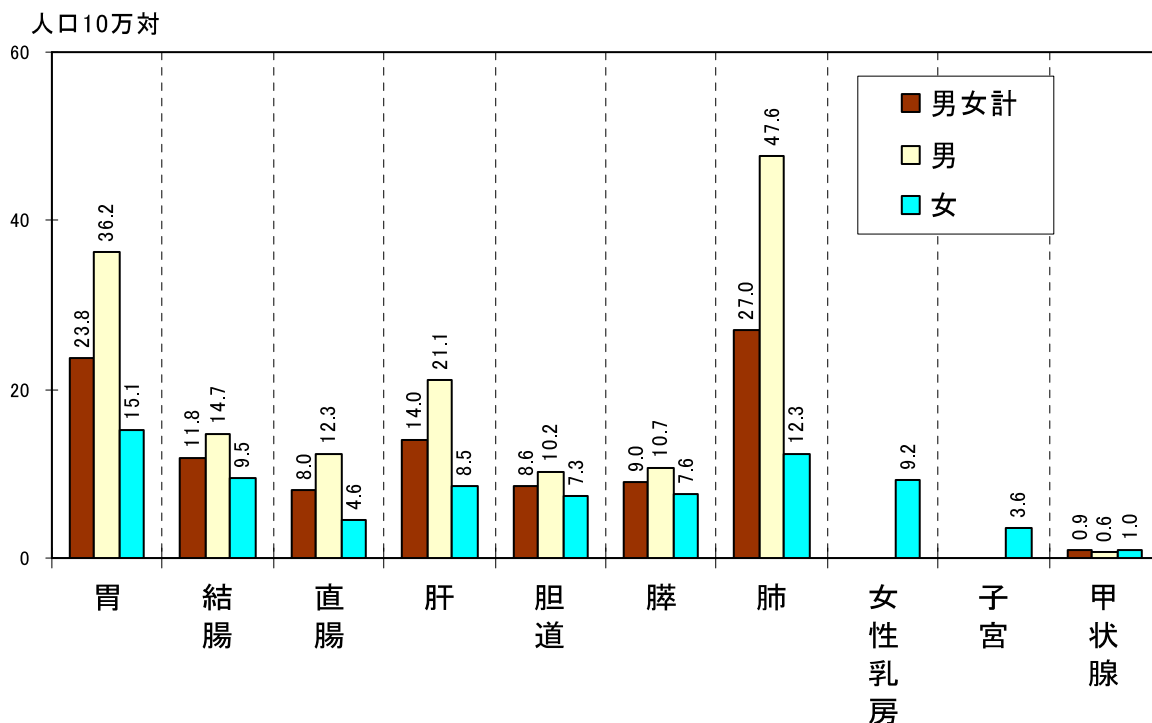


図 4-3 年齢調整死亡率

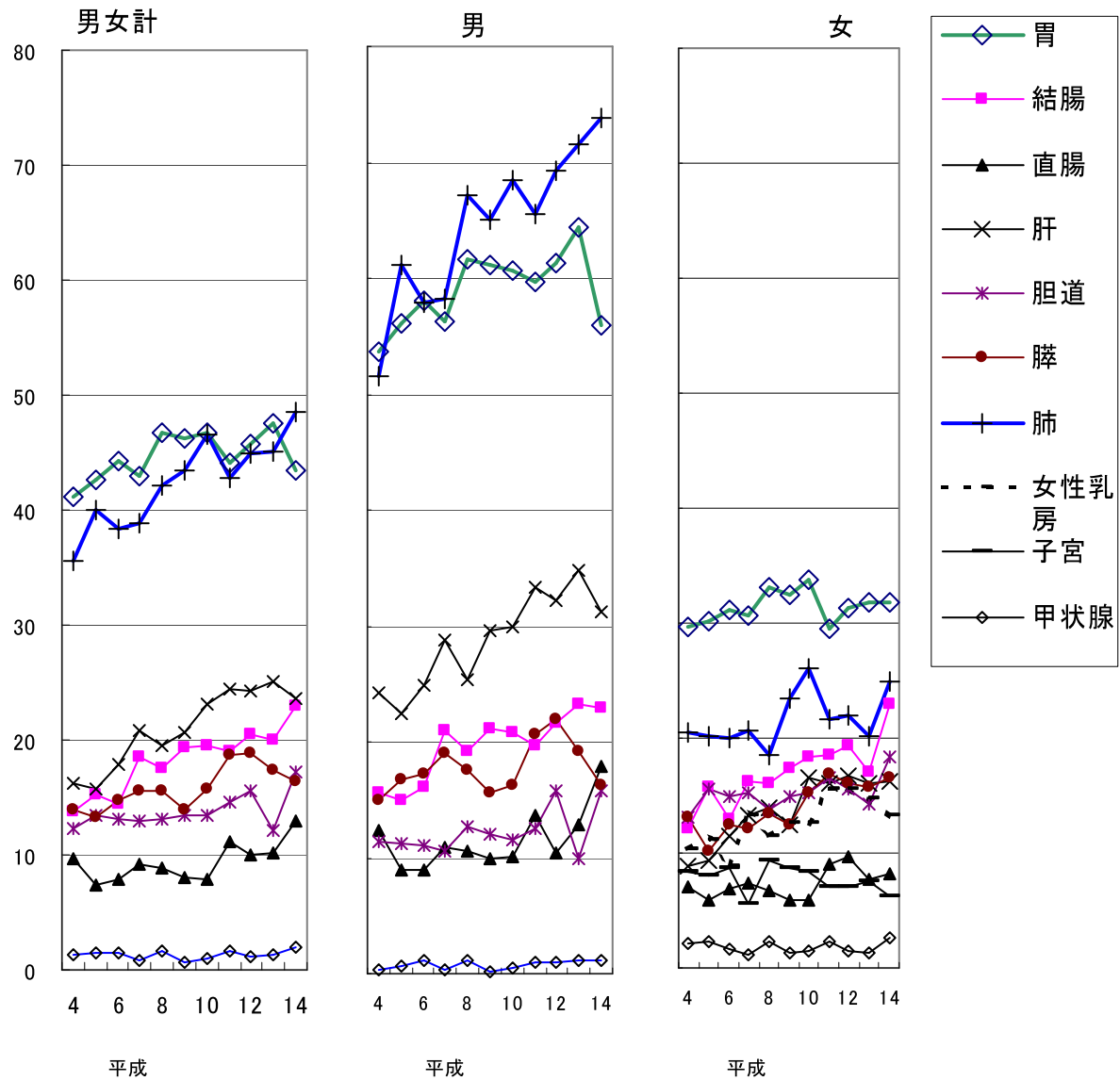


(3) 死亡率の経年変化(平成4年～14年) (付表2-2)

死亡率の経年変化を図4-4に示した。

図4-4 死亡率の経年変化

人口10万対

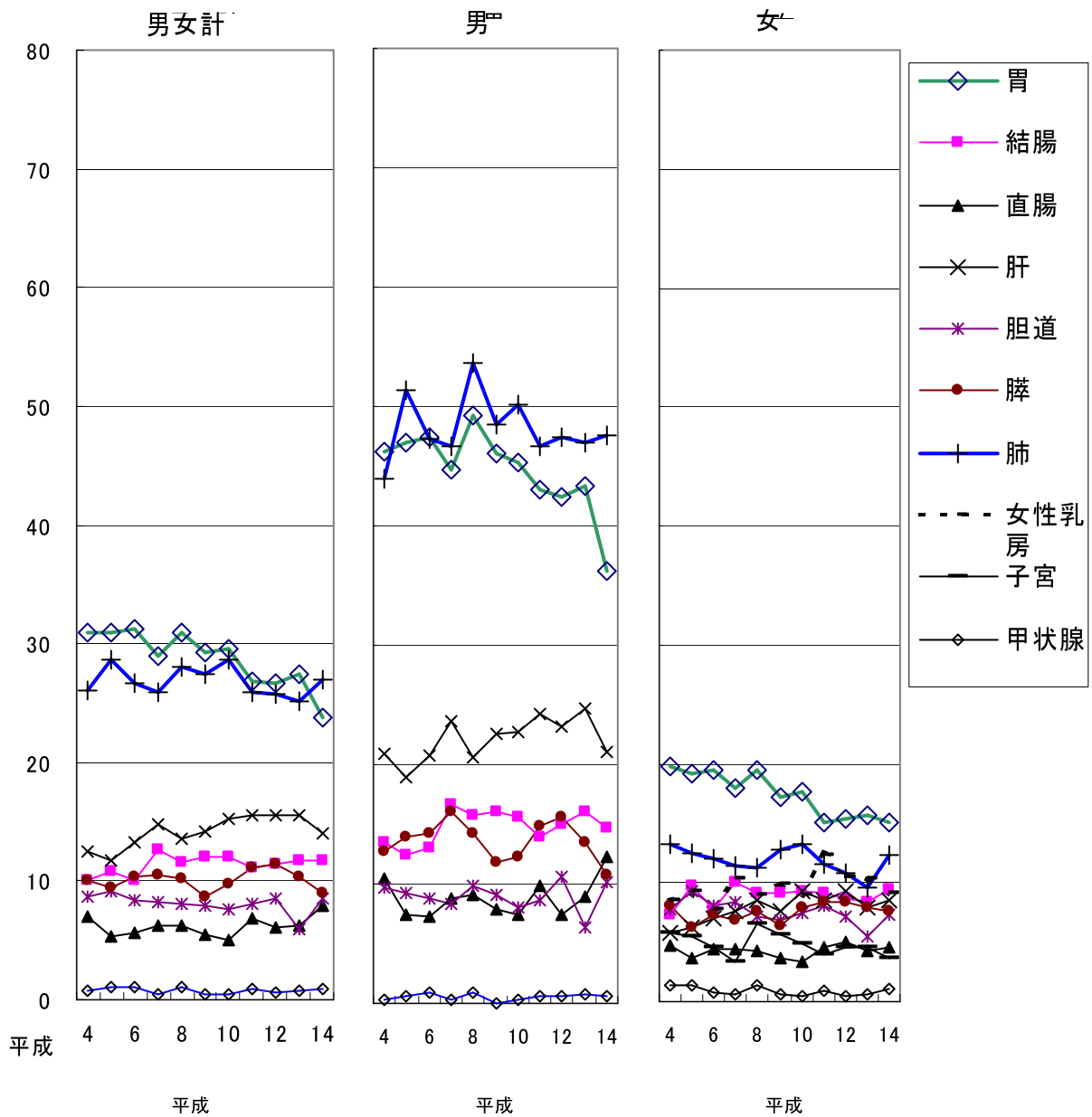


(4) 年齢調整死亡率の経年変化(平成4年～14年) (付表2-3)

年齢調整死亡率^{注)}の経年変化を図4-5に示した。

図4-5 年齢調整死亡率の経年変化

人口10万対



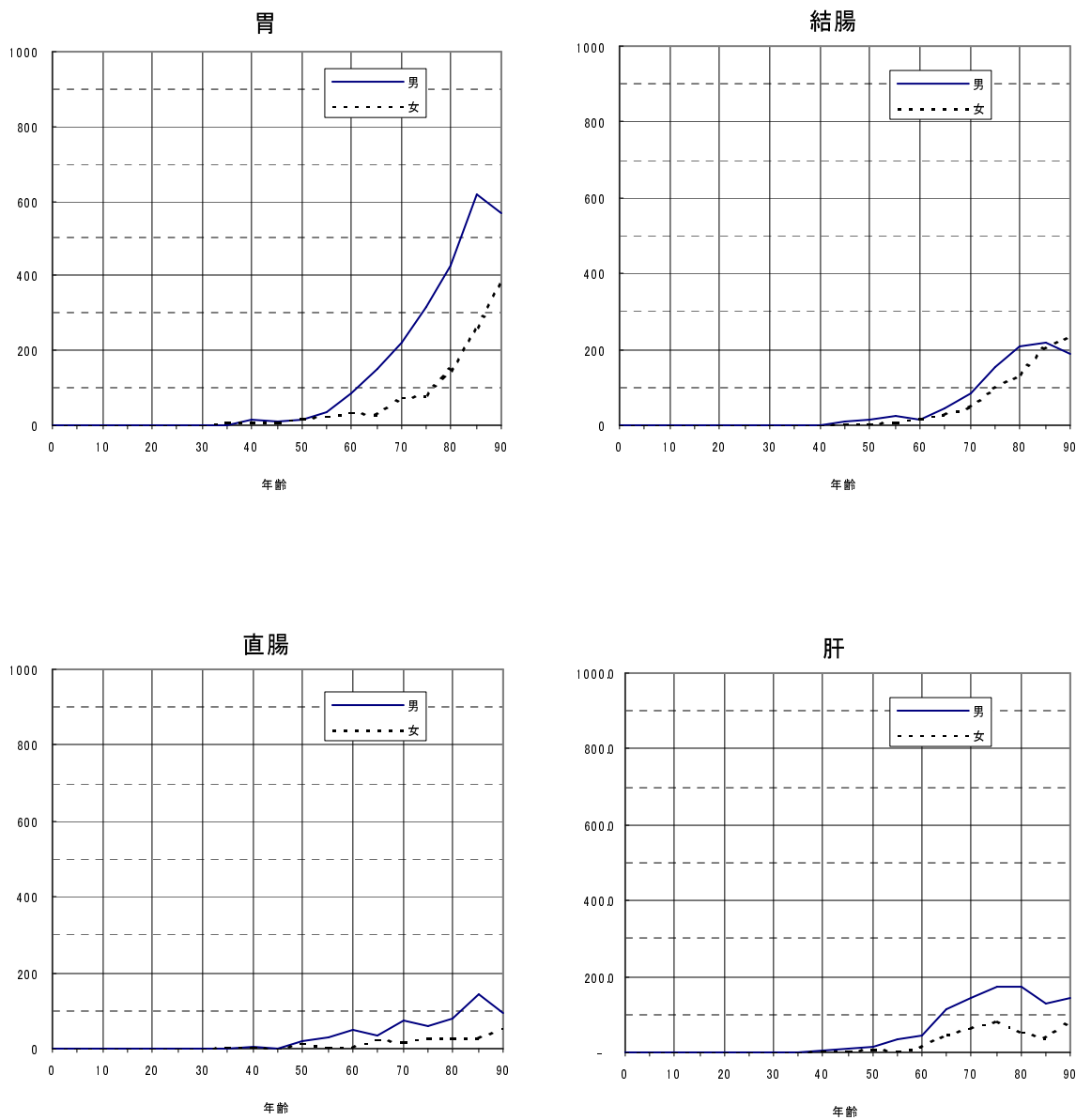
注) (粗)死亡率は死亡数を全人口で割ったものであり、高齢者が多い方が高くなる傾向があるため、年齢構成を補正した年齢調整死亡率を地域比較や経年変化を見るための指標としている。

2 年齢階級別死亡率

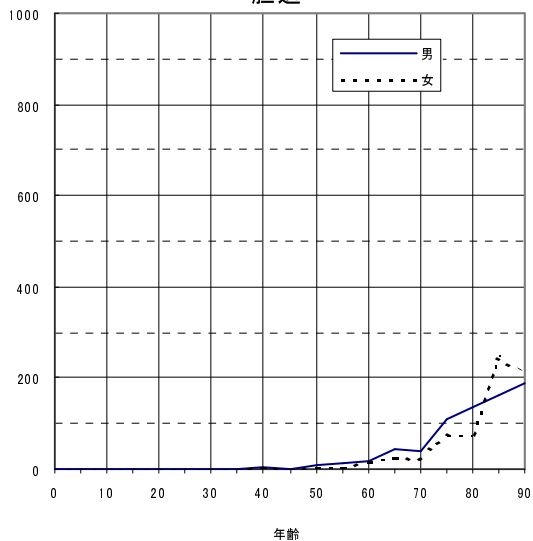
男女別の年齢階級別死亡率を図 4-6 に示した(附表 2-4)。

男女とも、すべての部位において、加齢に従って増加傾向がみられたが、女性乳房及び子宮については、その傾向は比較的ゆるやかである。

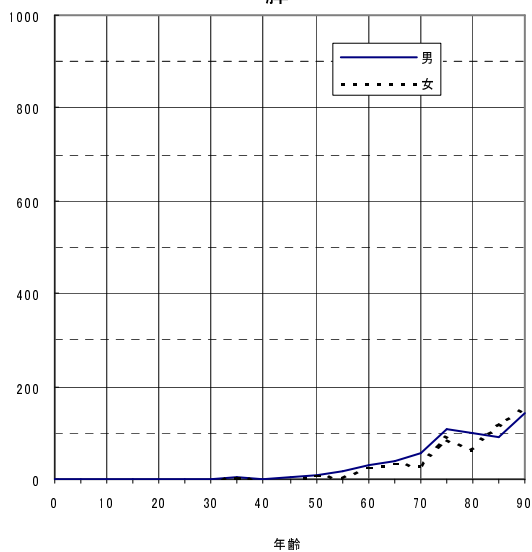
図 4-6 年齢階級別死亡率 (人口 10 万対)



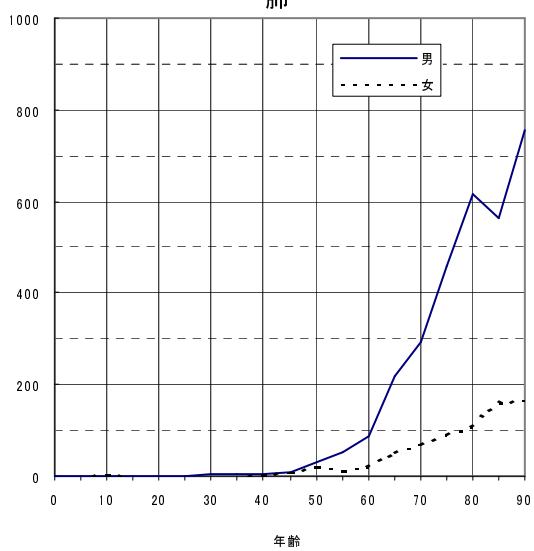
胆道



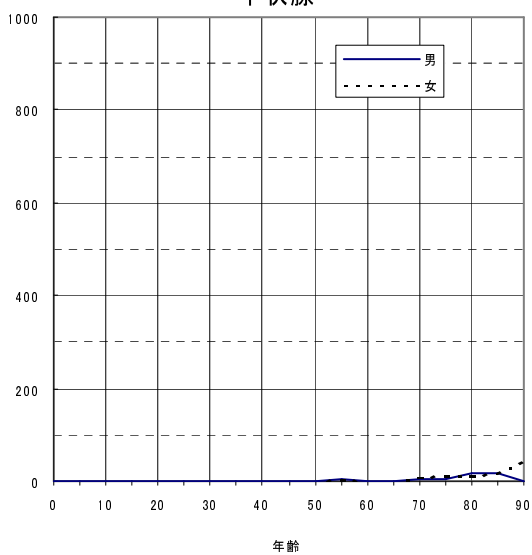
脾



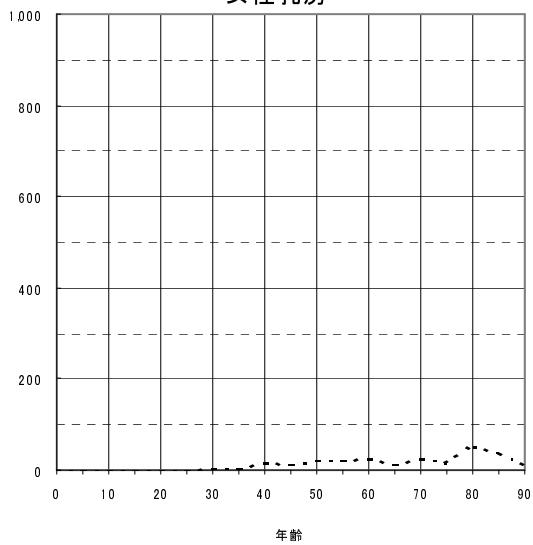
肺



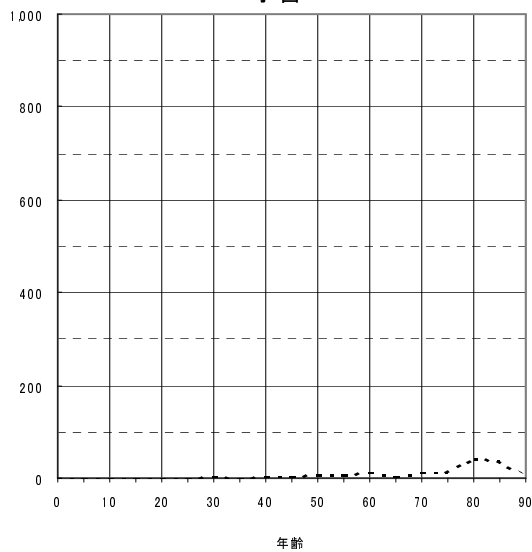
甲状腺



女性乳房



子宮



V 受療状況

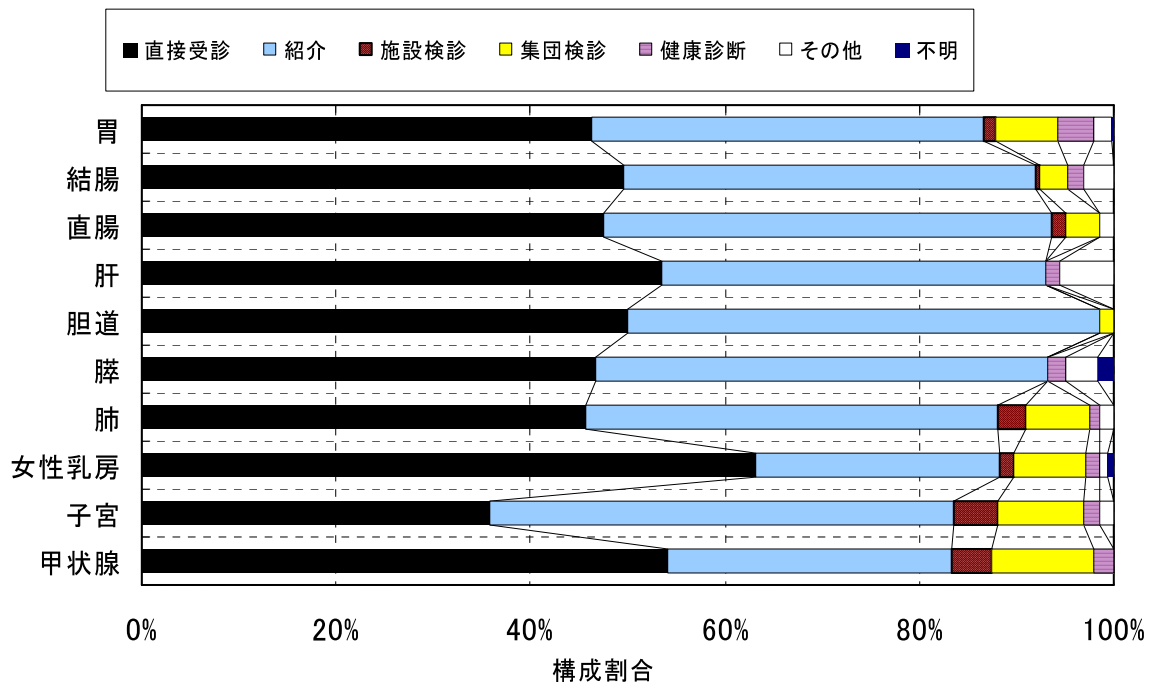
- 1 来院の動機
- 2 自覚症状の有無
- 3 病巣のひろがり
- 4 診断方法
- 5 治療方法

1 来院の動機

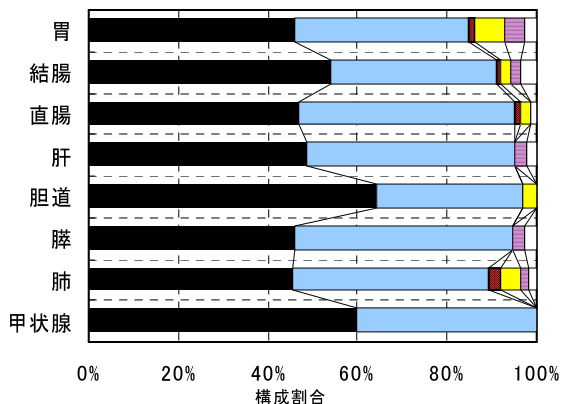
集計対象は1,456であり、男女計、10部位計で直接受診（48.9%）、他院からの紹介（40.5%）、集団検診（5.2%）となっている。施設検診、集団検診、健康診断をあわせると（以下「検診」という。）8.5%であった（付表3-1）。

検診が来院の動機になっているものを部位別にみると、甲状腺（16.7%）、子宮（15.0%）、肺（10.5%）、女性乳房（10.3%）の順となっている。

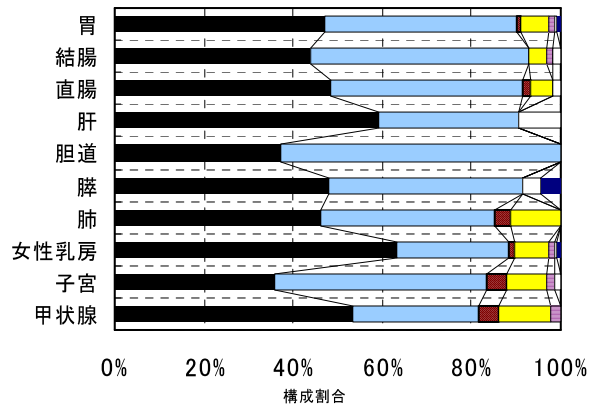
図 5-1 来院の動機（男女計）



来院の動機（男）



来院の動機（女）

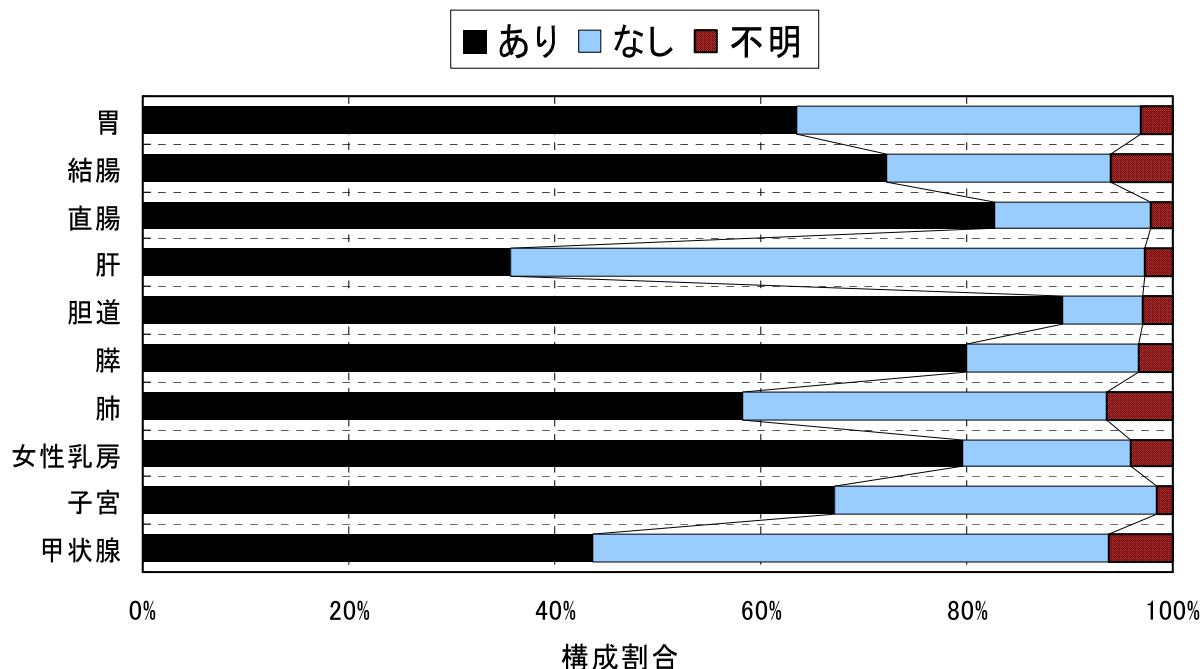


2 自覚症状の有無

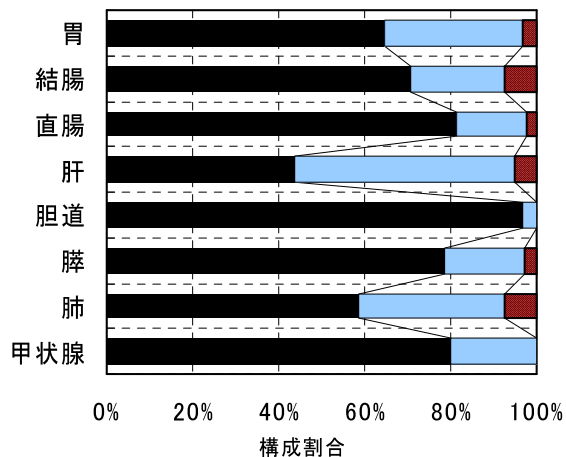
集計対象は 1,456 であり、男女 10 部位計で自覚症状あり (67.6%)、自覚症状なし (28.4%) であった。男女計で部位別では、自覚症状ありは胆道 (89.4%)、直腸 (82.7%)、膵 (80.0%) の順となっており、自覚症状なしは肝 (61.6%)、甲状腺 (50.0%) の順となっている。

男で部位別では、自覚症状ありは胆道 (96.8%)、直腸 (81.5%)、甲状腺 (80.0%) の順となっている。女で部位別では、自覚症状ありは直腸 (84.5%)、胆道 (82.9%)、膵 (82.6%) の順となっている (付表 3-2)。

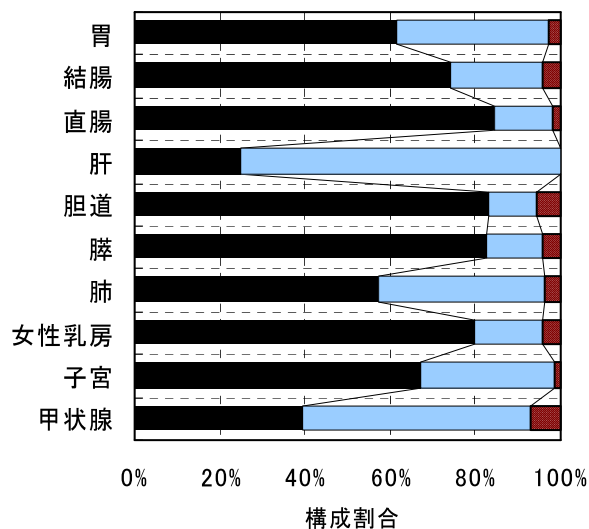
図 5-2 自覚症状の有無 (男女計)



自覚症状の有無 (男)



自覚症状の有無 (女)



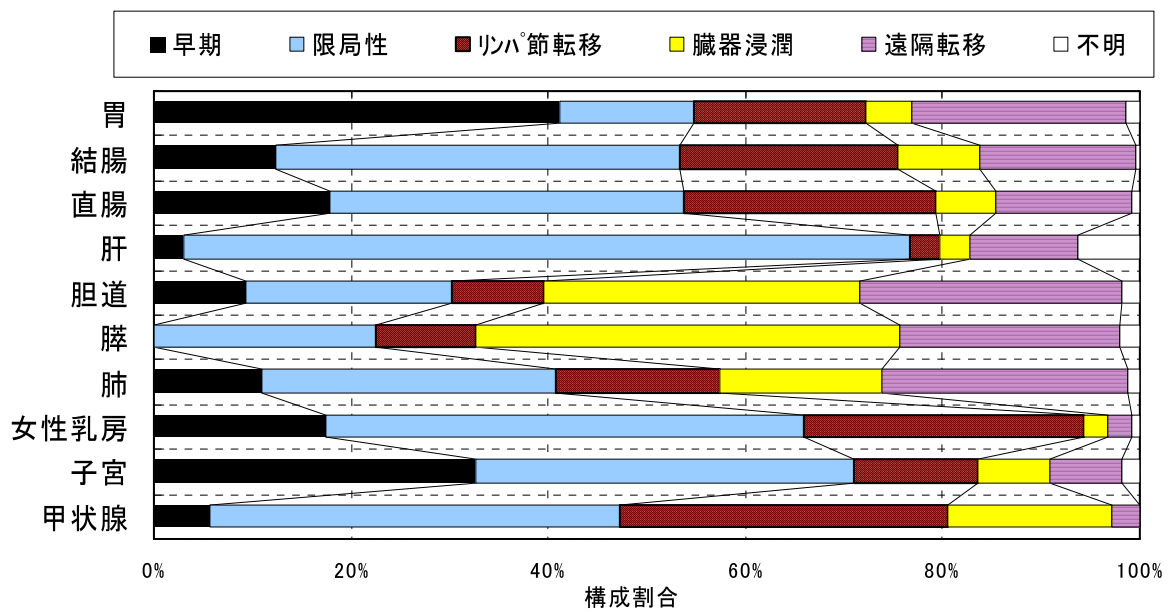
3 病巣のひろがり

集計対象は1,222であり、男女10部位計で限局性(31.8%)が最も多く、早期(21.2%)、所属リンパ節転移(18.9%)と続いている。部位別に男女計でみると、早期は胃(41.2%)で多く、限局性は肝(73.4%)で多くなっている。

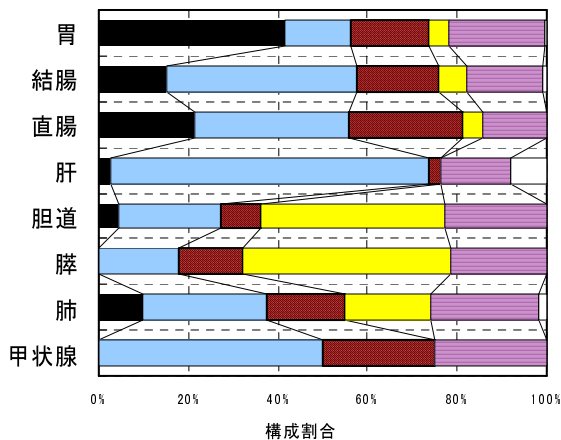
また、所属リンパ節転移は甲状腺(33.3%)で、隣接臓器浸潤は膵(42.9%)で、遠隔転移は胆道(26.4%)が多くなっている(付表3-3)。

男の部位別では、早期は胃(41.7%)が、限局性は肝(71.1%)が、所属リンパ節転移は直腸(25.7%)が、隣接臓器浸潤は膵(46.4%)が、遠隔転移は甲状腺(25.0%)が最も多くなっている。女の部位別では、早期は胃(40.3%)が、限局性は肝(76.9%)が、所属リンパ節転移は甲状腺(34.4%)が、隣接臓器浸潤は膵(38.1%)が、遠隔転移は胆道(29.0%)が最も多くなっている。

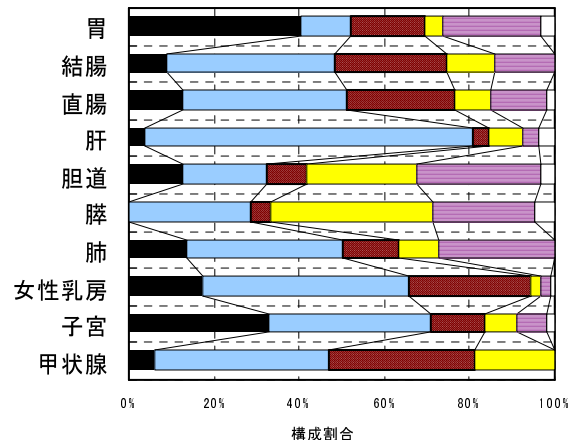
図5-3 病巣のひろがり(男女計)



病巣のひろがり(男)



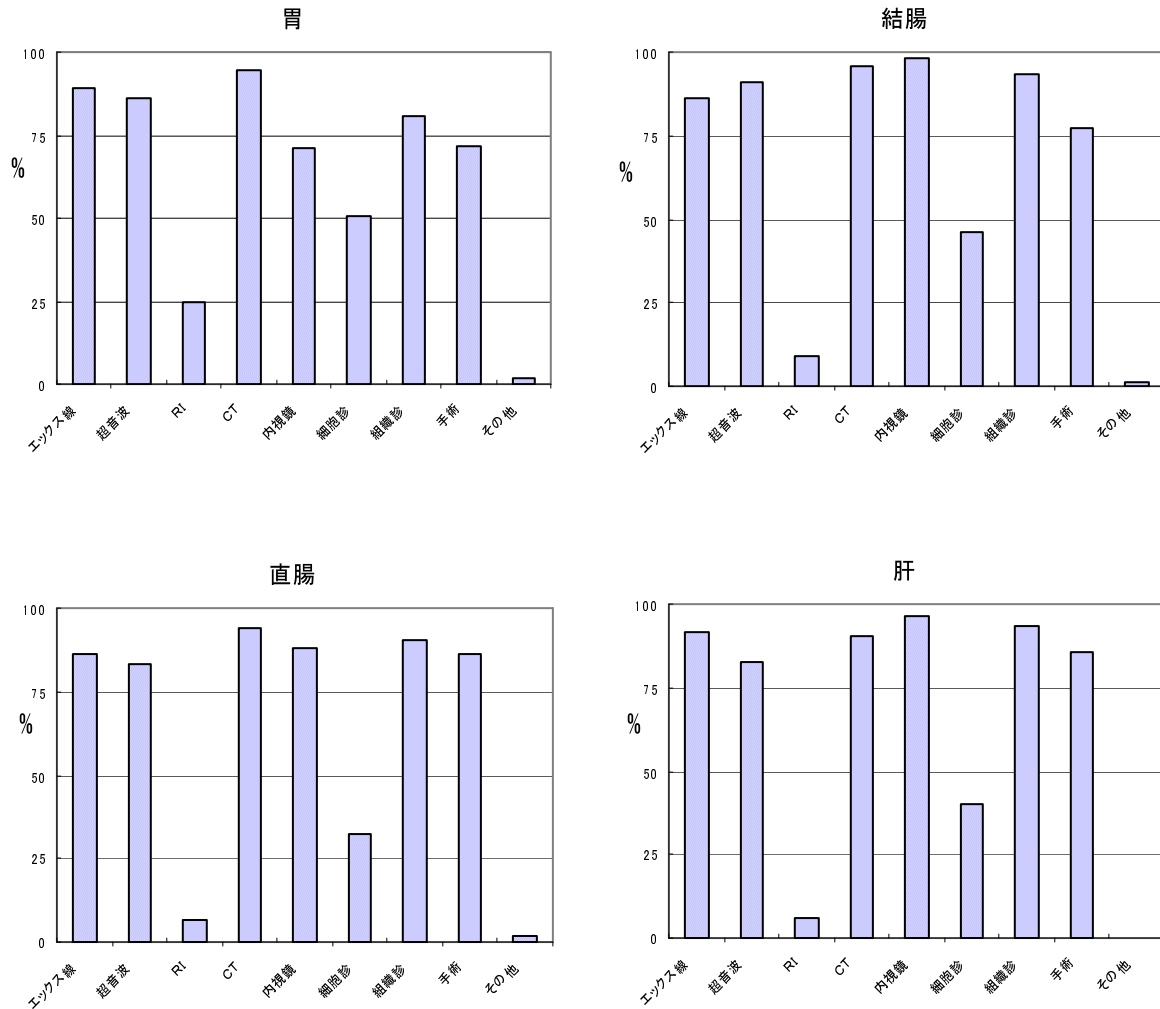
病巣のひろがり(女)



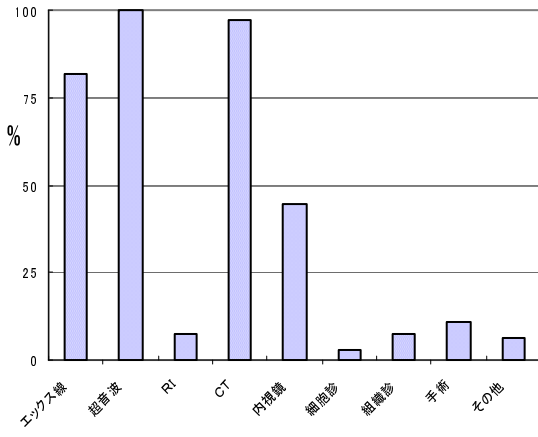
4 診断方法

集計対象は1,243であり、男女10部位計で診断方法として実施率が高い検査はCT(94.4%)、エックス線(88.9%)、超音波(86.0%)の順であり、実施率が比較的低いのはRI(24.6%)、細胞診(50.8%)となっている。部位別では、消化管では内視鏡、エックス線、CTが高く、肝胆道系ではCTと超音波が高くなっている。肺はエックス線(98.2%)、CT(96.4%)が、女性乳房はエックス線(98.4%)超音波、CT(ともに96.9%)が、子宮は細胞診(96.4%)、組織診(94.6%)が高くなっている(付表3-4)。

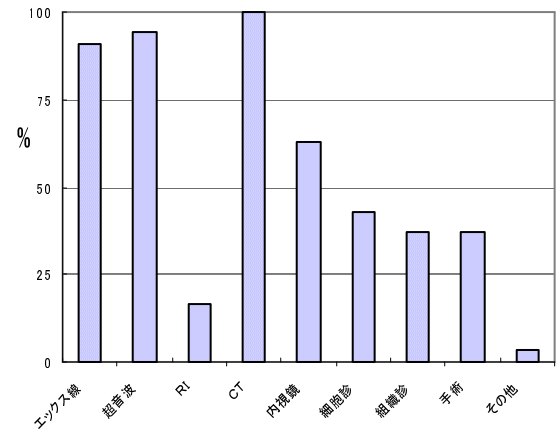
図5-4 検査実施率(男女計)



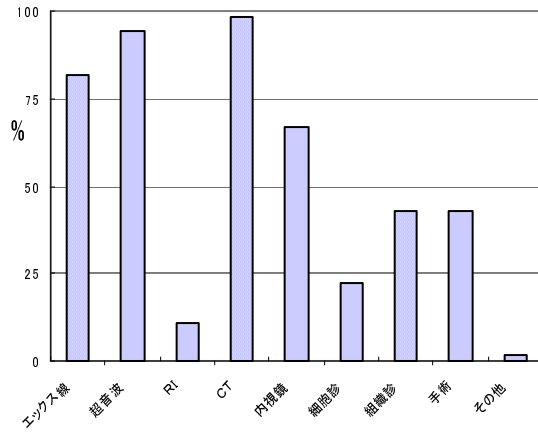
胆道



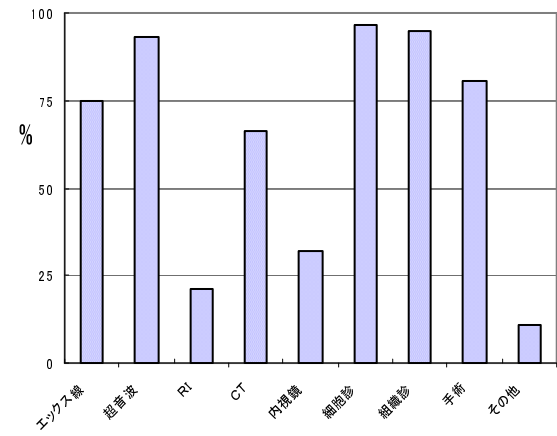
膵



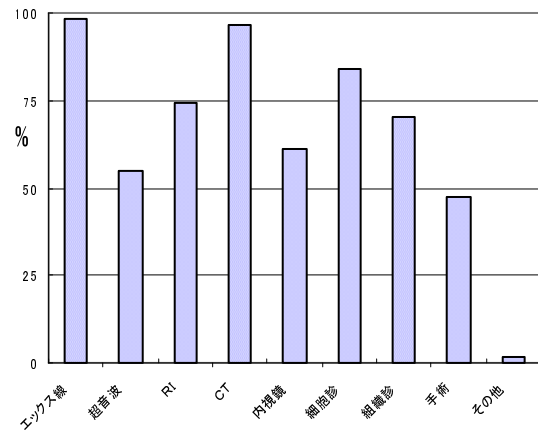
肺



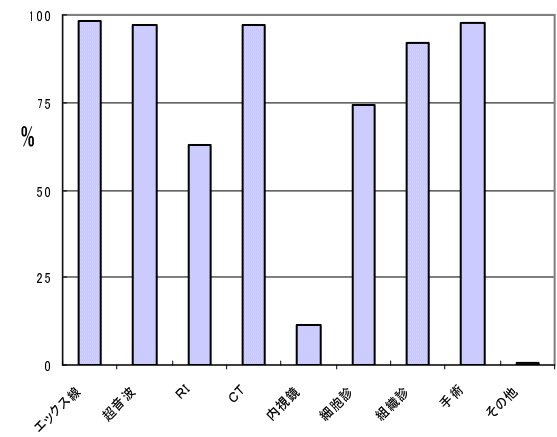
甲状腺



女性乳房



子宮

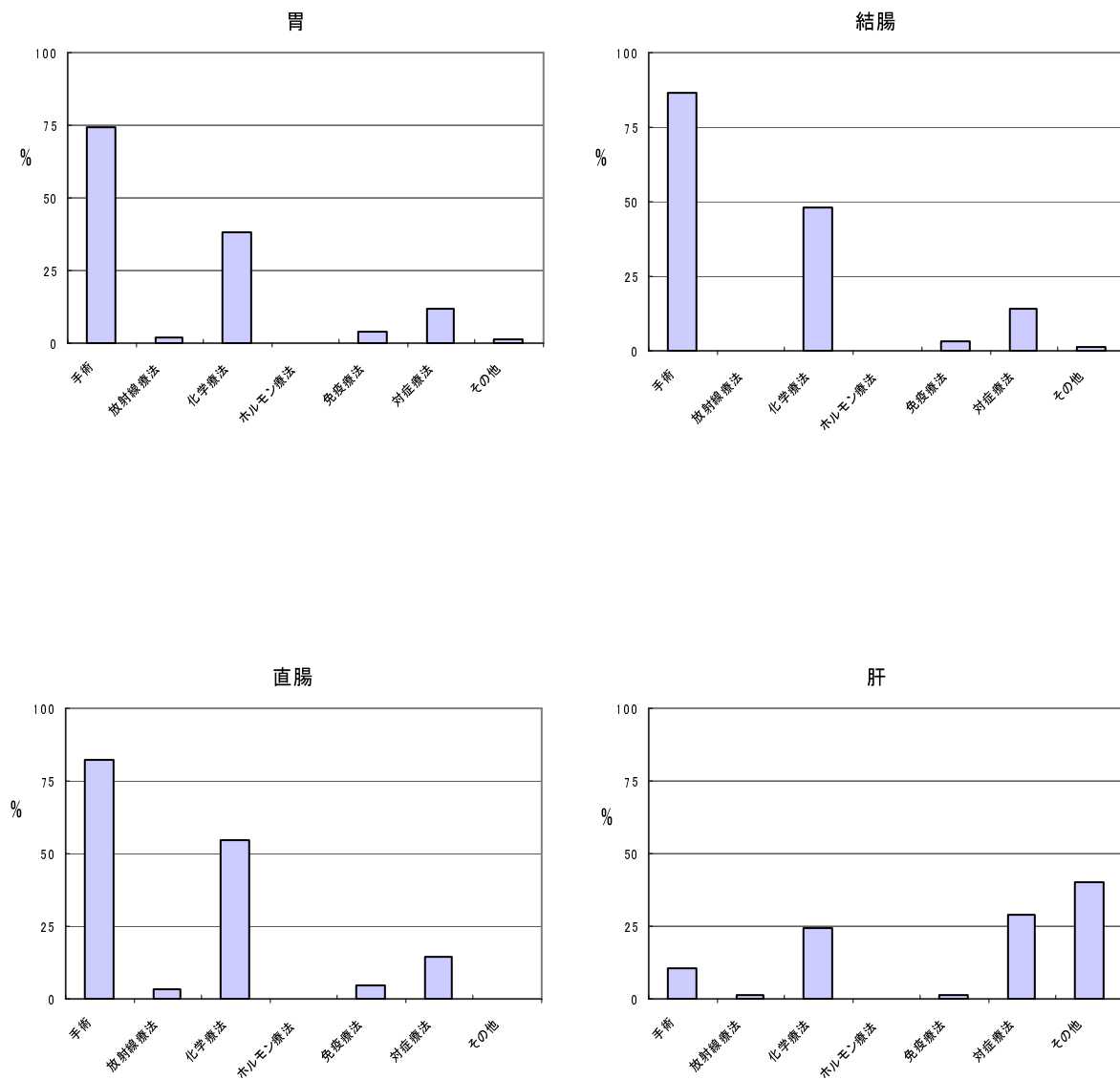


5 治療方法

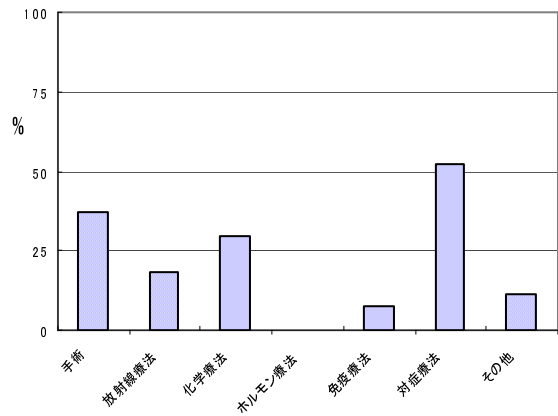
(1) 治療方法

集計対象は1,243であり、男女10部位計で手術(70.3%)、化学療法(39.0%)となっており、部位別でみると消化管、子宮、女性乳房は手術の割合が多く、約8割から9割で手術が行われている(付表3-5)。

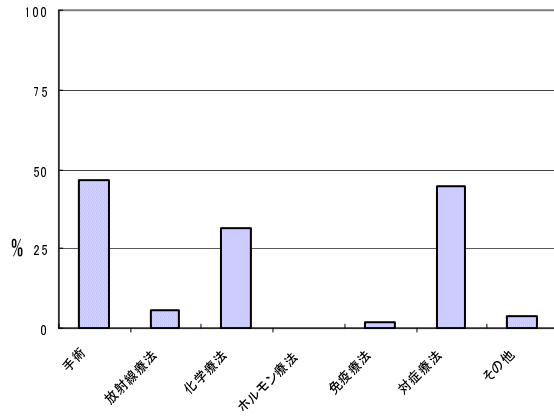
図 5-5 治療実施率(男女計)



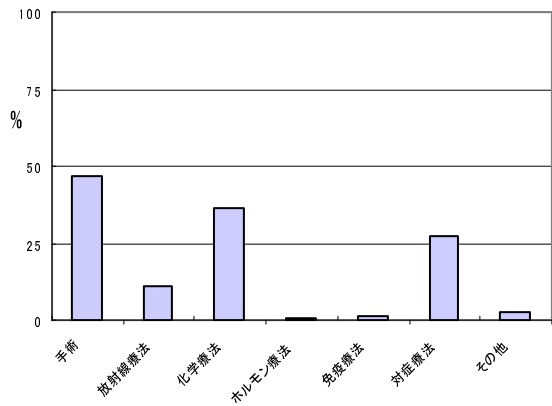
胆道



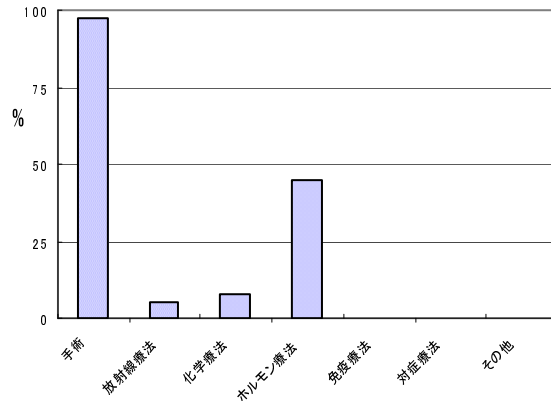
膵



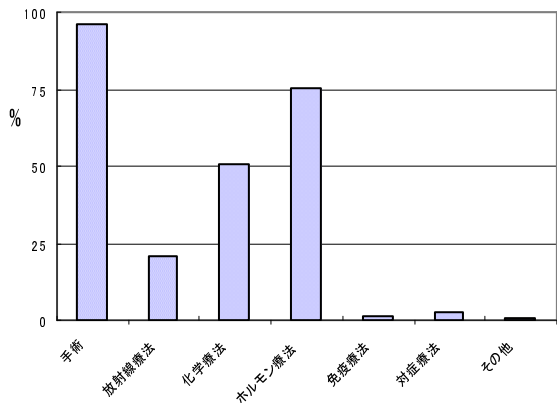
肺



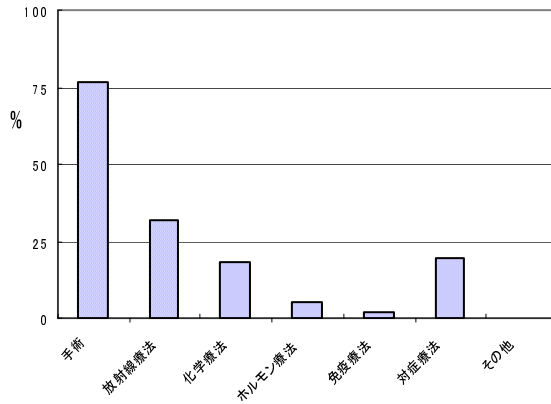
甲状腺



女性乳房



子宮

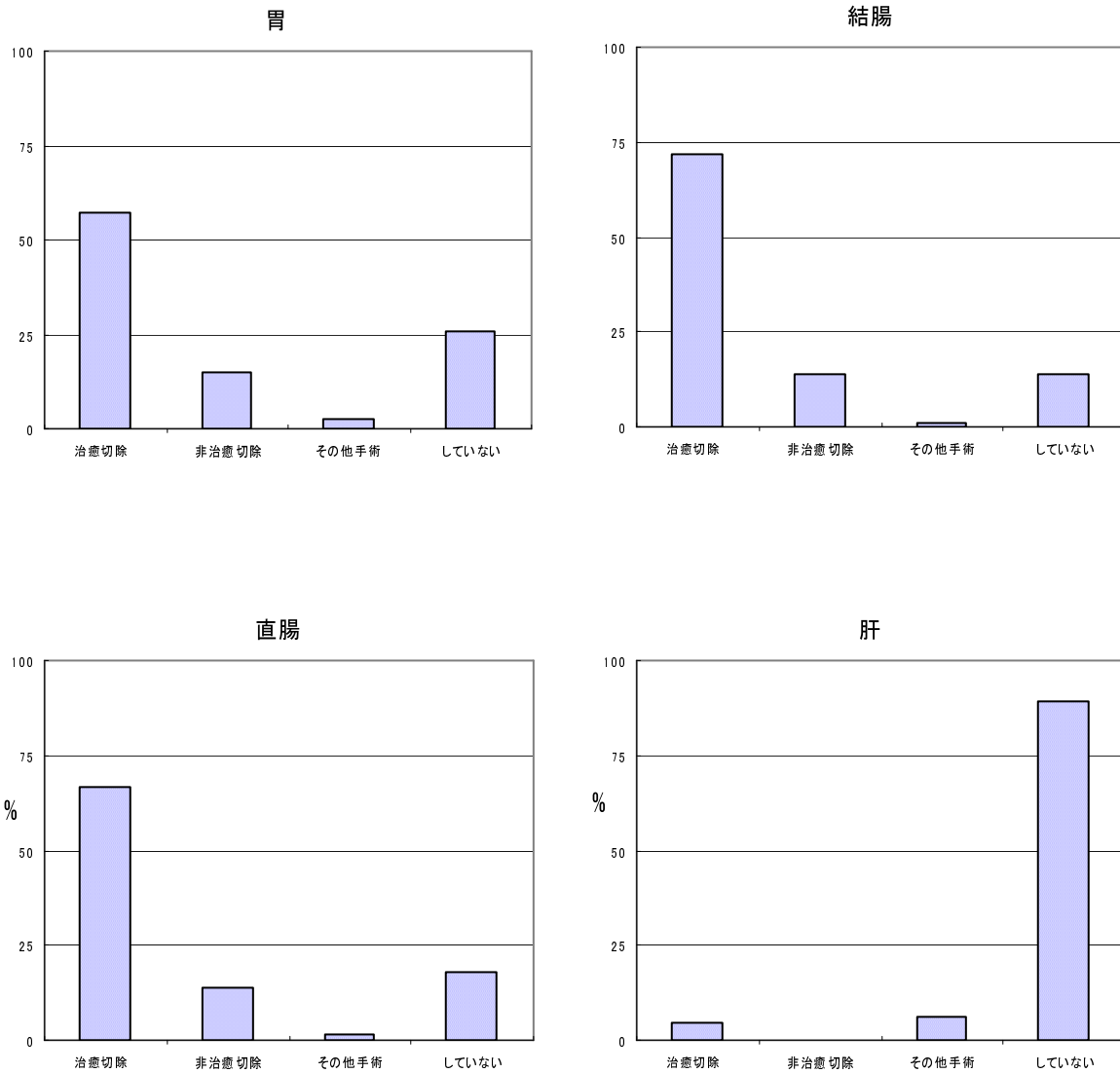


(2) 手術

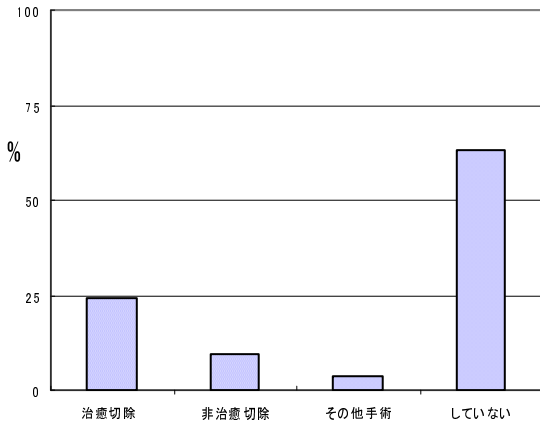
集計対象は1,243であり、そのうち手術を行ったものは70.3%、行っていないものは29.7%となっている。

男女計で部位別では、甲状腺(97.5%)、女性乳房(96.1%)、結腸(86.3%)、直腸(82.1%)は手術割合が高くなっている。また、治癒切除の割合は甲状腺(92.5%)、女性乳房(93.8%)で高い割合となっている。一方で、手術を行っていない割合は、肝(89.2%)、胆道(63.0%)、腓(53.7%)、肺(53.3%)で高くなっている(付表3-6)。

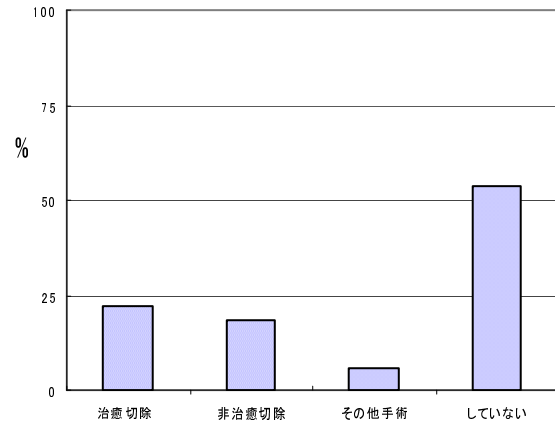
図5-6 手術(男女計)



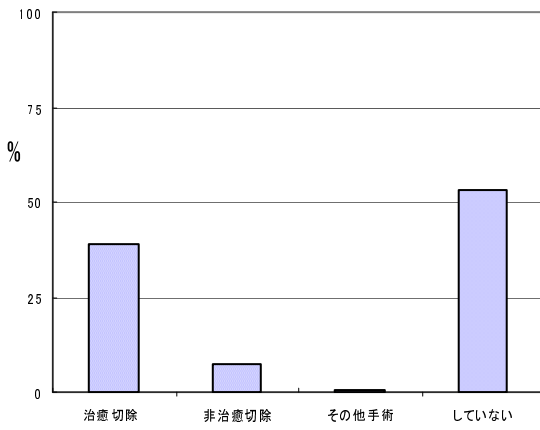
胆道



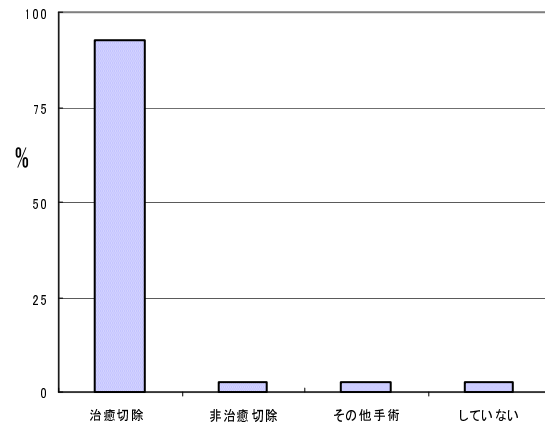
膵



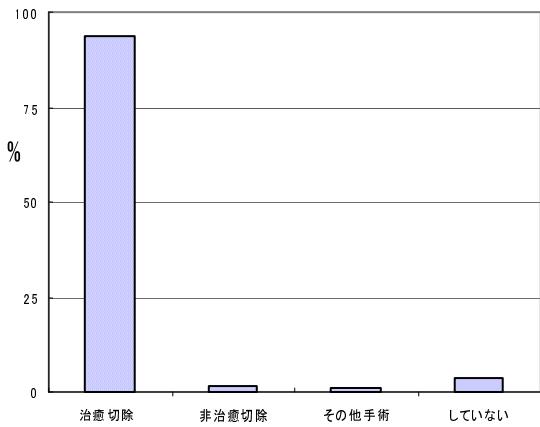
肺



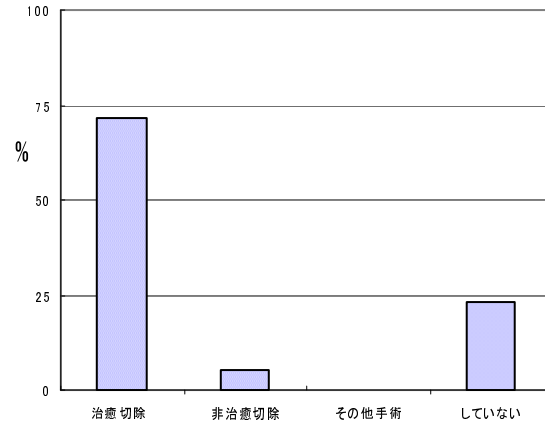
甲状腺



女性乳房



子宮



VI 地域特性

- 1 医療圏別罹患率及び死亡率(粗罹患率及び粗死亡率)
- 2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

1 医療圏別罹患率及び死亡率（粗罹患率及び粗死亡率）

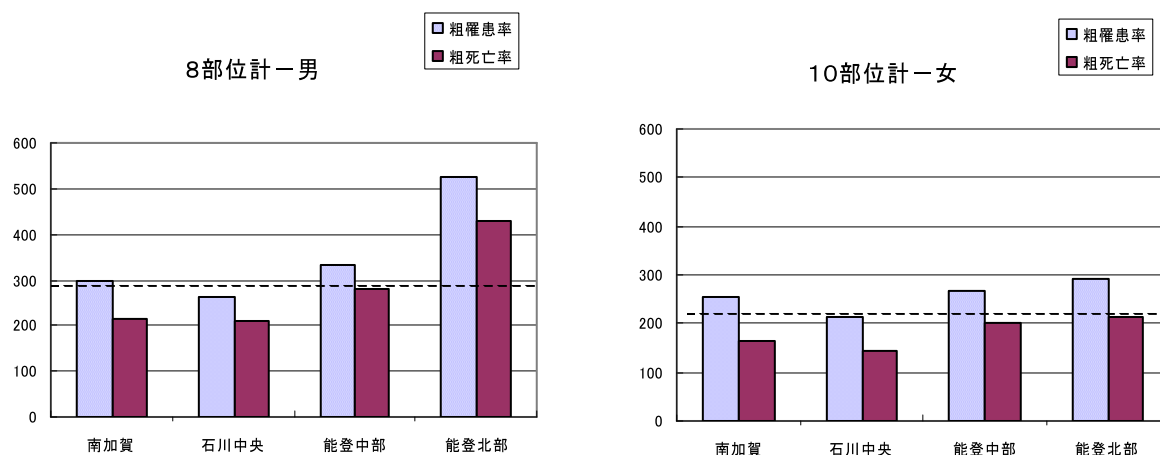
(1) 医療圏別罹患率

医療圏別罹患率(人口 10 万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が 524.7 と高く、石川中央が 264.7 と低い。女の全部位計(10 部位)でも、能登北部が 291.0 と高く、石川中央が 214.0 と低い(付表 4-1)。

(2) 医療圏別死亡率

医療圏別死亡率(人口 10 万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では、能登北部が 430.2 と高く、石川中央が 209.2 と低くなっている。女の全部位計(10 部位)では、能登北部が 212.8 と高く、石川中央が 145.2 と低く、男と同様の傾向が見られるがその差は小さい(付表 4-1)。

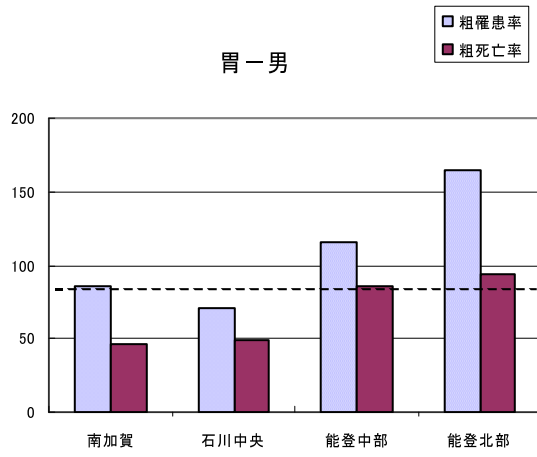
図 6-1 医療圏別罹患率、死亡率（人口 10 万対）



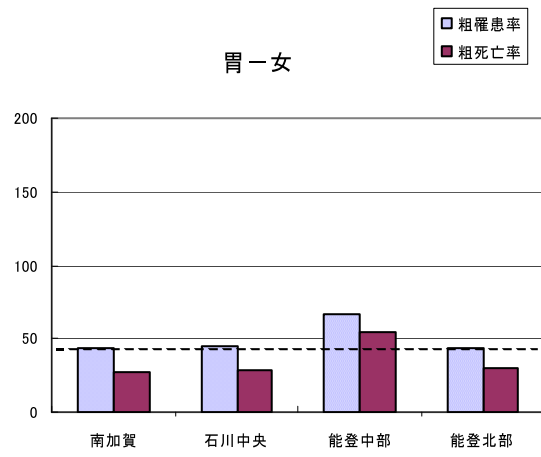
グラフ中の点線は、県全体の粗罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。

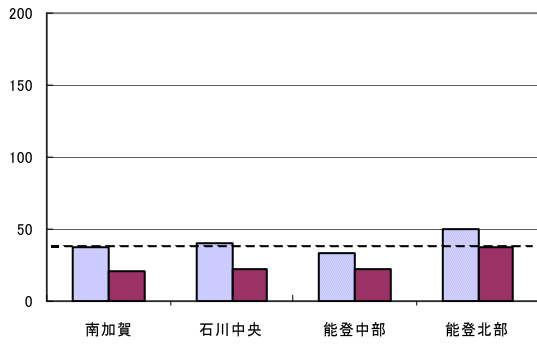
胃一男



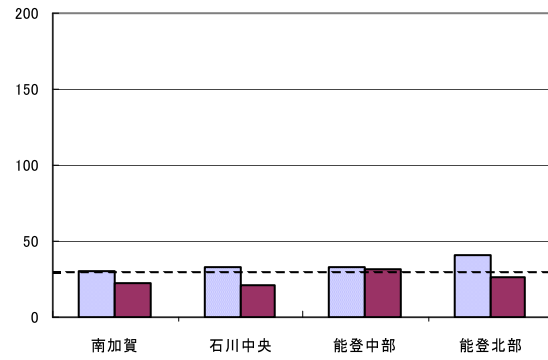
胃一女



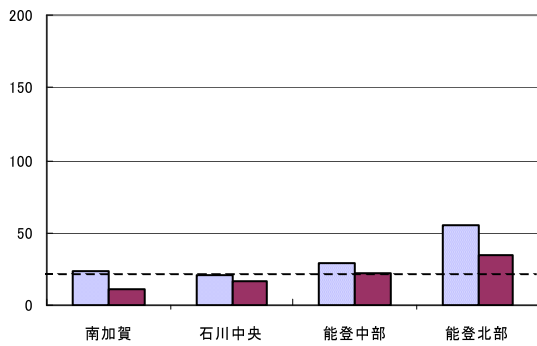
結腸一男



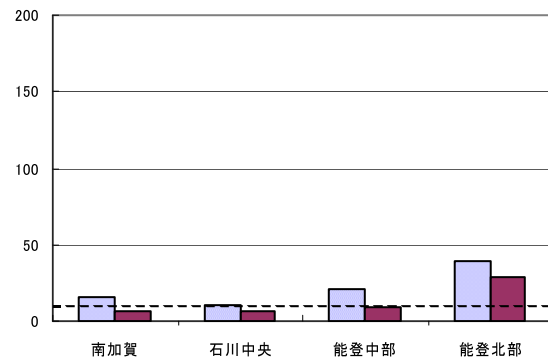
結腸一女

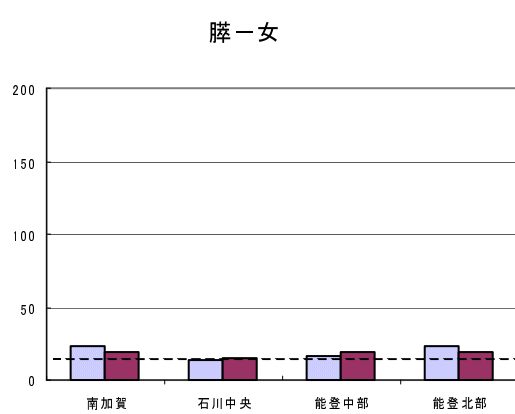
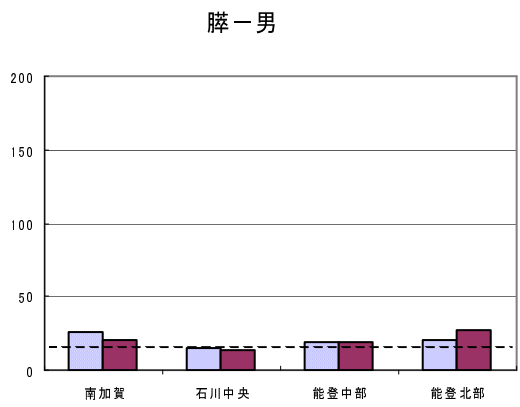
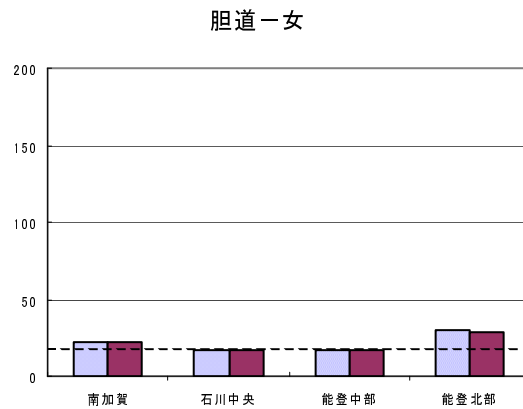
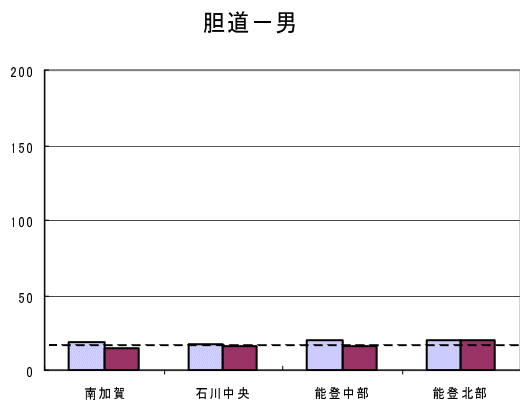
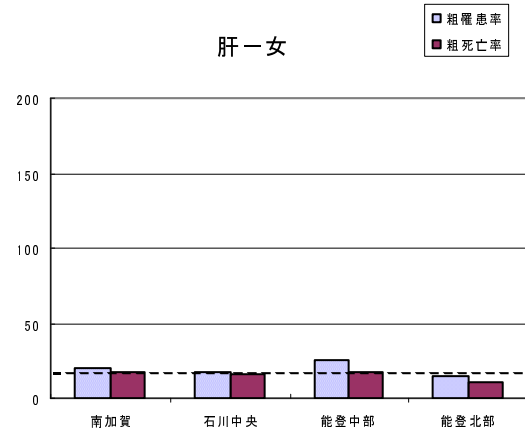
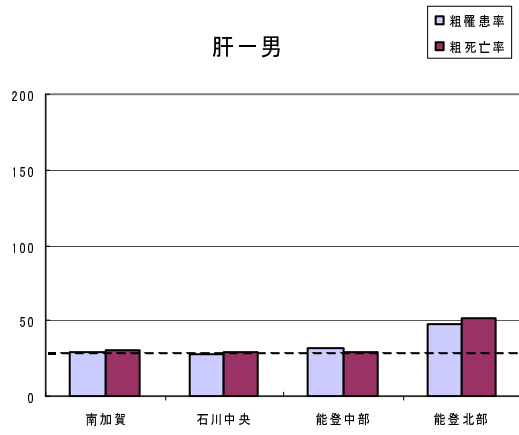


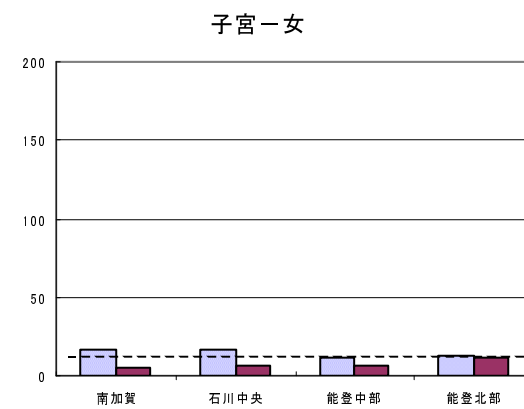
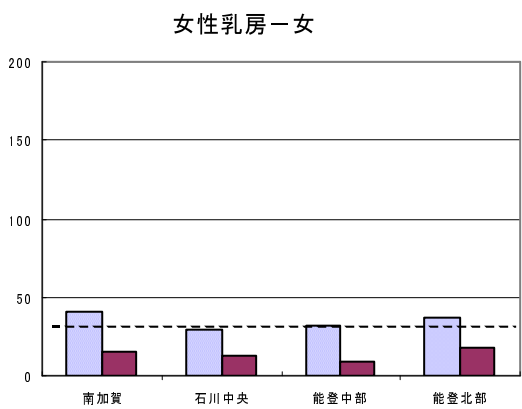
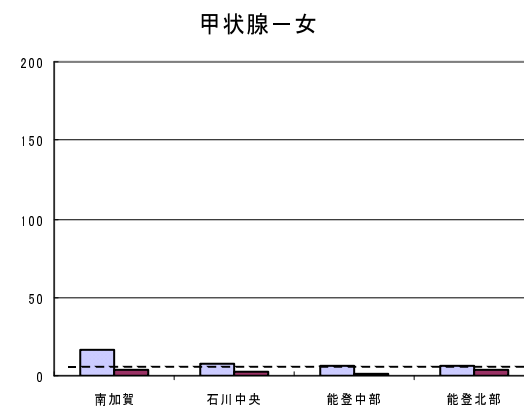
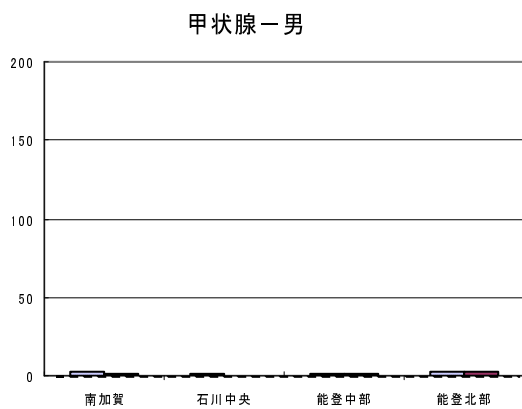
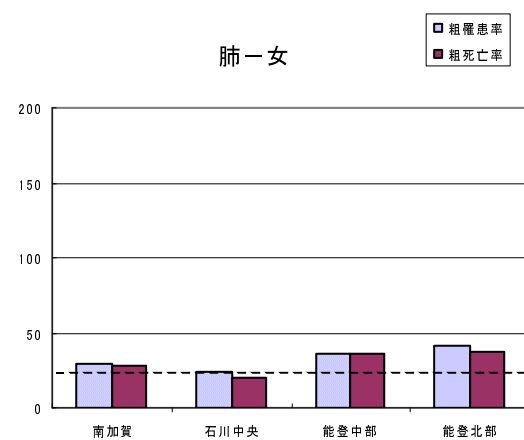
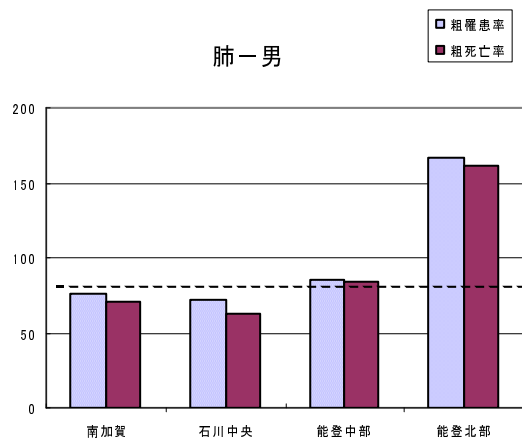
直腸一男



直腸一女







2 医療圏別年齢調整罹患率及び年齢調整死亡率

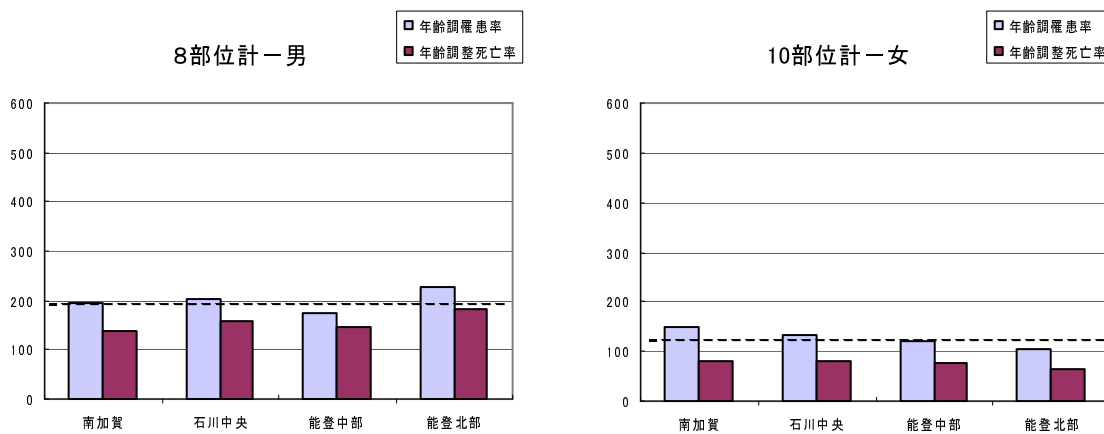
(1) 医療圏別年齢調整罹患率

医療圏別年齢調整罹患率(人口 10 万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)では能登北部が 227.3 と最も高く、能登中部が 175.3 と最も低くなっている。女の全部位計(10 部位)では、南加賀が 148.4 と最も高く、能登北部が 105.9 と最も低くなっている(付表 4-1)。

(2) 医療圏別年齢調整死亡率

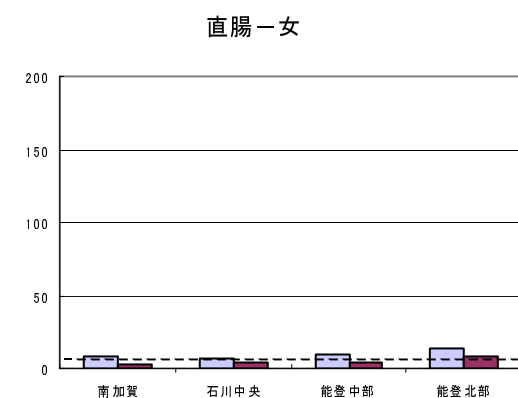
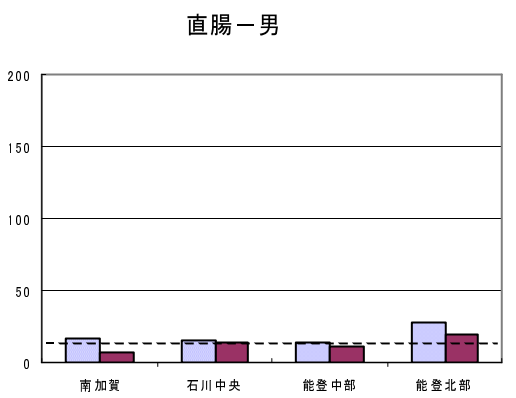
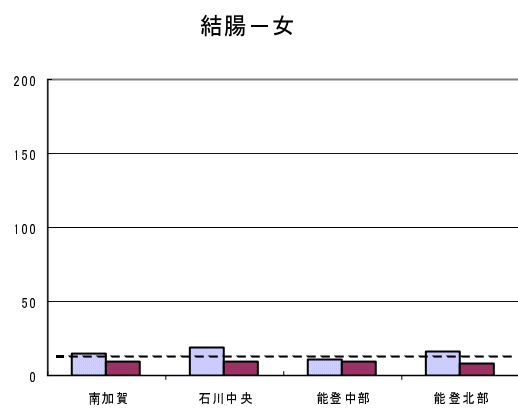
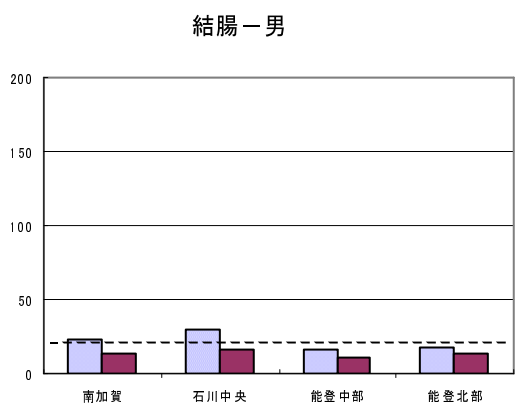
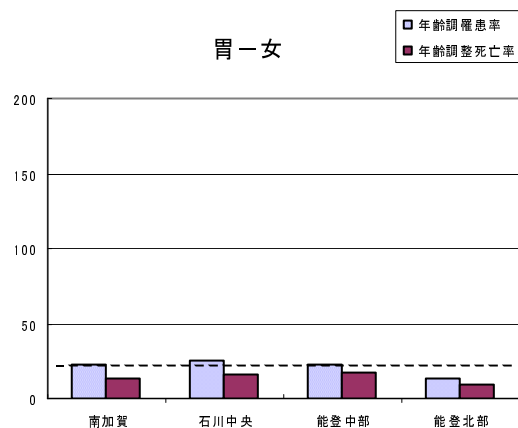
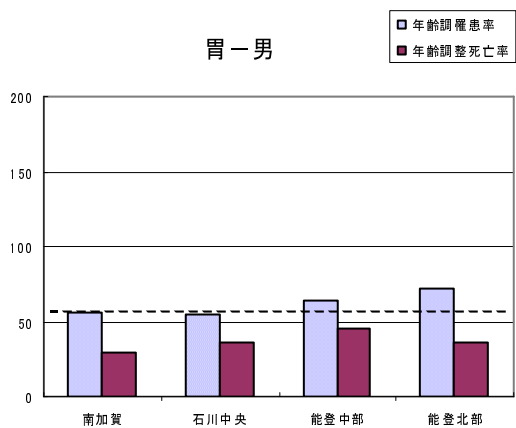
医療圏別年齢調整死亡率(人口 10 万対)を性別にみると、男の全部位計(8部位)、女の全部位計(10 部位)とも、医療圏別の差はあまりない。

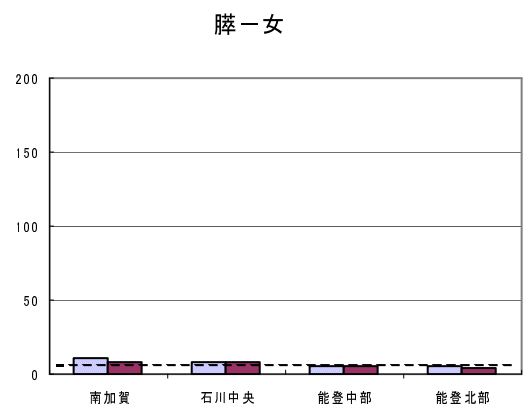
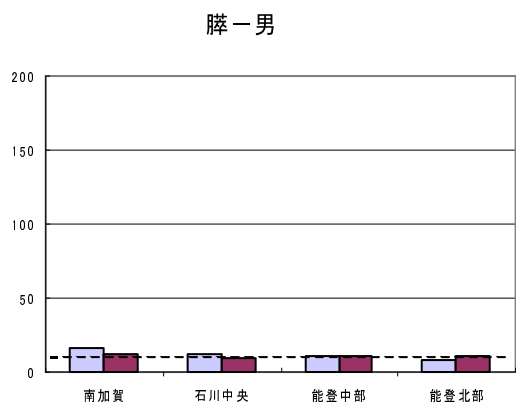
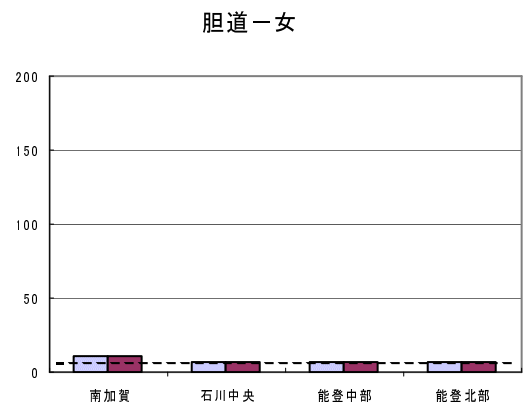
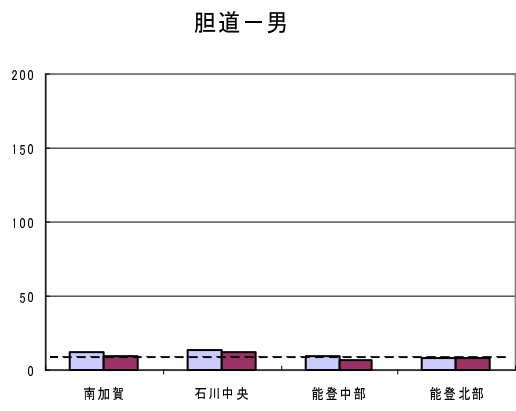
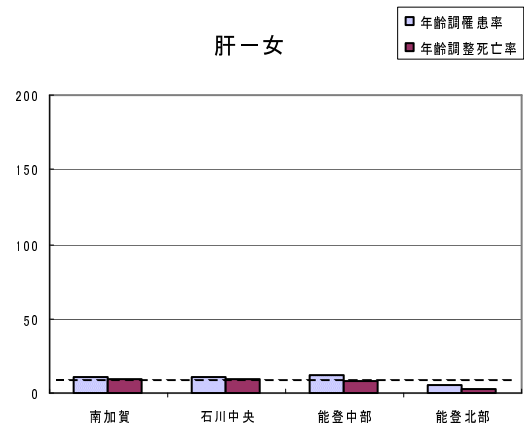
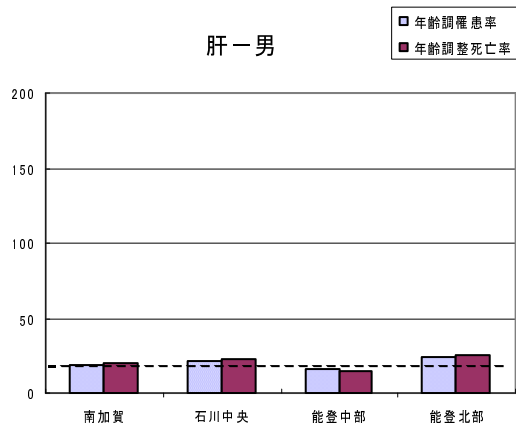
図 6-2 医療圏別年齢調整罹患率、年齢調整死亡率(人口 10 万対)

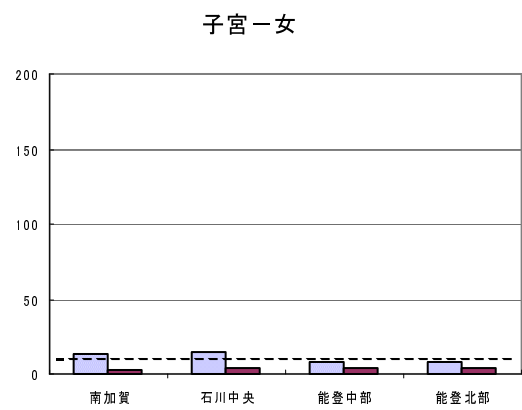
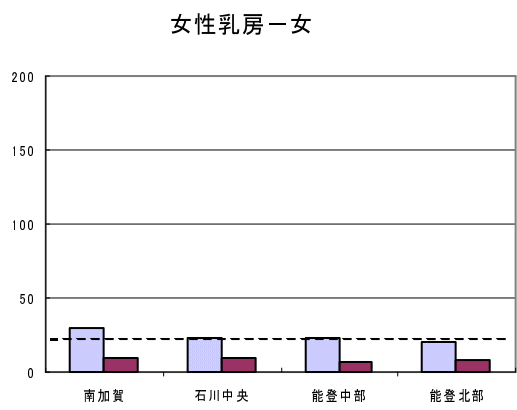
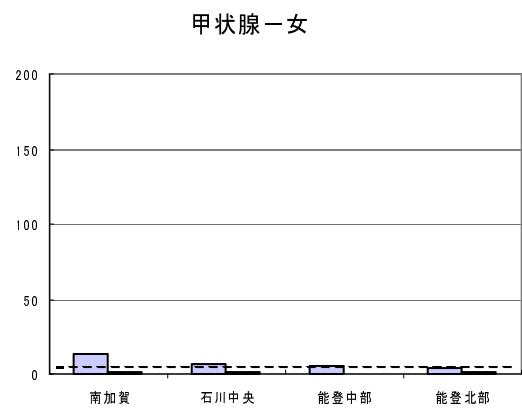
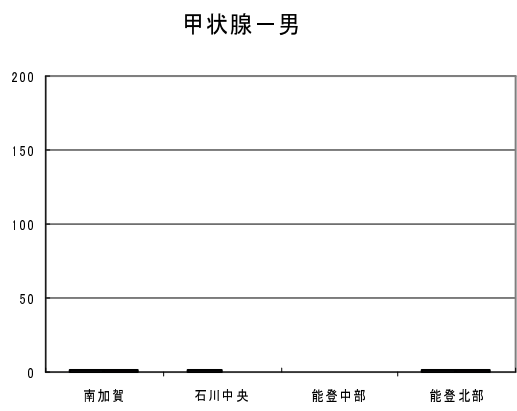
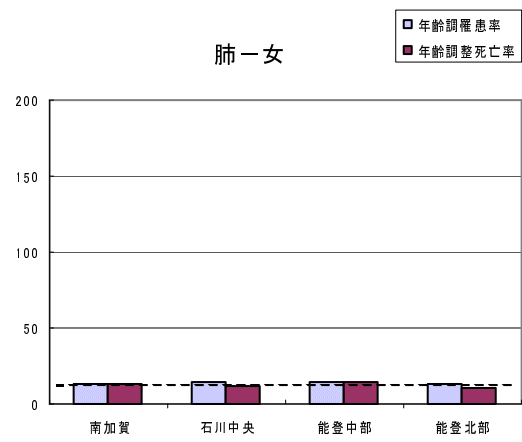
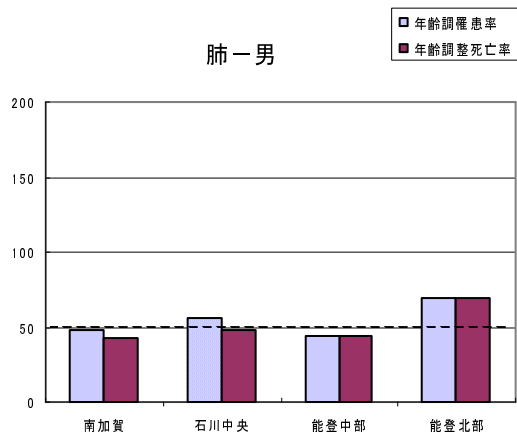


※ グラフ中の点線は、県全体の年齢調整罹患率を示す。

注) 罹患率と死亡率は同一年内の比較であり、罹患者群と死亡者群が同一集団ではないため、死亡率が罹患率を上回る場合がある。







VII 全国値との比較

- 1 罹患率の比較
- 2 年齢調整罹患率の比較
- 3 死亡率の比較
- 4 年齢調整死亡率の比較

石川県の罹患率及び年齢調整罹患率(平成 14 年値)と全国推計値(平成 11年)とを比較した。全国推計値は、厚生省がん研究助成金「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」平成 14 年度報告書の全国補正後推計値を用いた。

また、石川県の死亡率及び年齢調整死亡率(平成 14 年値)と全国値についても比較した。全国値は、厚生労働省大臣官房統計情報部「人口動態統計」平成 14 年報告書の値を用いた。

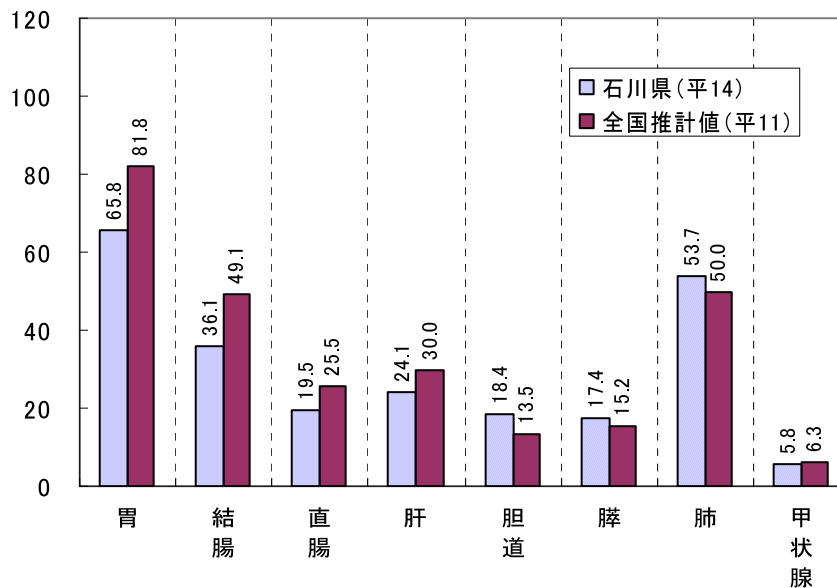
(ただし、「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。)

1 罹患率の比較

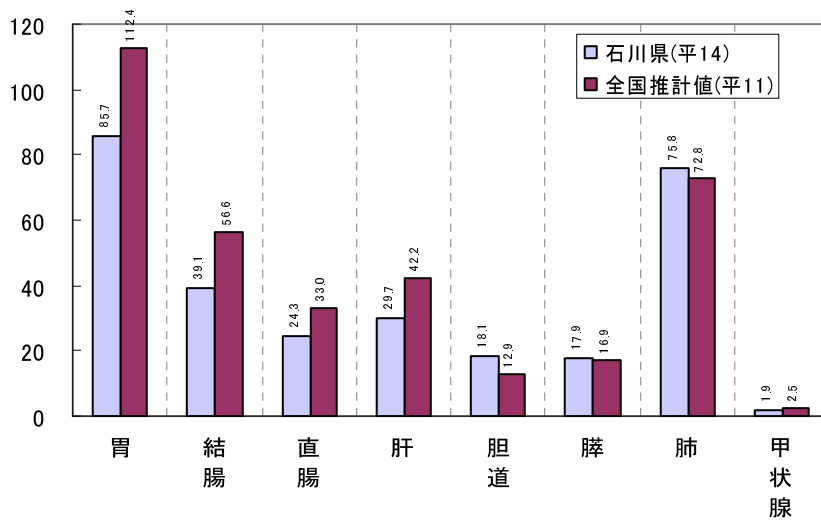
男女計で全国推計値と比較すると、胃、結腸、直腸、肝が低く、胆道、膵、肺が高くなっている。男女別に比較すると、男の胃、結腸、直腸、肝、女の胃、結腸、直腸、乳房、子宮が低く、男の胆道、膵、肺、女の肝、胆道、膵が高くなっている(付表 5-1)。

図 7-1 罹患率 (人口 10 万対) の比較

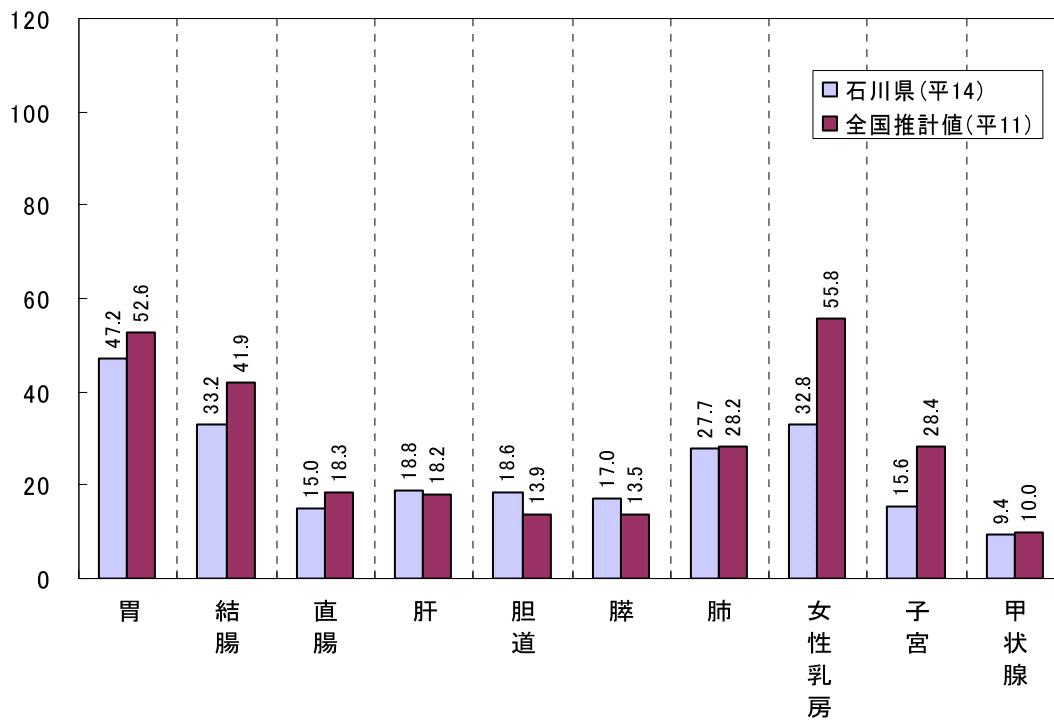
男女計:8部位



男:8部位



女:10部位

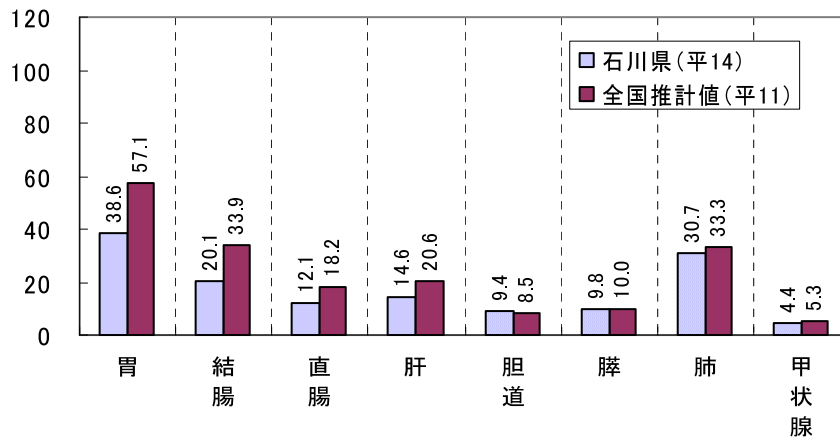


2 年齢調整罹患率の比較

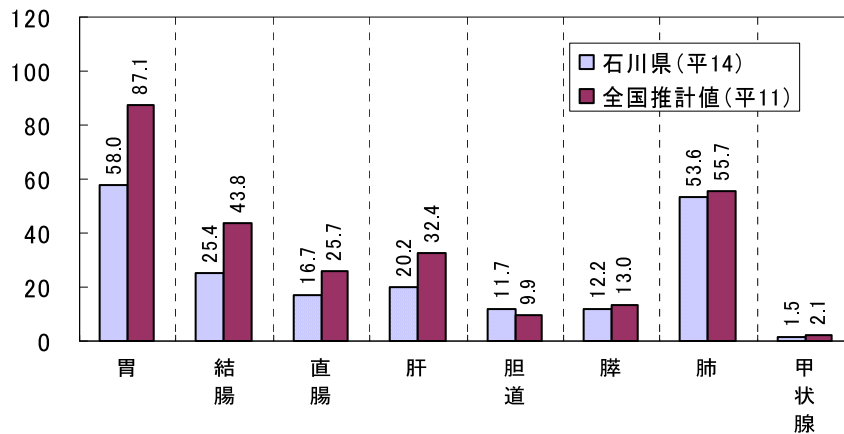
男女計で全国推計値と比較すると、胆道、膵、甲状腺は同レベルであり、胃、結腸、直腸、肝、肺は下回っている(付表 5-2)。

図 7-2 年齢調整罹患率(人口 10 万対)の比較

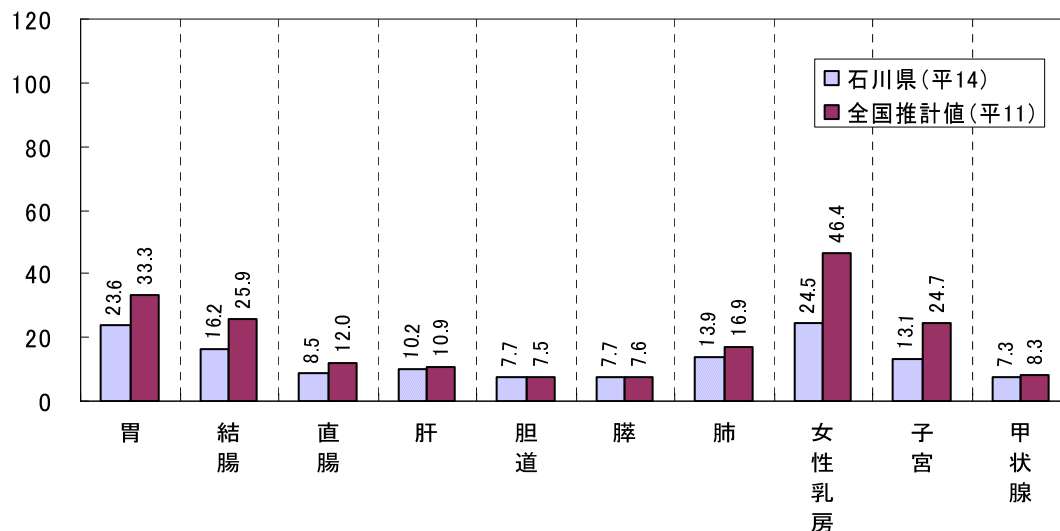
男女計: 8 部位



男: 8 部位



女: 10 部位

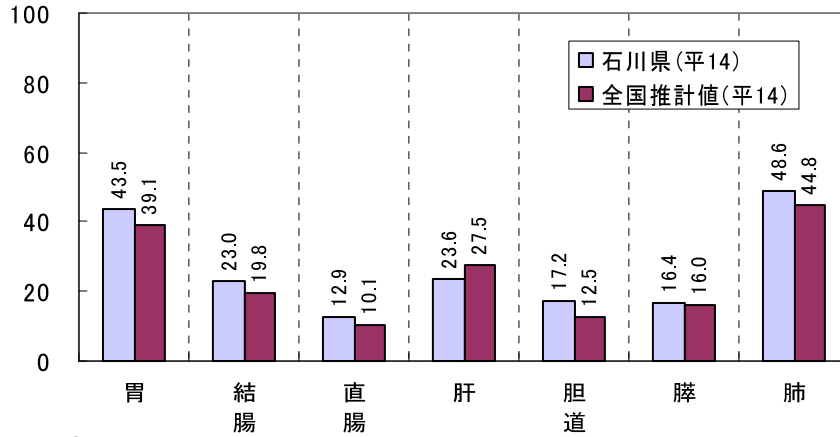


3 死亡率の比較

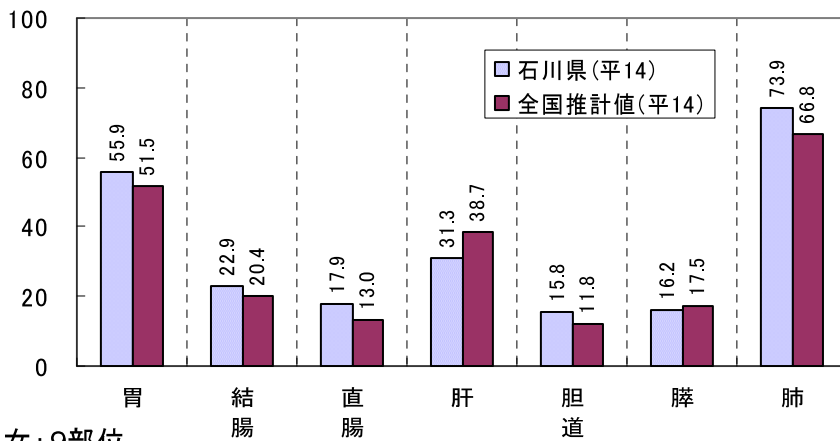
男女計で全国値と比較すると、肝を除いていずれの部位も高くなっている。(付表 5-3)

図 7-3 死亡率（人口 10 万対）の比較

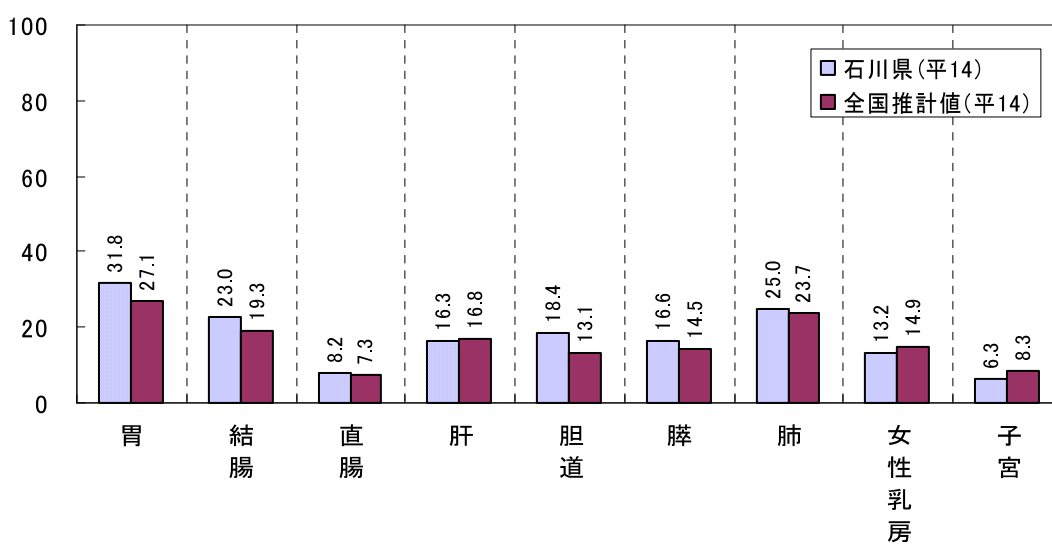
男女計：7部位



男：7部位



女：9部位



注) データには外国人を含めているため、衛生統計年報(平成 12 年、石川県健康福祉部)の数値とは一部異なる。

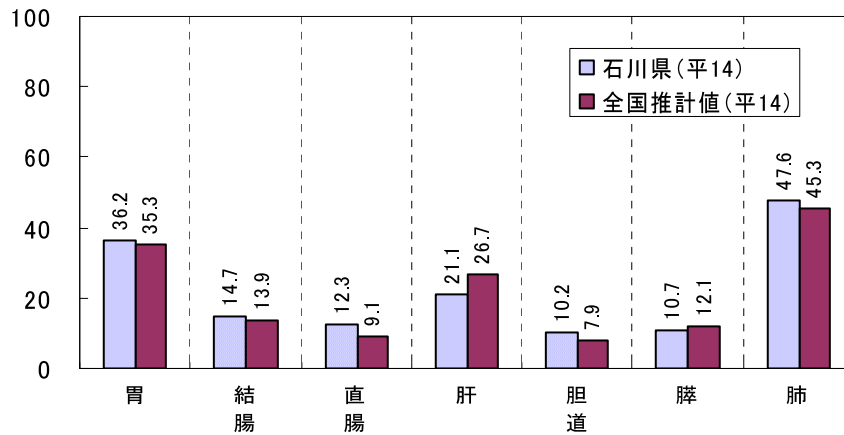
「人口動態統計」の死因分類表(死因簡単分類)にない甲状腺がんは除いた。

4 年齢調整死亡率の比較

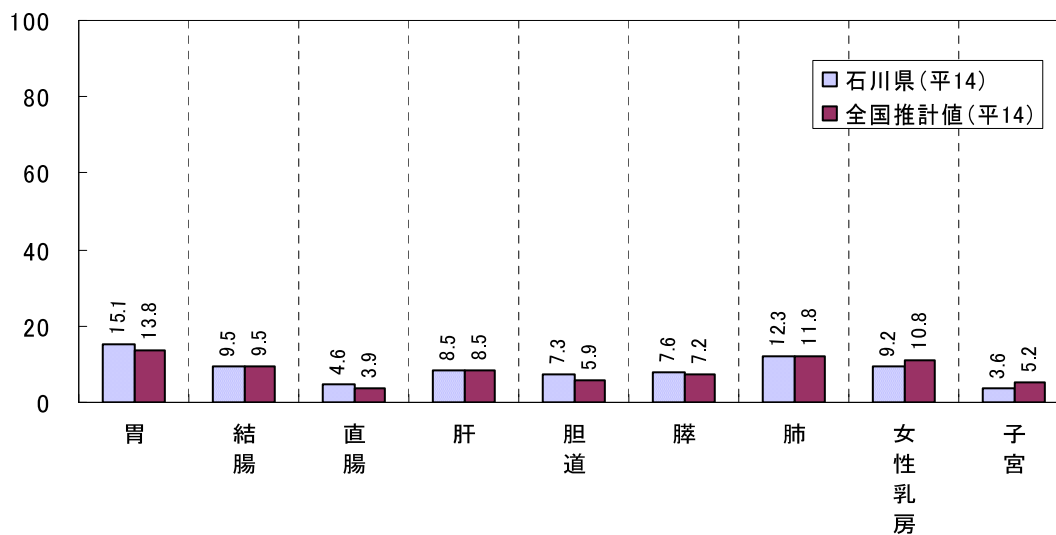
男女別に全国値と比較すると、男の肝が低くなっており、その他の部位では、男女ともほぼ同レベルであった(付表 5-4)。

図 7-4 年齢調整死亡率（人口 10 万対）の比較

男：7部位



女：9部位



VIII 生存率集計

- 1 生存率集計対象及び方法
- 2 生存率の概要
- 3 生存率と受療状況

1 生存率集計対象及び方法

(1) 集計対象

平成10年(1998年)に登録された患者を対象とした。

※ 本報告における生存率はDCO(死亡票のみによって登録された者)を除いた患者について算定した。また、がんの中には上皮内がんを含んでいる。

表8 生存率集計対象患者数

	総計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	1,734	494	221	165	123	69	88	253	188	73	60
男	924	326	123	105	87	33	53	190	—	—	7
女	810	168	98	60	36	36	35	63	188	73	53

(2) 生存率の計算方法

カプラン・マイヤー(Kaplan-Meier)法を用いて、がん罹患した人の中でがんによる死亡とその他全ての死因による死亡を死亡として、5年生存率を計算した。ただし、がん以外の死因による死亡確率は、患者の性・年齢及び暦年により異なり、累積生存率はこれらの要因により影響を受ける。

この影響を除くために、対象者の性・年齢と等しい一般住民から得た期待生存率で実測生存率を除して得られる相対生存率を併せて計算した。

(3) 予後調査の方法

死亡の把握は、罹患届出票と人口動態調査死亡票との照合により行っている。ただし、がん登録患者のうち罹患届出票で登録され、かつ死亡票がない患者を対象とした個々の生存確認調査は行っていない。

2 生存率の概要

(1) 部位別 5 年生存率、5 年相対生存率 (付表 6-1)

部位別に生存率を見ると、男女計で消化管(胃、結腸、直腸)で5年生存率は 50 から 60%前後であるが、肝、胆道系、膵及び肺は数%から 20%前後と生存率は低くなっている。甲状腺は 93.3%と最も高くなっている。

図 8-1 部位別 5 年生存率 (平成 10 年)

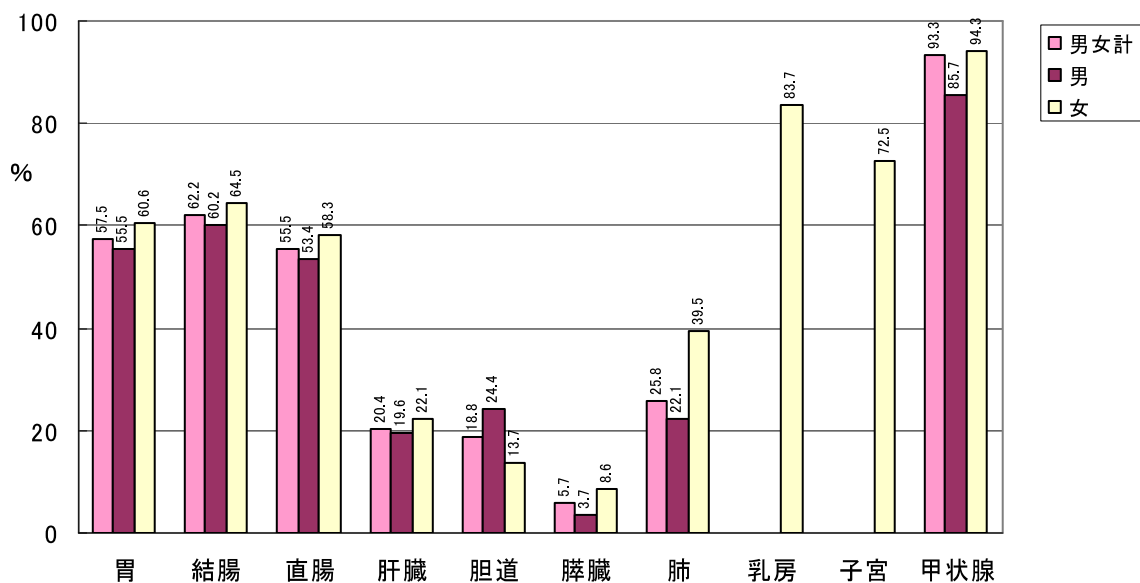


図 8-2 部位別 5 年相対生存率 (平成 10 年)

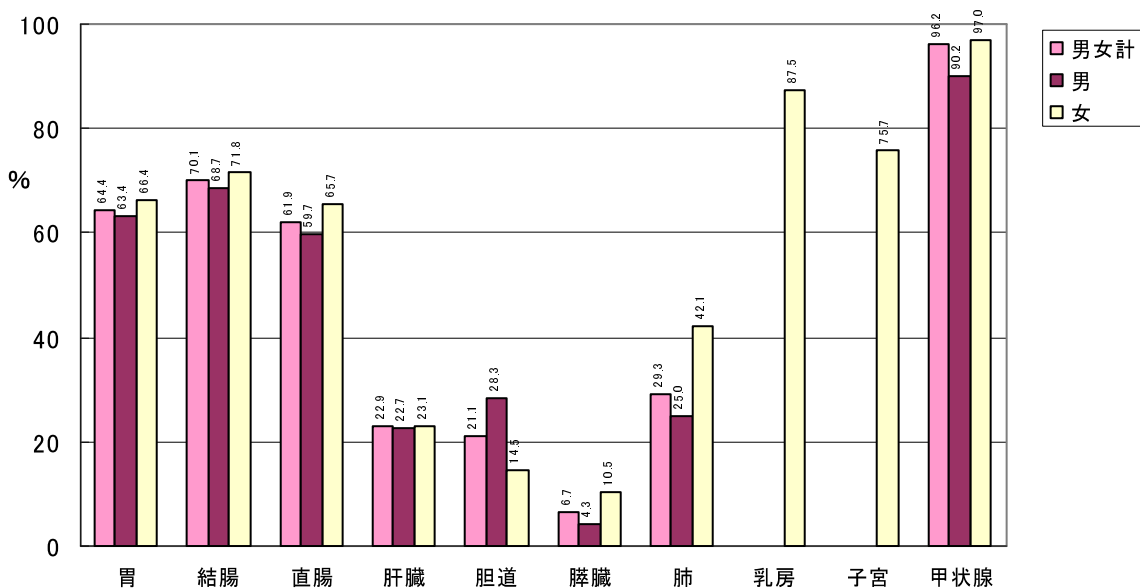
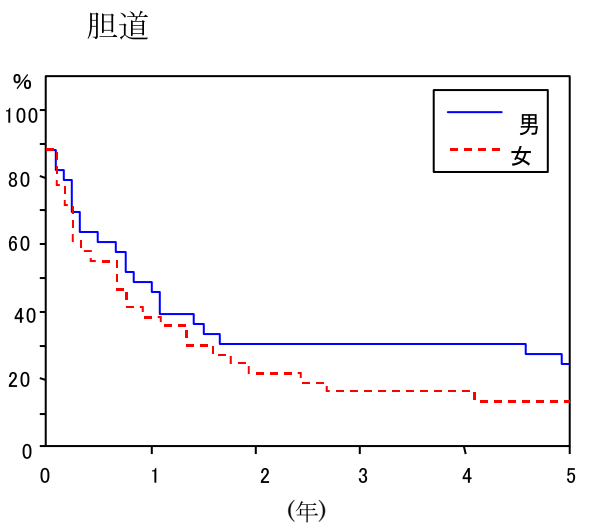
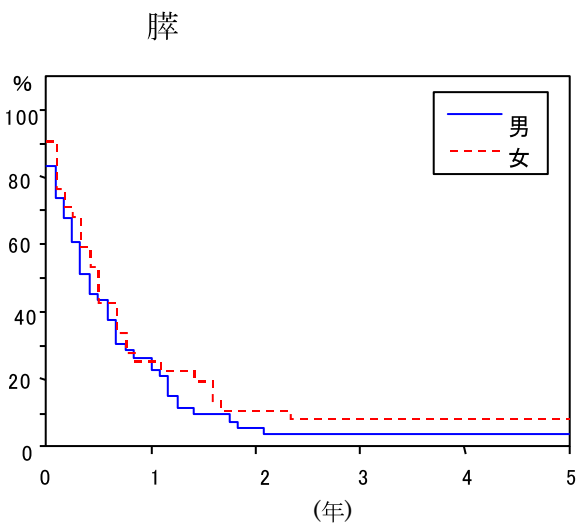
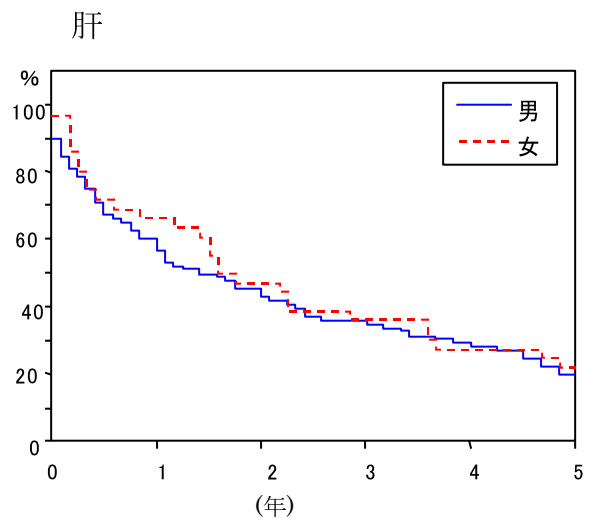
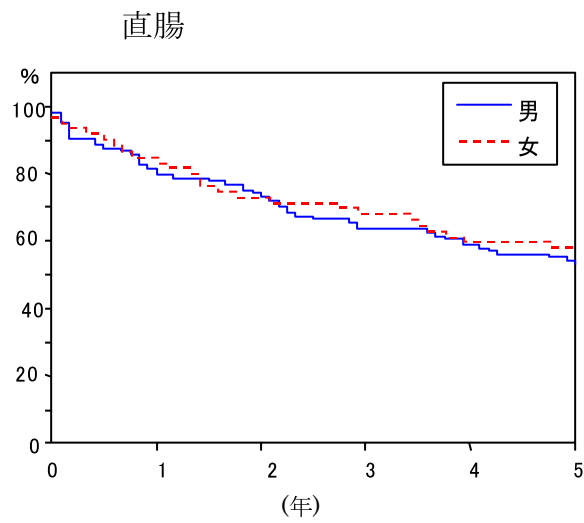
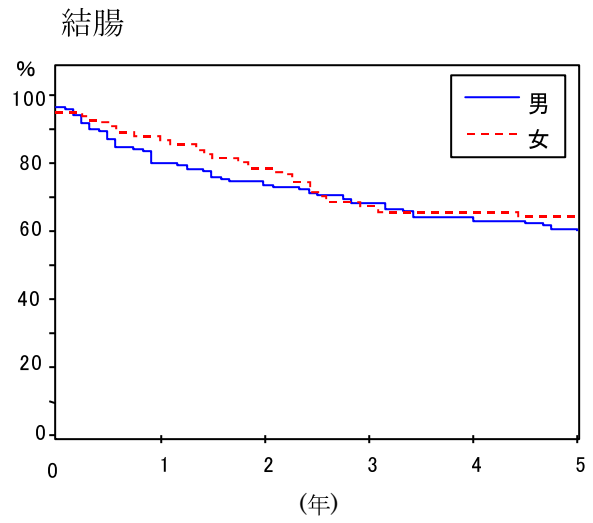
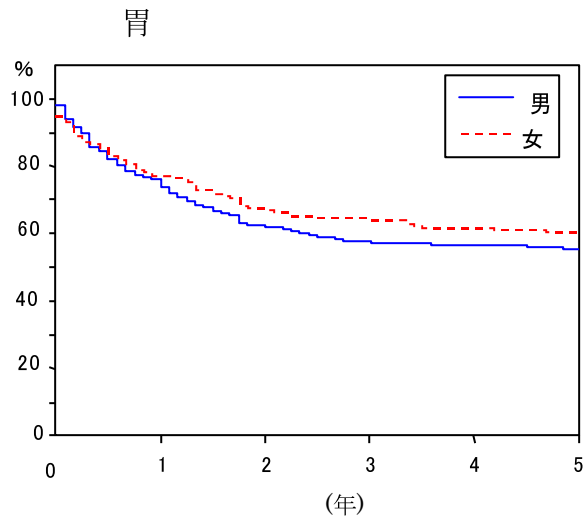
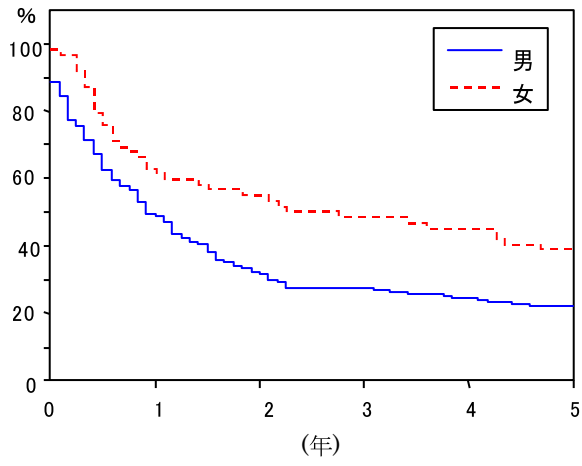


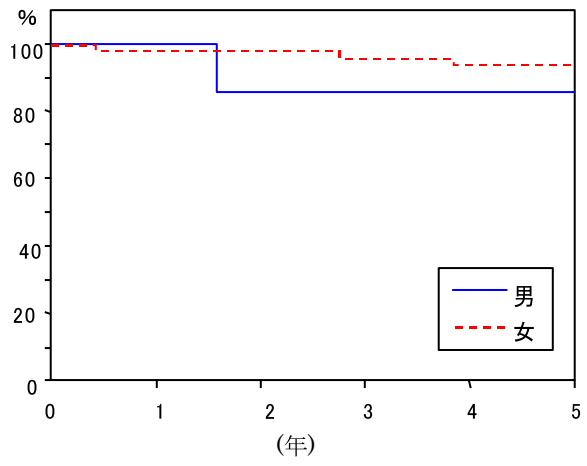
图 8-3 部位別 5 年生存率曲線



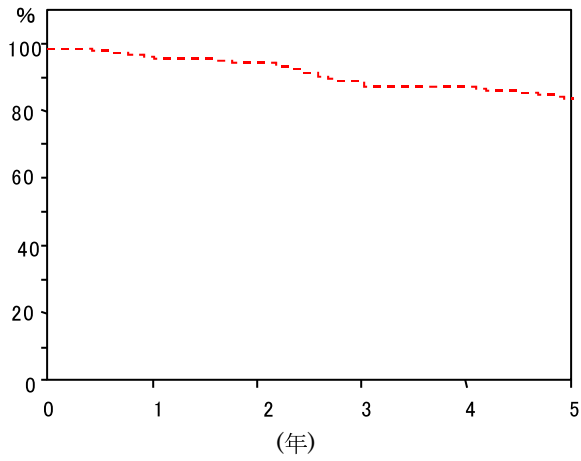
肺



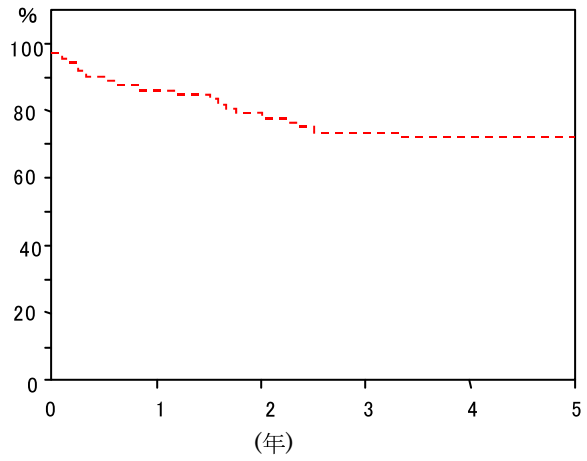
甲状腺



女性乳房



子宫

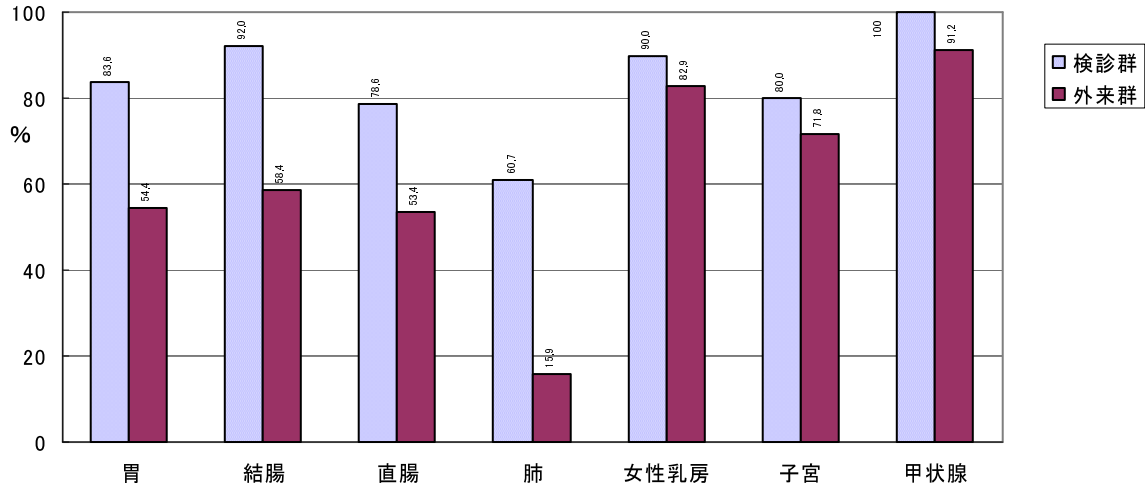


3 生存率と受療状況

(1) がん検診受診群と外来群における生存率（付表 6-2）

検診(施設検診と集団検診と健康診断(ドック含))でのがん発見群(以下、「検診群」という。)と検診以外の外来診療(直接受診と他院からの紹介)のがん発見群(以下、「外来群」という。)別に5年生存率を示した。部位は、「健康診査管理指導等事業実施のための指針」に基づきがん検診を行っている6部位及び甲状腺に限った。いずれの部位も検診群の生存率が外来群の生存率を上回っていた。

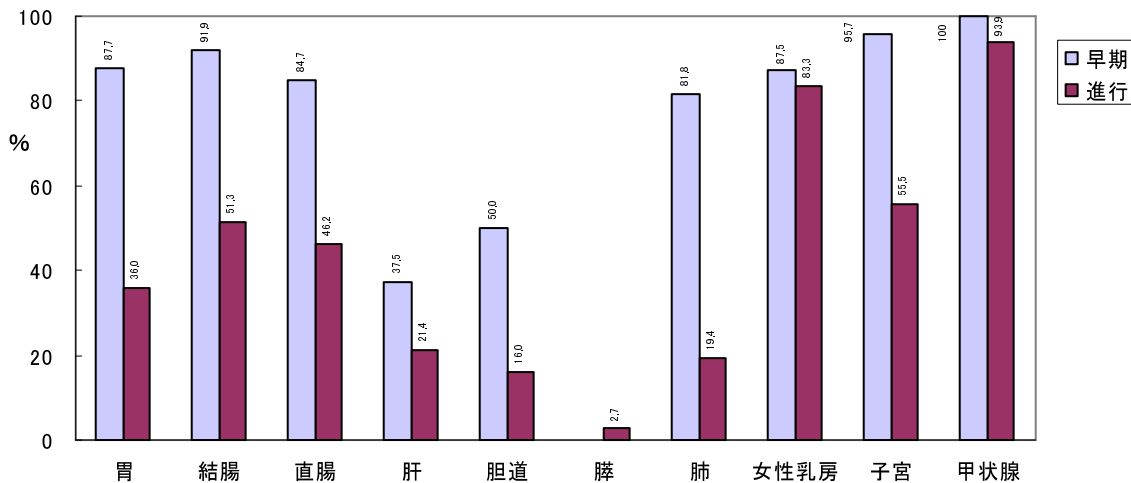
図 8-4 検診群、外来群別 5年生存率



(2) 病巣のひろがりによる生存率の状況（付表 6-3）

病巣のひろがり別(早期、進行がん)^{注)}の5年生存率を示したが、いずれの部位も早期の生存率が進行がんの生存率を上回っていた。

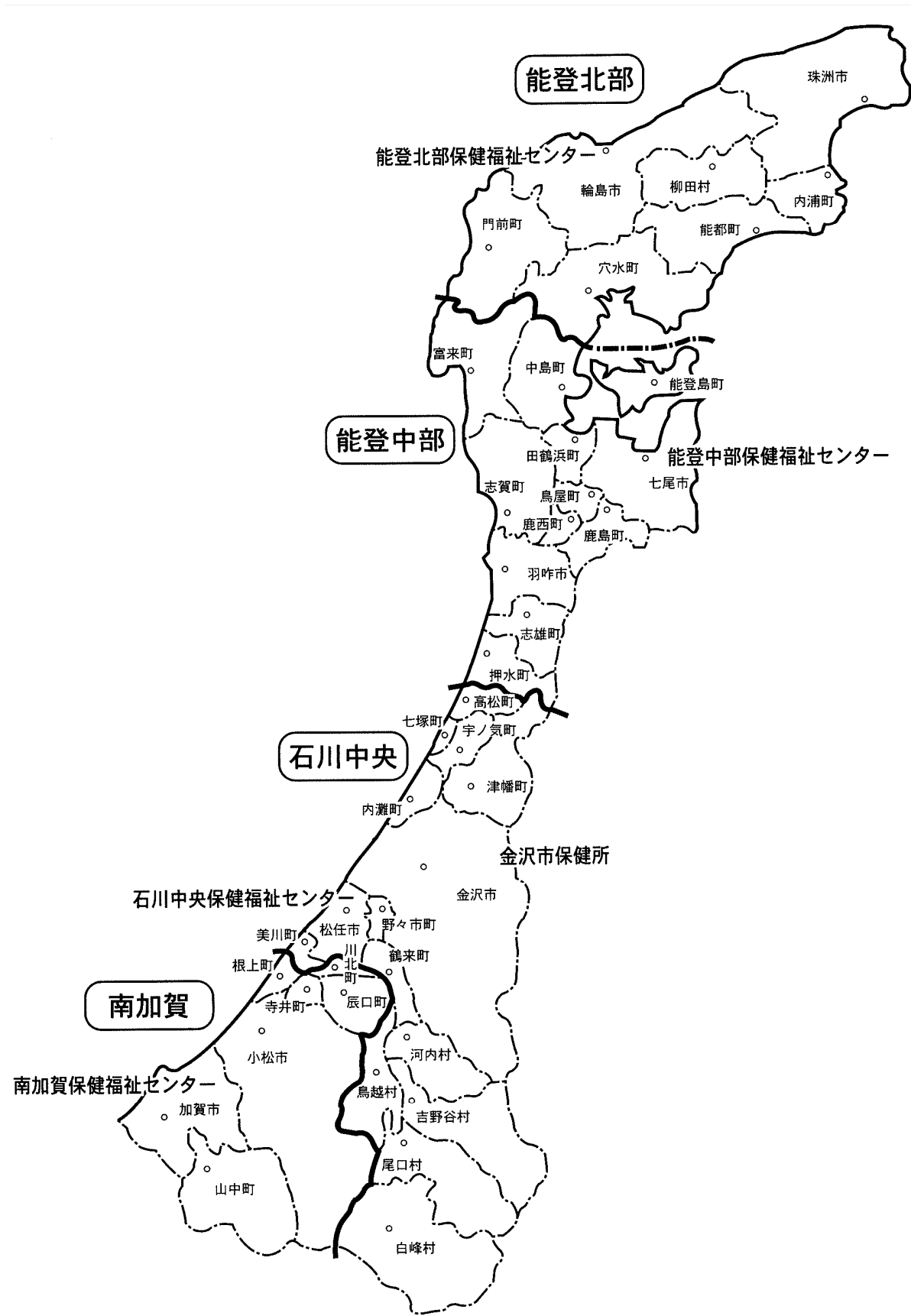
図 8-5 病巣のひろがり別 5年生存率



※脾の早期は、該当患者がいなかった。

注) 「病巣のひろがり」は次の区分による。

- ・早期(上皮内がんを含む。)
- ・進行がん(限局性、所属リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移)



平成14年4月1日当時

付 表

I 罹患集計関係

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用

(数は人;率は人口10万対) 集計期間 平成14年1月~12月

表1-1 罹患数、罹患率、年齢調整罹患率

(平成14年)

部位	罹患数			罹患率 (人口10万対)			年齢調整罹患率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	774	487	287	65.8	85.7	47.2	38.6	58.0	23.6
結腸	424	222	202	36.1	39.1	33.2	20.1	25.4	16.2
直腸	229	138	91	19.5	24.3	15.0	12.1	16.7	8.5
肝	283	169	114	24.1	29.7	18.8	14.6	20.2	10.2
胆道	216	103	113	18.4	18.1	18.6	9.4	11.7	7.7
膵	205	102	103	17.4	17.9	17.0	9.8	12.2	7.7
肺	632	464	168	53.7	81.6	27.7	30.7	53.6	13.9
女性乳房	199	—	199	—	—	32.8	—	—	24.5
子宮	95	—	95	—	—	15.6	—	—	13.1
甲状腺	68	11	57	5.8	1.9	9.4	4.4	1.5	7.3
計	3,125	1,696	1,429						

表1-2 部位別罹患率経年変化(平成4年~14年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	85.0	31.2	20.5	23.4	15.3	15.4	47.7			7.6
平成5	85.8	32.7	18.7	22.4	16.7	14.9	46.0			8.1
平成6	86.4	32.6	19.2	23.4	16.6	17.1	47.7			8.8
平成7	78.4	38.4	21.4	24.6	13.8	15.7	47.7			6.7
平成8	80.3	29.8	20.9	22.9	16.6	16.3	44.7			6.6
平成9	73.6	33.4	19.5	26.7	16.0	15.9	51.7			5.3
平成10	70.5	33.1	19.3	26.1	16.1	17.8	53.1			6.0
平成11	69.5	33.6	21.8	23.7	14.8	18.8	49.6			6.8
平成12	63.7	29.1	18.0	24.4	17.7	17.6	49.1			5.3
平成13	67.8	31.3	17.2	23.9	14.0	18.0	50.3			6.5
平成14	65.8	36.1	19.5	24.1	18.4	17.4	53.7			5.8
男										
平成4	113.6	36.1	26.7	33.8	12.8	17.6	67.7			1.8
平成5	120.9	37.1	24.7	31.4	14.6	17.6	69.8			2.7
平成6	114.1	37.9	23.9	31.7	15.9	20.0	67.7			2.3
平成7	100.2	43.6	27.7	33.1	12.4	18.7	69.9			1.8
平成8	105.8	31.8	24.0	29.0	15.7	18.5	70.1			2.1
平成9	97.6	35.8	24.8	37.8	15.2	18.2	76.8			1.2
平成10	92.9	37.9	24.1	35.1	14.0	19.4	79.3			2.0
平成11	95.5	39.5	25.0	32.0	13.1	21.1	73.2			2.6
平成12	88.9	31.3	22.4	32.2	17.1	19.3	75.8			1.4
平成13	93.4	35.2	22.5	32.4	11.1	19.3	78.3			3.7
平成14	85.7	39.1	24.3	29.7	18.1	17.9	81.6			1.9
女										
平成4	58.3	26.7	14.7	13.7	17.7	13.4	28.5	40.7	24.7	13.1
平成5	53.2	28.6	13.1	14.0	18.7	12.4	24.0	42.0	25.3	13.2
平成6	60.7	27.7	14.8	15.7	17.2	14.3	29.0	41.6	22.6	14.8
平成7	57.9	33.5	15.4	16.6	15.1	12.8	26.9	42.0	20.4	11.3
平成8	56.5	27.8	18.0	17.2	17.4	14.2	21.0	38.2	22.9	10.8
平成9	51.1	31.1	14.4	16.4	16.7	13.8	28.2	41.1	24.4	9.2
平成10	49.6	28.6	14.9	17.7	18.2	16.4	28.6	39.9	18.8	10.5
平成11	45.2	28.1	18.8	15.9	16.4	16.5	27.5	38.3	20.0	10.8
平成12	40.0	27.1	13.9	17.2	18.2	16.1	24.0	36.7	15.4	8.9
平成13	43.8	27.7	12.2	16.0	16.8	16.8	24.0	31.4	18.8	9.2
平成14	47.2	33.2	15.0	18.8	18.6	17.0	27.7	32.8	15.6	9.4

表1-3 部位別年齢調整罹患率経年変化(平成4年~14年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	66.3	23.9	15.9	18.4	11.3	11.1	35.3			6.8
平成5	66.2	24.8	14.7	17.3	11.6	10.8	33.6			7.1
平成6	64.4	23.8	14.9	17.5	11.1	12.0	33.9			7.9
平成7	56.4	26.9	15.6	17.5	8.8	10.7	32.7			5.9
平成8	56.3	20.6	14.9	16.3	10.4	10.7	29.7			5.6
平成9	49.6	22.5	14.1	18.7	9.6	10.1	33.5			4.5
平成10	47.2	21.5	13.1	17.4	9.6	11.1	33.6			5.0
平成11	45.3	21.1	14.4	15.3	8.5	11.4	30.8			5.6
平成12	39.6	17.5	11.7	15.7	9.8	10.5	29.1			4.0
平成13	41.2	18.8	10.7	14.6	7.2	10.8	29.1			5.1
平成14	38.6	20.1	12.1	14.6	9.4	9.8	30.7			4.4
男										
平成4	99.1	31.2	23.2	29.4	11.2	15.1	58.0			1.6
平成5	103.4	31.6	21.2	26.8	12.2	14.7	58.6			2.4
平成6	95.3	31.1	20.3	26.8	13.0	16.5	55.5			2.0
平成7	81.6	35.4	22.8	27.0	9.8	15.2	56.2			1.6
平成8	84.5	25.4	19.1	23.1	12.0	14.4	54.4			1.9
平成9	75.4	27.7	20.0	29.1	11.5	13.9	58.1			1.1
平成10	70.8	28.6	18.1	26.5	10.2	14.4	58.7			1.3
平成11	70.5	28.8	18.5	23.5	9.1	15.3	52.3			2.1
平成12	63.6	21.9	16.3	23.3	11.7	13.6	52.6			2.1
平成13	64.5	24.4	15.9	22.9	7.2	13.7	51.9			2.7
平成14	58.0	25.4	16.7	20.2	11.7	12.2	53.6			1.5
女										
平成4	41.1	18.7	10.2	9.5	11.2	8.2	18.7	35.0	21.1	11.5
平成5	37.4	19.6	9.4	9.4	11.4	8.1	15.5	36.4	21.6	11.3
平成6	41.2	18.5	10.2	9.8	9.5	8.2	18.4	36.1	18.8	13.5
平成7	37.5	20.9	10.1	9.8	8.4	7.3	16.2	35.2	17.0	10.0
平成8	35.6	17.1	11.7	10.5	9.1	7.8	12.5	30.5	18.8	8.9
平成9	29.7	18.6	9.4	10.4	8.0	7.4	16.3	34.6	20.0	7.6
平成10	28.9	15.9	9.2	10.2	9.2	8.4	15.4	32.1	14.5	8.5
平成11	26.5	14.9	11.3	8.6	8.4	8.4	15.7	31.2	17.3	8.7
平成12	21.0	14.3	7.9	9.6	8.3	8.2	12.1	28.4	12.6	6.7
平成13	24.0	14.5	6.7	7.7	7.1	8.6	13.0	23.4	14.4	7.5
平成14	23.6	16.2	8.5	10.2	7.7	7.7	13.9	24.5	13.1	7.3

表1-4 年齢階級別罹患数

男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,175,960	2831	774	424	229	283	216	205	632	68
0~4歳	56,394	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	56,753	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	58,872	3	0	0	0	1	0	0	1	1
15~19	66,767	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20~24	70,796	2	0	0	0	0	0	0	0	2
25~29	85,178	5	3	0	0	0	0	0	0	2
30~34	82,059	8	2	0	1	1	0	0	1	3
35~39	70,845	14	3	3	1	0	0	1	1	5
40~44	70,037	37	13	4	3	3	4	1	7	2
45~49	73,743	47	20	6	4	4	1	3	7	2
50~54	99,852	157	54	17	20	16	7	9	28	6
55~59	82,294	190	47	35	20	18	8	10	40	12
60~64	70,748	250	70	31	28	30	13	24	51	3
65~69	65,719	378	94	39	42	52	27	27	94	3
70~74	59,862	456	119	78	36	49	23	30	113	8
75~79	47,055	521	137	75	31	66	47	43	114	8
80~84	31,227	349	94	61	21	25	27	24	91	6
85~89	18,430	278	81	53	16	9	41	20	56	2
90~	9,329	135	37	22	6	9	18	13	28	2

男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	568,417	1696	487	222	138	169	103	102	464	11
0~4歳	28,942	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5~9	28,974	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10~14	29,786	1	0	0	0	0	0	0	0	1
15~19	34,377	0	0	0	0	0	0	0	0	0
20~24	38,091	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25~29	43,120	2	2	0	0	0	0	0	0	0
30~34	40,871	5	2	0	1	1	0	0	1	0
35~39	35,017	2	0	0	0	0	0	1	1	0
40~44	34,562	24	9	2	2	2	2	1	5	1
45~49	36,472	26	12	2	2	2	0	3	5	0
50~54	49,405	94	37	11	12	10	4	5	15	0
55~59	40,585	129	31	24	15	13	7	8	30	1
60~64	34,077	169	51	15	20	22	6	14	40	1
65~69	30,032	260	74	23	22	34	17	14	76	0
70~74	26,256	303	82	47	26	27	13	18	88	2
75~79	19,174	312	87	44	15	35	24	20	86	1
80~84	11,060	197	49	26	10	15	16	10	68	3
85~89	5,500	128	41	23	10	5	10	5	33	1
90~	2,116	44	10	5	3	3	4	3	16	0

※年齢階級別人口は、国勢調査年次は国勢調査人口、中間年は石川県推計人口。

女：10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
総計	607,543	1429	287	202	91	114	113	103	168	57
0～4歳	27,452	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	27,779	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	29,086	2	0	0	0	1	0	0	1	0
15～19	32,390	1	0	0	0	0	0	0	0	1
20～24	32,705	2	0	0	0	0	0	0	0	2
25～29	42,058	5	1	0	0	0	0	0	0	2
30～34	41,188	16	0	0	0	0	0	0	0	3
35～39	35,828	29	3	3	1	0	0	0	0	5
40～44	35,475	35	4	2	1	1	2	0	2	1
45～49	37,271	45	8	4	2	2	1	0	2	2
50～54	50,447	103	17	6	8	6	3	4	13	6
55～59	41,709	95	16	11	5	5	1	2	10	11
60～64	36,671	109	19	16	8	8	7	10	11	2
65～69	35,687	152	20	16	20	18	10	13	18	3
70～74	33,606	173	37	31	10	22	10	12	25	6
75～79	27,881	227	50	31	16	31	23	23	28	7
80～84	20,167	182	45	35	11	10	11	14	23	3
85～89	12,930	160	40	30	6	4	31	15	23	1
90～	7,213	93	27	17	3	6	14	10	12	2

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
総計	607,543	199	167	32	95	12	40	24	19
0～4歳	27,452	0	0	0	0	0	0	0	0
5～9	27,779	0	0	0	0	0	0	0	0
10～14	29,086	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	32,390	0	0	0	0	0	0	0	0
20～24	32,705	0	0	0	0	0	0	0	0
25～29	42,058	0	0	0	2	0	0	0	2
30～34	41,188	2	1	1	11	0	6	1	4
35～39	35,828	7	6	1	10	0	4	0	6
40～44	35,475	14	10	4	8	1	3	0	4
45～49	37,271	17	16	1	7	1	4	1	1
50～54	50,447	31	23	8	9	1	0	7	1
55～59	41,709	26	19	7	8	1	4	3	0
60～64	36,671	22	20	2	6	2	2	2	0
65～69	35,687	25	21	4	9	0	3	5	1
70～74	33,606	15	13	2	5	0	4	1	0
75～79	27,881	12	11	1	6	1	4	1	0
80～84	20,167	20	19	1	10	2	5	3	0
85～89	12,930	6	6	0	4	3	1	0	0
90～	7,213	2	2	0	0	0	0	0	0

表1-5 年齢階級別罹患率(人口10万対)

男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,175,960	240.8	65.8	36.1	19.5	24.1	18.4	17.4	53.7	5.8
0~4歳	56,394	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,753	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	58,872	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	66,767	1.5	-	-	-	-	-	-	-	1.5
20~24	70,796	2.8	-	-	-	-	-	-	-	2.8
25~29	85,178	5.8	3.5	-	-	-	-	-	-	2.3
30~34	82,059	9.7	2.4	-	1.2	1.2	-	-	1.2	3.7
35~39	70,845	19.7	4.2	4.2	1.4	-	-	1.4	1.4	7.1
40~44	70,037	52.9	18.6	5.7	4.3	4.3	5.7	1.4	10.0	2.9
45~49	73,743	63.7	27.1	8.1	5.4	5.4	1.4	4.1	9.5	2.7
50~54	99,852	157.1	54.1	17.0	20.0	16.0	7.0	9.0	28.0	6.0
55~59	82,294	230.9	57.1	42.5	24.3	21.9	9.7	12.2	48.6	14.6
60~64	70,748	353.3	98.9	43.8	39.6	42.4	18.4	33.9	72.1	4.2
65~69	65,719	575.1	143.0	59.3	63.9	79.1	41.1	41.1	143.0	4.6
70~74	59,862	761.8	198.8	130.3	60.1	81.9	38.4	50.1	188.8	13.4
75~79	47,055	1107.3	291.1	159.4	65.9	140.3	99.9	91.4	242.3	17.0
80~84	31,227	1117.6	301.0	195.3	67.2	80.1	86.5	76.9	291.4	19.2
85~89	18,430	1508.5	439.5	287.6	86.8	48.8	222.5	108.5	303.9	10.9
90~	9,329	1447.0	396.6	235.8	64.3	96.5	192.9	139.4	300.1	21.4

男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	568,417	298.3	85.7	39.1	24.3	29.7	18.1	17.9	81.6	1.9
0~4歳	28,942	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	28,974	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,786	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	34,377	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	38,091	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	43,120	4.6	4.6	-	-	-	-	-	-	-
30~34	40,871	12.1	4.9	-	2.4	2.4	-	-	2.4	-
35~39	35,017	5.8	-	-	-	-	-	2.9	2.9	-
40~44	34,562	69.5	26.0	5.8	5.8	5.8	5.8	2.9	14.5	2.9
45~49	36,472	71.3	32.9	5.5	5.5	5.5	-	8.2	13.7	-
50~54	49,405	190.3	74.9	22.3	24.3	20.2	8.1	10.1	30.4	-
55~59	40,585	317.8	76.4	59.1	37.0	32.0	17.2	19.7	73.9	2.5
60~64	34,077	496.0	149.7	44.0	58.7	64.6	17.6	41.1	117.4	2.9
65~69	30,032	865.8	246.4	76.6	73.3	113.2	56.6	46.6	253.1	-
70~74	26,256	1154.0	312.3	179.0	99.0	102.8	49.5	68.6	335.2	7.6
75~79	19,174	1627.1	453.7	229.5	78.2	182.5	125.2	104.3	448.5	5.2
80~84	11,060	1781.1	443.0	235.1	90.4	135.6	144.7	90.4	614.8	27.1
85~89	5,500	2327.3	745.5	418.2	181.8	90.9	181.8	90.9	600.0	18.2
90~	2,116	2079.4	472.6	236.3	141.8	141.8	189.0	141.8	756.1	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
總 計	607,543	235.2	47.2	33.2	15.0	18.8	18.6	17.0	27.7	9.4
0~4歲	27,452	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,779	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,086	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,390	3.1	-	-	-	-	-	-	-	3.1
20~24	32,705	6.1	-	-	-	-	-	-	-	6.1
25~29	42,058	11.9	2.4	-	-	-	-	-	-	4.8
30~34	41,188	38.8	-	-	-	-	-	-	-	7.3
35~39	35,828	80.9	8.4	8.4	2.8	-	-	-	-	14.0
40~44	35,475	98.7	11.3	5.6	2.8	2.8	5.6	-	5.6	2.8
45~49	37,271	120.7	21.5	10.7	5.4	5.4	2.7	-	5.4	5.4
50~54	50,447	204.2	33.7	11.9	15.9	11.9	5.9	7.9	25.8	11.9
55~59	41,709	227.8	38.4	26.4	12.0	12.0	2.4	4.8	24.0	26.4
60~64	36,671	297.2	51.8	43.6	21.8	21.8	19.1	27.3	30.0	5.5
65~69	35,687	425.9	56.0	44.8	56.0	50.4	28.0	36.4	50.4	8.4
70~74	33,606	514.8	110.1	92.2	29.8	65.5	29.8	35.7	74.4	17.9
75~79	27,881	814.2	179.3	111.2	57.4	111.2	82.5	82.5	100.4	25.1
80~84	20,167	902.5	223.1	173.6	54.5	49.6	54.5	69.4	114.0	14.9
85~89	12,930	1237.4	309.4	232.0	46.4	30.9	239.8	116.0	177.9	7.7
90~	7,213	1289.3	374.3	235.7	41.6	83.2	194.1	138.6	166.4	27.7

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	607,543	32.8	27.5	5.3	15.6	2.0	6.6	4.0	3.1
0~4歲	27,452	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,779	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,086	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,390	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	32,705	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	42,058	-	-	-	4.8	-	-	-	4.8
30~34	41,188	4.9	2.4	2.4	26.7	-	14.6	2.4	9.7
35~39	35,828	19.5	16.7	2.8	27.9	-	11.2	-	16.7
40~44	35,475	39.5	28.2	11.3	22.6	2.8	8.5	-	11.3
45~49	37,271	45.6	42.9	2.7	18.8	2.7	10.7	2.7	2.7
50~54	50,447	61.5	45.6	15.9	17.8	2.0	-	13.9	2.0
55~59	41,709	62.3	45.6	16.8	19.2	2.4	9.6	7.2	-
60~64	36,671	60.0	54.5	5.5	16.4	5.5	5.5	5.5	-
65~69	35,687	70.1	58.8	11.2	25.2	-	8.4	14.0	2.8
70~74	33,606	44.6	38.7	6.0	14.9	-	11.9	3.0	-
75~79	27,881	43.0	39.5	3.6	21.5	3.6	14.3	3.6	-
80~84	20,167	99.2	94.2	5.0	49.6	9.9	24.8	14.9	-
85~89	12,930	46.4	46.4	-	30.9	23.2	7.7	-	-
90~	7,213	27.7	27.7	-	-	-	-	-	-

表1-6 年齢階級別罹患順位及び罹患数

男女計

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	774	7	632	結腸	424	4	283	3	229
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24										
25~29	胃	3	子宮	2	甲状腺	2				
30~34	子宮	11	甲状腺	3	胃	2	乳房	2	直腸	1
35~39	子宮	10	乳房	7	甲状腺	5	胃	3	結腸	3
40~44	乳房	14	胃	13	子宮	8	肺	7	結腸	4
45~49	胃	20	乳房	17	肺	7	子宮	7	結腸	6
50~54	胃	54	乳房	31	肺	28	直腸	20	結腸	17
55~59	胃	47	肺	40	結腸	35	乳房	27	直腸	20
60~64	胃	70	肺	51	結腸	31	肝	30	直腸	28
65~69	胃	94	肺	94	肝	52	直腸	42	結腸	39
70~74	胃	119	肺	113	結腸	78	肝	49	直腸	36
75~79	胃	137	肺	114	結腸	75	肝	66	胆道	47
80~84	胃	94	肺	91	結腸	61	胆道	27	肝	25
85~89	胃	81	肺	56	結腸	53	胆道	41	膵	20
90~	胃	37	肺	28	結腸	22	胆道	18	膵	13

男

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	胃	487	7	464	2	222	4	169	3	138
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24										
25~29	胃	2								
30~34	胃	2	直腸	1	肝	1	肺	1		
35~39	膵	1	肺	1						
40~44	胃	9	肺	5	結腸	2	直腸	2	肝	2
45~49	胃	12	肺	5	膵	3	結腸	2	直腸	2
50~54	胃	37	肺	15	直腸	12	結腸	11	肝	10
55~59	胃	31	肺	30	結腸	24	直腸	15	肝	13
60~64	胃	51	肺	40	肝	22	直腸	20	結腸	15
65~69	肺	76	胃	74	肝	34	結腸	23	直腸	22
70~74	肺	88	胃	82	結腸	47	肝	27	直腸	26
75~79	胃	87	肺	86	結腸	44	肝	35	胆道	24
80~84	肺	68	胃	49	結腸	26	胆道	16	肝	15
85~89	胃	41	肺	33	結腸	23	直腸	10	胆道	10
90~	肺	16	胃	10	結腸	5	胆道	4	直腸	3

女

年齢階級	第1位		第2位		第3位		第4位		第5位	
	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数	部位	罹患数
総数	1	287	2	202	8	199	7	168	4	114
0~4歳										
5~9										
10~14										
15~19										
20~24										
25~29	子宮	2	甲状腺	2	胃	1				
30~34	子宮	11	甲状腺	3	乳房	2				
35~39	子宮	10	乳房	7	甲状腺	5	胃	3	結腸	3
40~44	乳房	14	11	8	胃	4	結腸	2	胆道	2
45~49	乳房	17	胃	8	子宮	7	結腸	4	直腸	2
50~54	乳房	31	胃	17	肺	13	子宮	9	直腸	8
55~59	乳房	26	胃	16	結腸	11	甲状腺	11	肺	10
60~64	乳房	22	胃	19	結腸	16	肺	11	膵	10
65~69	乳房	25	胃	20	直腸	20	肝	18	肺	18
70~74	胃	37	結腸	31	肺	25	肝	22	乳房	15
75~79	胃	50	結腸	31	肝	31	肺	28	胆道	23
80~84	胃	45	結腸	35	肺	23	乳房	20	膵	14
85~89	胃	40	胆道	31	結腸	30	肺	23	膵	15
90~	胃	27	結腸	17	胆道	14	肺	12	膵	10

II 死亡集計関係(年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用)

(数は人;率は人口10万対)集計期間 平成14年1月~12月

表2-1 死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

(平成14年)

部位	死亡数			死亡率 (人口10万対)			年齢調整死亡率 (人口10万対)		
	男女計	男	女	男女計	男	女	男女計	男	女
胃	511	318	193	43.5	55.9	31.8	23.8	36.2	15.1
結腸	270	130	140	23.0	22.9	23.0	11.8	14.7	9.5
直腸	152	102	50	12.9	17.9	8.2	8.0	12.3	4.6
肝	277	178	99	23.6	31.3	16.3	14.0	21.1	8.5
胆道	202	90	112	17.2	15.8	18.4	8.6	10.2	7.3
膵	193	92	101	16.4	16.2	16.6	9.0	10.7	7.6
肺	572	420	152	48.6	73.9	25.0	27.0	47.6	12.3
女性乳房	80	-	80	-	-	13.2	-	-	9.2
子宮	38	-	38	-	-	6.3	-	-	3.6
甲状腺	22	6	16	1.9	1.1	2.6	0.9	0.6	1.0
計	2,317	1,336	981						

表2-2 部位別死亡率経年変化(平成4年~14年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	41.2	13.8	9.7	16.3	12.3	14.0	35.5			1.3
平成5	42.6	15.3	7.4	15.7	13.4	13.3	40.0			1.5
平成6	44.2	14.5	7.9	17.8	13.1	14.8	38.3			1.4
平成7	42.9	18.6	9.2	20.8	12.9	15.5	38.8			0.8
平成8	46.7	17.6	8.9	19.5	13.1	15.5	42.2			1.7
平成9	46.2	19.3	8.0	20.7	13.4	14.0	43.5			0.7
平成10	46.7	19.5	7.9	23.1	13.4	15.7	46.5			1.0
平成11	44.1	19.0	11.2	24.4	14.6	18.7	42.8			1.6
平成12	45.8	20.5	10.0	24.2	15.6	18.9	44.9			1.2
平成13	47.5	20.0	10.2	25.1	12.1	17.4	45.1			1.3
平成14	43.5	23.0	12.9	23.6	17.2	16.4	48.6			1.9
男										
平成4	53.7	15.6	12.4	24.2	11.4	14.9	51.6			0.4
平成5	56.1	14.9	8.9	22.4	11.2	16.7	61.2			0.7
平成6	58.1	16.1	8.9	24.8	11.0	17.2	57.9			1.1
平成7	56.3	20.9	10.9	28.7	10.6	19.0	58.2			0.4
平成8	61.7	19.2	10.5	25.3	12.7	17.6	67.2			1.1
平成9	61.2	21.1	9.9	29.6	12.0	15.6	65.1			0.1
平成10	60.6	20.8	10.1	30.0	11.5	16.2	68.4			0.5
平成11	59.7	19.6	13.6	33.4	12.6	20.6	65.5			0.9
平成12	61.3	21.7	10.4	32.2	15.7	21.9	69.3			0.9
平成13	64.4	23.2	12.8	34.8	9.9	19.2	71.6			1.2
平成14	55.9	22.9	17.9	31.3	15.8	16.2	73.9			1.1
女										
平成4	29.6	12.1	7.1	8.9	13.1	13.1	20.5	10.3	8.4	2.2
平成5	30.1	15.7	5.9	9.4	15.5	10.1	20.2	11.1	8.1	2.3
平成6	31.2	13.0	6.9	11.4	15.0	12.5	20.0	8.9	8.7	1.6
平成7	30.7	16.3	7.3	13.2	15.2	12.2	20.6	13.2	5.6	1.2
平成8	33.1	16.0	6.8	14.0	13.7	13.5	18.6	11.4	9.4	2.3
平成9	32.4	17.4	5.9	12.5	15.0	12.5	23.4	12.7	8.7	1.3
平成10	33.7	18.3	5.9	16.5	15.2	15.2	26.0	12.6	8.3	1.5
平成11	29.5	18.5	9.0	16.0	16.5	16.9	21.6	15.5	7.0	2.3
平成12	31.3	19.4	9.6	16.7	15.6	16.1	22.0	15.6	7.1	1.5
平成13	31.8	17.0	7.7	16.0	14.2	15.8	20.2	14.8	7.6	1.3
平成14	31.8	23.0	8.2	16.3	18.4	16.6	25.0	13.2	6.3	2.6

表2-3 部位別年齢調整死亡率経年変化(平成4年~14年)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計										
平成4	30.9	10.1	7.0	12.5	8.7	10.1	26.0			0.8
平成5	31.0	10.8	5.4	11.8	9.2	9.4	28.7			1.0
平成6	31.3	10.1	5.7	13.2	8.4	10.4	26.7			1.1
平成7	29.0	12.6	6.3	14.8	8.2	10.5	25.9			0.5
平成8	30.9	11.6	6.3	13.6	8.1	10.2	28.0			1.1
平成9	29.3	12.0	5.5	14.2	8.0	8.7	27.4			0.4
平成10	29.5	12.0	5.1	15.3	7.6	9.8	28.6			0.5
平成11	26.8	11.2	6.9	15.5	8.1	11.2	25.9			0.6
平成12	26.7	11.4	6.1	15.5	8.5	11.5	25.8			0.6
平成13	27.4	11.7	6.2	15.5	6.0	10.3	25.1			0.7
平成14	23.8	11.8	8.0	14.0	8.6	9.0	27.0			0.9
男										
平成4	46.2	13.5	10.5	20.9	9.7	12.8	43.9			0.3
平成5	47.0	12.4	7.5	19.0	9.3	13.9	51.3			0.6
平成6	47.5	13.1	7.3	20.8	8.8	14.3	47.2			0.9
平成7	44.7	16.7	8.8	23.6	8.3	16.0	46.6			0.3
平成8	49.3	15.7	9.1	20.6	9.9	14.2	53.6			0.9
平成9	46.1	16.1	7.9	22.6	9.1	11.8	48.5			0.0
平成10	45.3	15.6	7.5	22.8	8.1	12.2	50.2			0.3
平成11	43.1	13.9	9.9	24.2	8.7	14.9	46.6			0.9
平成12	42.5	15.0	7.5	23.2	10.6	15.6	47.4			0.6
平成13	43.4	16.1	9.0	24.7	6.4	13.5	47.0			0.8
平成14	36.2	14.7	12.3	21.1	10.2	10.7	47.6			0.6
女										
平成4	19.7	7.3	4.7	5.8	7.8	8.0	13.2	8.5	5.8	1.3
平成5	19.2	9.7	3.7	6.2	9.3	6.2	12.5	9.3	5.4	1.3
平成6	19.5	7.8	4.4	7.0	8.0	7.3	12.0	7.7	4.5	0.8
平成7	18.0	10.0	4.4	7.6	8.4	6.9	11.4	10.4	3.4	0.6
平成8	19.5	9.2	4.3	8.5	7.2	7.6	11.2	8.9	6.5	1.3
平成9	17.2	9.1	3.7	7.6	6.9	6.4	12.7	9.9	5.6	0.6
平成10	17.6	9.3	3.3	9.3	7.4	7.9	13.3	9.0	4.8	0.5
平成11	15.1	9.2	4.6	8.5	8.1	8.3	11.5	12.3	3.9	0.5
平成12	15.3	8.7	5.0	9.3	7.1	8.3	10.8	10.5	4.6	0.5
平成12	15.7	8.4	4.2	7.9	5.5	7.9	9.6	10.4	4.5	0.6
平成13	15.7	8.4	4.2	7.9	5.5	7.9	9.6	10.4	4.5	0.6
平成14	15.1	9.5	4.6	8.5	7.3	7.6	12.3	9.2	3.6	1.0

表2-4 年齢階級別死亡率(人口10万対)

男女計:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	1,175,960	187.1	43.5	23.0	12.9	23.6	17.2	16.4	48.6	1.9
0~4歳	56,394	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	56,753	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	58,872	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	66,767	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	70,796	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	85,178	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	82,059	3.6	-	-	1.2	1.2	-	-	1.2	-
35~39	70,845	9.8	4.2	-	1.4	-	-	2.8	1.4	-
40~44	70,037	32.9	12.9	-	5.7	4.3	5.7	-	4.3	-
45~49	73,743	31.2	9.5	5.4	-	6.8	-	1.4	8.1	-
50~54	99,852	98.0	17.0	11.0	17.0	11.0	7.0	9.0	26.0	-
55~59	82,294	146.9	31.6	19.4	18.2	21.9	8.5	10.9	34.0	2.4
60~64	70,748	229.1	58.0	17.0	25.4	29.7	17.0	28.3	53.7	-
65~69	65,719	427.5	86.7	35.0	28.9	79.1	33.5	36.5	127.8	-
70~74	59,862	591.5	140.3	65.1	41.8	98.6	30.1	41.8	167.1	6.7
75~79	47,055	892.6	176.4	119.0	40.4	119.0	89.3	95.6	242.3	10.6
80~84	31,227	1024.8	243.4	160.1	48.0	96.1	96.1	76.9	288.2	16.0
85~89	18,430	1334.8	369.0	206.2	65.1	65.1	222.5	108.5	282.1	16.3
90~	9,329	1500.8	428.8	225.1	64.3	96.5	203.7	150.1	300.1	32.2

男:8部位

年齢	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	甲状腺
総計	568,417	235.0	55.9	22.9	17.9	31.3	15.8	16.2	73.9	1.1
0~4歳	28,942	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	28,974	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,786	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	34,377	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	38,091	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	43,120	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	40,871	7.3	-	-	2.4	2.4	-	-	2.4	-
35~39	35,017	5.7	-	-	-	-	-	2.9	2.9	-
40~44	34,562	37.6	14.5	-	5.8	5.8	5.8	-	5.8	-
45~49	36,472	35.6	8.2	8.2	-	8.2	-	2.7	8.2	-
50~54	49,405	113.3	16.2	16.2	18.2	14.2	8.1	10.1	30.4	-
55~59	40,585	221.8	37.0	27.1	32.0	37.0	14.8	17.2	54.2	2.5
60~64	34,077	334.5	85.1	14.7	49.9	47.0	17.6	32.3	88.0	-
65~69	30,032	649.3	153.2	43.3	36.6	113.2	43.3	40.0	219.8	-
70~74	26,256	914.1	220.9	83.8	72.4	144.7	38.1	57.1	293.3	3.8
75~79	19,174	1382.1	318.1	151.2	57.4	172.1	109.5	109.5	459.0	5.2
80~84	11,060	1754.1	425.0	208.0	81.4	171.8	135.6	99.5	614.8	18.1
85~89	5,500	1945.5	618.2	218.2	145.5	127.3	163.6	90.9	563.6	18.2
90~	2,116	2079.4	567.1	189.0	94.5	141.8	189.0	141.8	756.1	-

女:10部位

年 齡	階級別人口	計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	脾	肺	甲状腺
總 計	607,543	161.5	31.8	23.0	8.2	16.3	18.4	16.6	25.0	2.6
0~4歲	27,452	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,779	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,086	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,390	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	32,705	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	42,058	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	41,188	4.9	-	-	-	-	-	-	-	-
35~39	35,828	19.5	8.4	-	2.8	-	-	2.8	-	-
40~44	35,475	47.9	11.3	-	5.6	2.8	5.6	-	2.8	-
45~49	37,271	42.9	10.7	2.7	-	5.4	-	-	8.0	-
50~54	50,447	115.0	17.8	5.9	15.9	7.9	5.9	7.9	21.8	-
55~59	41,709	105.5	26.4	12.0	4.8	7.2	2.4	4.8	14.4	2.4
60~64	36,671	166.3	32.7	19.1	2.7	13.6	16.4	24.5	21.8	-
65~69	35,687	260.6	30.8	28.0	22.4	50.4	25.2	33.6	50.4	-
70~74	33,606	377.9	77.4	50.6	17.9	62.5	23.8	29.8	68.4	8.9
75~79	27,881	584.6	78.9	96.8	28.7	82.5	75.3	86.1	93.3	14.3
80~84	20,167	724.0	143.8	133.9	29.8	54.5	74.4	64.5	109.1	14.9
85~89	12,930	1152.4	263.0	201.1	30.9	38.7	247.5	116.0	162.4	15.5
90~	7,213	1344.8	388.2	235.7	55.5	83.2	208.0	152.5	166.4	41.6

年 齡	階級別人口	女性乳房			子 宮				
		小計	浸潤	上皮内	小計	部位不明	頸部	体部	頸部 上皮内
總 計	607,543	13.2	13.2	-	6.3	2.1	2.8	1.3	-
0~4歲	27,452	-	-	-	-	-	-	-	-
5~9	27,779	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14	29,086	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19	32,390	-	-	-	-	-	-	-	-
20~24	32,705	-	-	-	-	-	-	-	-
25~29	42,058	-	-	-	-	-	-	-	-
30~34	41,188	2.4	2.4	-	2.4	-	2.4	-	-
35~39	35,828	5.6	5.6	-	-	-	-	-	-
40~44	35,475	16.9	16.9	-	2.8	2.8	-	-	-
45~49	37,271	13.4	13.4	-	2.7	2.7	-	-	-
50~54	50,447	23.8	23.8	-	7.9	2.0	5.9	-	-
55~59	41,709	21.6	21.6	-	9.6	4.8	4.8	-	-
60~64	36,671	24.5	24.5	-	10.9	5.5	2.7	2.7	-
65~69	35,687	14.0	14.0	-	5.6	-	2.8	2.8	-
70~74	33,606	26.8	26.8	-	11.9	-	8.9	3.0	-
75~79	27,881	17.9	17.9	-	10.8	3.6	3.6	3.6	-
80~84	20,167	54.5	54.5	-	44.6	9.9	14.9	19.8	-
85~89	12,930	38.7	38.7	-	38.7	23.2	15.5	-	-
90~	7,213	13.9	13.9	-	-	-	-	-	-

Ⅲ 受療状況関係

表3-1 来院の動機

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,456	421	234	139	73	66	60	201	147	67	48
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	712	195	116	66	39	33	28	92	93	24	26
	48.9	46.3	49.6	47.5	53.4	50.0	46.7	45.8	63.3	35.8	54.2
紹介	590	170	99	64	29	32	28	85	37	32	14
	40.5	40.4	42.3	46.0	39.7	48.5	46.7	42.3	25.2	47.8	29.2
施設検診	21	5	1	2	0	0	0	6	2	3	2
※	1.4	1.2	0.4	1.4	0.0	0.0	0.0	3.0	1.4	4.5	4.2
集団検診	75	27	7	5	0	1	0	13	11	6	5
※	5.2	6.4	3.0	3.6	0.0	1.5	0.0	6.5	7.5	9.0	10.4
健康診断	27	15	4	0	1	0	1	2	2	1	1
※	1.9	3.6	1.7	0.0	1.4	0.0	1.7	1.0	1.4	1.5	2.1
その他	28	8	7	2	4	0	2	3	1	1	0
	1.9	1.9	3.0	1.4	5.5	0.0	3.3	1.5	0.7	1.5	0.0
不明	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.7	0.0	0.0

動機	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	755	279	134	81	41	31	37	147			5
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
直接受診	365	128	72	38	20	20	17	67			3
	48.3	45.9	53.7	46.9	48.8	64.5	45.9	45.6			60.0
紹介	311	109	50	39	19	10	18	64			2
	41.2	39.1	37.3	48.1	46.3	32.3	48.6	43.5			40.0
施設検診	10	4	1	1	0	0	0	4			0
	1.3	1.4	0.7	1.2	0.0	0.0	0.0	2.7			0.0
集団検診	31	18	3	2	0	1	0	7			0
	4.1	6.5	2.2	2.5	0.0	3.2	0.0	4.8			0.0
健康診断	20	13	3	0	1	0	1	2			0
	2.6	4.7	2.2	0.0	2.4	0.0	2.7	1.4			0.0
その他	18	7	5	1	1	0	1	3			0
	2.4	2.5	3.7	1.2	2.4	0.0	2.7	2.0			0.0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			0.0

動機	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	701	142	100	58	32	35	23	54	147	67	43
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
直接受診	347	67	44	28	19	13	11	25	93	24	23
	49.5	47.2	44.0	48.3	59.4	37.1	47.8	46.3	63.3	35.8	53.5
紹介	279	61	49	25	10	22	10	21	37	32	12
	39.8	43.0	49.0	43.1	31.3	62.9	43.5	38.9	25.2	47.8	27.9
施設検診	11	1	0	1	0	0	0	2	2	3	2
	1.6	0.7	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	3.7	1.4	4.5	4.7
集団検診	44	9	4	3	0	0	0	6	11	6	5
	6.3	6.3	4.0	5.2	0.0	0.0	0.0	11.1	7.5	9.0	11.6
健康診断	7	2	1	0	0	0	0	0	2	1	1
	1.0	1.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.5	2.3
その他	10	1	2	1	3	0	1	0	1	1	0
	1.4	0.7	2.0	1.7	9.4	0.0	4.3	0.0	0.7	1.5	0.0
不明	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	0.4	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.7	0.0	0.0

※を併せて「検診」とする。 注) 下欄は構成割合 (%)

表3-2 自覚症状の有無

自覚症状	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,456	421	234	139	73	66	60	201	147	67	48
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	984	267	169	115	26	59	48	117	117	45	21
	67.6	63.4	72.2	82.7	35.6	89.4	80.0	58.2	79.6	67.2	43.8
なし	413	141	51	21	45	5	10	71	24	21	24
	28.4	33.5	21.8	15.1	61.6	7.6	16.7	35.3	16.3	31.3	50.0
不明	59	13	14	3	2	2	2	13	6	1	3
	4.1	3.1	6.0	2.2	2.7	3.0	3.3	6.5	4.1	1.5	6.3

自覚症状	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	755	279	134	81	41	31	37	147			5
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
あり	508	180	95	66	18	30	29	86			4
	67.3	64.5	70.9	81.5	43.9	96.8	78.4	58.5			80.0
なし	212	90	29	13	21	1	7	50			1
	28.1	32.3	21.6	16.0	51.2	3.2	18.9	34.0			20.0
不明	35	9	10	2	2	0	1	11			0
	4.6	3.2	7.5	2.5	4.9	0.0	2.7	7.5			0.0

自覚症状	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	701	142	100	58	32	35	23	54	147	67	43
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
あり	476	87	74	49	8	29	19	31	117	45	17
	67.9	61.3	74.0	84.5	25.0	82.9	82.6	57.4	79.6	67.2	39.5
なし	201	51	22	8	24	4	3	21	24	21	23
	28.7	35.9	22.0	13.8	75.0	11.4	13.0	38.9	16.3	31.3	53.5
不明	24	4	4	1	0	2	1	2	6	1	3
	3.4	2.8	4.0	1.7	0.0	5.7	4.3	3.7	4.1	1.5	7.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-3 病巣のひろがり

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,222	354	204	117	64	53	49	164	126	55	36
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	259	146	25	21	2	5	0	18	22	18	2
	21.2	41.2	12.3	17.9	3.1	9.4	0.0	11.0	17.5	32.7	5.6
限局性	389	48	84	42	47	11	11	49	61	21	15
	31.8	13.6	41.2	35.9	73.4	20.8	22.4	29.9	48.4	38.2	41.7
所属リンパ節転移	231	62	45	30	2	5	5	27	36	7	12
	18.9	17.5	22.1	25.6	3.1	9.4	10.2	16.5	28.6	12.7	33.3
隣接臓器浸潤	120	16	17	7	2	17	21	27	3	4	6
	9.8	4.5	8.3	6.0	3.1	32.1	42.9	16.5	2.4	7.3	16.7
遠隔転移	206	77	32	16	7	14	11	41	3	4	1
	16.9	21.8	15.7	13.7	10.9	26.4	22.4	25.0	2.4	7.3	2.8
その他	17	5	1	1	4	1	1	2	1	1	0
	1.4	1.4	0.5	0.9	6.3	1.9	2.0	1.2	0.8	1.8	0.0

ひろがり	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	630	235	113	70	38	22	28	120			4
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
早期	144	98	17	15	1	1	0	12			0
	22.9	41.7	15.0	21.4	2.6	4.5	0.0	10.0			0.0
限局性	178	34	48	24	27	5	5	33			2
	28.3	14.5	42.5	34.3	71.1	22.7	17.9	27.5			50.0
所属リンパ節転移	109	41	21	18	1	2	4	21			1
	17.3	17.4	18.6	25.7	2.6	9.1	14.3	17.5			25.0
隣接臓器浸潤	66	11	7	3	0	9	13	23			0
	10.5	4.7	6.2	4.3	0.0	40.9	46.4	19.2			0.0
遠隔転移	126	50	19	10	6	5	6	29			1
	20.0	21.3	16.8	14.3	15.8	22.7	21.4	24.2			25.0
その他	7	1	1	0	3	0	0	2			0
	1.1	0.4	0.9	0.0	7.9	0.0	0.0	1.7			0.0

ひろがり	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	592	119	91	47	26	31	21	44	126	55	32
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
早期	115	48	8	6	1	4	0	6	22	18	2
	19.4	40.3	8.8	12.8	3.8	12.9	0.0	13.6	17.5	32.7	6.3
限局性	211	14	36	18	20	6	6	16	61	21	13
	35.6	11.8	39.6	38.3	76.9	19.4	28.6	36.4	48.4	38.2	40.6
所属リンパ節転移	122	21	24	12	1	3	1	6	36	7	11
	20.6	17.6	26.4	25.5	3.8	9.7	4.8	13.6	28.6	12.7	34.4
隣接臓器浸潤	54	5	10	4	2	8	8	4	3	4	6
	9.1	4.2	11.0	8.5	7.7	25.8	38.1	9.1	2.4	7.3	18.8
遠隔転移	80	27	13	6	1	9	5	12	3	4	0
	13.5	22.7	14.3	12.8	3.8	29.0	23.8	27.3	2.4	7.3	0.0
その他	10	4	0	1	1	1	1	0	1	1	0
	1.7	3.4	0.0	2.1	3.8	3.2	4.8	0.0	0.8	1.8	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-4 診断方法

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,243 100.0	356 100.0	205 100.0	117 100.0	65 100.0	54 100.0	54 100.0	167 100.0	129 100.0	56 100.0	40 100.0
エックス線	1,105 88.9	308 86.5	177 86.3	107 91.5	53 81.5	49 90.7	44 81.5	164 98.2	127 98.4	42 75.0	34 85.0
超音波	1,069 86.0	325 91.3	171 83.4	97 82.9	65 100.0	51 94.4	51 94.4	92 55.1	125 96.9	52 92.9	40 100.0
RI	306 24.6	31 8.7	14 6.8	7 6.0	5 7.7	9 16.7	6 11.1	124 74.3	81 62.8	12 21.4	17 42.5
CT	1,173 94.4	342 96.1	193 94.1	106 90.6	63 96.9	54 100.0	53 98.1	161 96.4	125 96.9	37 66.1	39 97.5
内視鏡	881 70.9	349 98.0	180 87.8	113 96.6	29 44.6	34 63.0	36 66.7	102 61.1	15 11.6	18 32.1	5 12.5
細胞診	632 50.8	165 46.3	66 32.2	47 40.2	2 3.1	23 42.6	12 22.2	140 83.8	96 74.4	54 96.4	27 67.5
組織診	1,000 80.5	333 93.5	185 90.2	109 93.2	5 7.7	20 37.0	23 42.6	117 70.1	119 92.2	53 94.6	36 90.0
手術	892 71.8	276 77.5	177 86.3	100 85.5	7 10.8	20 37.0	23 42.6	79 47.3	126 97.7	45 80.4	39 97.5
その他	25 2.0	5 1.4	3 1.5	0 0.0	4 6.2	2 3.7	1 1.9	3 1.8	1 0.8	6 10.7	0 0.0

診断方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	640 100.0	236 100.0	114 100.0	70 100.0	38 100.0	22 100.0	33 100.0	122 100.0			5 100.0
エックス線	564 88.1	206 87.3	97 85.1	64 91.4	31 81.6	19 86.4	26 78.8	119 97.5			2 40.0
超音波	525 82.0	216 91.5	92 80.7	57 81.4	38 100.0	22 100.0	30 90.9	65 53.3			5 100.0
RI	128 20.0	19 8.1	9 7.9	1 1.4	4 10.5	2 9.1	4 12.1	87 71.3			2 40.0
CT	606 94.7	226 95.8	106 93.0	62 88.6	37 97.4	22 100.0	32 97.0	116 95.1			5 100.0
内視鏡	526 82.2	230 97.5	100 87.7	67 95.7	17 44.7	14 63.6	23 69.7	73 59.8			2 40.0
細胞診	300 46.9	114 48.3	34 29.8	33 47.1	2 5.3	10 45.5	6 18.2	98 80.3			3 60.0
組織診	505 78.9	220 93.2	105 92.1	66 94.3	4 10.5	7 31.8	15 45.5	84 68.9			4 80.0
手術	437 68.3	189 80.1	96 84.2	61 87.1	6 15.8	9 40.9	15 45.5	57 46.7			4 80.0
その他	13 2.0	4 1.7	3 2.6	0 0.0	2 5.3	2 9.1	0 0.0	2 1.6			0 0.0

診断方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	603 100.0	120 100.0	91 100.0	47 100.0	27 100.0	32 100.0	21 100.0	45 100.0	129 100.0	56 100.0	35 100.0
エックス線	541 89.7	102 85.0	80 87.9	43 91.5	22 81.5	30 93.8	18 85.7	45 100.0	127 98.4	42 75.0	32 91.4
超音波	544 90.2	109 90.8	79 86.8	40 85.1	27 100.0	29 90.6	21 100.0	27 60.0	125 96.9	52 92.9	35 100.0
RI	178 29.5	12 10.0	5 5.5	6 12.8	1 3.7	7 21.9	2 9.5	37 82.2	81 62.8	12 21.4	15 42.9
CT	567 94.0	116 96.7	87 95.6	44 93.6	26 96.3	32 100.0	21 100.0	45 100.0	125 96.9	37 66.1	34 97.1
内視鏡	355 58.9	119 99.2	80 87.9	46 97.9	12 44.4	20 62.5	13 61.9	29 64.4	15 11.6	18 32.1	3 8.6
細胞診	332 55.1	51 42.5	32 35.2	14 29.8	0 0.0	13 40.6	6 28.6	42 93.3	96 74.4	54 96.4	24 68.6
組織診	495 82.1	113 94.2	80 87.9	43 91.5	1 3.7	13 40.6	8 38.1	33 73.3	119 92.2	53 94.6	32 91.4
手術	455 75.5	87 72.5	81 89.0	39 83.0	1 3.7	11 34.4	8 38.1	22 48.9	126 97.7	45 80.4	35 100.0
その他	12 2.0	1 0.8	0 0.0	0 0.0	2 7.4	0 0.0	1 4.8	1 2.2	1 0.8	6 10.7	0 0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-5 治療方法

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,243	356	205	117	65	54	54	167	129	56	40
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	874	265	177	96	7	20	25	78	124	43	39
	70.3	74.4	86.3	82.1	10.8	37.0	46.3	46.7	96.1	76.8	97.5
放射線療法	89	6	0	4	1	10	3	18	27	18	2
	7.2	1.7	0.0	3.4	1.5	18.5	5.6	10.8	20.9	32.1	5.0
化学療法	485	135	98	64	16	16	17	61	65	10	3
	39.0	37.9	47.8	54.7	24.6	29.6	31.5	36.5	50.4	17.9	7.5
ホルモン療法	120	1	0	0	0	0	0	1	97	3	18
	9.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	75.2	5.4	45.0
免疫療法	37	14	7	5	1	4	1	2	2	1	0
	3.0	3.9	3.4	4.3	1.5	7.4	1.9	1.2	1.6	1.8	0.0
対症療法のみ	220	43	29	17	19	28	24	46	3	11	0
	17.7	12.1	14.1	14.5	29.2	51.9	44.4	27.5	2.3	19.6	0.0
その他	46	5	2	0	26	6	2	4	1	0	0
	3.7	1.4	1.0	0.0	40.0	11.1	3.7	2.4	0.8	0.0	0.0

治療方法	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	640	236	114	70	38	22	33	122			5
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
手術	429	182	96	58	6	9	17	57			4
	67.0	77.1	84.2	82.9	15.8	40.9	51.5	46.7			80.0
放射線療法	29	4	0	2	1	3	3	16			0
	4.5	1.7	0.0	2.9	2.6	13.6	9.1	13.1			0.0
化学療法	262	99	54	39	12	5	10	43			0
	40.9	41.9	47.4	55.7	31.6	22.7	30.3	35.2			0.0
ホルモン療法	3	0	0	0	0	0	0	1			2
	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8			40.0
免疫療法	22	10	4	2	1	2	1	2			0
	3.4	4.2	3.5	2.9	2.6	9.1	3.0	1.6			0.0
対症療法のみ	111	26	13	9	10	9	13	31			0
	17.3	11.0	11.4	12.9	26.3	40.9	39.4	25.4			0.0
その他	28	2	2	0	16	4	0	4			0
	4.4	0.8	1.8	0.0	42.1	18.2	0.0	3.3			0.0

治療方法	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	603	120	91	47	27	32	21	45	129	56	35
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
手術	445	83	81	38	1	11	8	21	124	43	35
	73.8	69.2	89.0	80.9	3.7	34.4	38.1	46.7	96.1	76.8	100.0
放射線療法	60	2	0	2	0	7	0	2	27	18	2
	10.0	1.7	0.0	4.3	0.0	21.9	0.0	4.4	20.9	32.1	5.7
化学療法	223	36	44	25	4	11	7	18	65	10	3
	37.0	30.0	48.4	53.2	14.8	34.4	33.3	40.0	50.4	17.9	8.6
ホルモン療法	117	1	0	0	0	0	0	0	97	3	16
	19.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.2	5.4	45.7
免疫療法	15	4	3	3	0	2	0	0	2	1	0
	2.5	3.3	3.3	6.4	0.0	6.3	0.0	0.0	1.6	1.8	0.0
対症療法のみ	109	17	16	8	9	19	11	15	3	11	0
	18.1	14.2	17.6	17.0	33.3	59.4	52.4	33.3	2.3	19.6	0.0
その他	18	3	0	0	10	2	2	0	1	0	0
	3.0	2.5	0.0	0.0	37.0	6.3	9.5	0.0	0.8	0.0	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

表3-6 手術

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計:10部位											
対象数	1,243	356	205	117	65	54	54	167	129	56	40
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	719	203	147	78	3	13	12	65	121	40	37
	57.8	57.0	71.7	66.7	4.6	24.1	22.2	38.9	93.8	71.4	92.5
非治癒切除	130	53	28	16	0	5	10	12	2	3	1
	10.5	14.9	13.7	13.7	0.0	9.3	18.5	7.2	1.6	5.4	2.5
その他手術	25	9	2	2	4	2	3	1	1	0	1
	2.0	2.5	1.0	1.7	6.2	3.7	5.6	0.6	0.8	0.0	2.5
していない	369	91	28	21	58	34	29	89	5	13	1
	29.7	25.6	13.7	17.9	89.2	63.0	53.7	53.3	3.9	23.2	2.5

手術	8部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男:8部位											
対象数	640	236	114	70	38	22	33	122			5
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0			100.0
治癒切除	331	139	82	46	2	4	7	47			4
	51.7	58.9	71.9	65.7	5.3	18.2	21.2	38.5			80.0
非治癒切除	83	37	14	11	0	4	8	9			0
	13.0	15.7	12.3	15.7	0.0	18.2	24.2	7.4			0.0
その他手術	15	6	0	1	4	1	2	1			0
	2.3	2.5	0.0	1.4	10.5	4.5	6.1	0.8			0.0
していない	211	54	18	12	32	13	16	65			1
	33.0	22.9	15.8	17.1	84.2	59.1	48.5	53.3			20.0

手術	10部位計	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
女:10部位											
対象数	603	120	91	47	27	32	21	45	129	56	35
	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
治癒切除	388	64	65	32	1	9	5	18	121	40	33
	64.3	53.3	71.4	68.1	3.7	28.1	23.8	40.0	93.8	71.4	94.3
非治癒切除	47	16	14	5	0	1	2	3	2	3	1
	7.8	13.3	15.4	10.6	0.0	3.1	9.5	6.7	1.6	5.4	2.9
その他手術	10	3	2	1	0	1	1	0	1	0	1
	1.7	2.5	2.2	2.1	0.0	3.1	4.8	0.0	0.8	0.0	2.9
していない	158	37	10	9	26	21	13	24	5	13	0
	26.2	30.8	11.0	19.1	96.3	65.6	61.9	53.3	3.9	23.2	0.0

注) 下欄は構成割合 (%)

IV 地域特性

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用
 (数は人; 率は人口10万対) 集計期間 平成13年1月～12月

表4-1 医療圏別罹患数、罹患率、年齢調整罹患率、死亡数、死亡率、年齢調整死亡率

男8部位、女10部位計

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男	合計	1,696	298.4	199.2	1,336	235.0	153.5
	南加賀	340	299.0	193.3	246	216.3	136.7
	石川中央	911	264.7	204.5	720	209.2	159.2
	能登中部	234	332.6	175.3	197	280.0	144.1
	能登北部	211	524.7	227.3	173	430.2	183.0
女	合計	1,429	235.2	132.8	981	161.5	78.7
	南加賀	317	256.5	148.4	204	165.1	80.0
	石川中央	771	214.0	134.6	523	145.2	81.3
	能登中部	207	266.6	120.5	156	201.0	77.8
	能登北部	134	291.0	105.9	98	212.8	63.7

胃

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	774	65.8	38.6	511	43.5	23.8
	南加賀	151	63.6	37.7	86	36.2	20.1
	石川中央	404	57.4	38.2	271	38.5	24.2
	能登中部	133	89.9	41.6	102	68.9	29.7
	能登北部	86	99.7	38.8	52	60.3	20.1
男	合計	487	85.7	58.0	318	55.9	36.2
	南加賀	97	85.3	56.3	53	46.6	29.5
	石川中央	243	70.6	54.7	167	48.5	36.6
	能登中部	81	115.1	63.8	60	85.3	44.8
	能登北部	66	164.1	71.7	38	94.5	36.2
女	合計	287	47.2	23.6	193	31.8	15.1
	南加賀	54	43.7	23.2	33	26.7	13.2
	石川中央	161	44.7	25.5	104	28.9	15.9
	能登中部	52	67.0	23.2	42	54.1	17.9
	能登北部	20	43.4	13.6	14	30.4	8.8

結腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	424	36.1	20.1	270	23.0	11.8
	南加賀	79	33.3	18.1	51	21.5	11.5
	石川中央	257	36.5	23.5	151	21.4	12.8
	能登中部	49	33.1	13.9	41	27.7	10.0
	能登北部	39	45.2	15.7	27	31.3	10.0
男	合計	222	39.1	25.4	130	22.9	14.7
	南加賀	42	36.9	23.2	24	21.1	13.6
	石川中央	137	39.8	30.3	75	21.8	16.5
	能登中部	23	32.7	16.8	16	22.7	10.3
	能登北部	20	49.7	16.9	15	37.3	13.0
女	合計	202	33.2	16.2	140	23.0	9.5
	南加賀	37	29.9	14.6	27	21.8	9.7
	石川中央	120	33.3	18.5	76	21.1	9.8
	能登中部	26	33.5	11.4	25	32.2	9.9
	能登北部	19	41.3	16.1	12	26.1	8.4

直腸

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	229	19.5	12.1	152	12.9	8.0
	南加賀	46	19.4	11.7	21	8.8	4.8
	石川中央	107	15.2	10.8	81	11.5	8.2
	能登中部	36	24.3	11.5	23	15.5	7.5
	能登北部	40	46.4	20.0	27	31.3	13.9
男	合計	138	24.3	16.7	102	17.9	12.3
	南加賀	27	23.7	16.3	13	11.4	7.3
	石川中央	69	20.1	15.5	59	17.1	13.3
	能登中部	20	28.4	14.2	16	22.7	11.8
	能登北部	22	54.7	28.0	14	34.8	20.0
女	合計	91	15.0	8.5	50	8.2	4.6
	南加賀	19	15.4	7.7	8	6.5	2.9
	石川中央	38	10.5	7.2	22	6.1	4.1
	能登中部	16	20.6	9.8	7	9.0	4.3
	能登北部	18	39.1	13.3	13	28.2	8.5

肝

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	283	24.1	14.6	277	23.6	14.0
	南加賀	58	24.4	14.6	57	24.0	14.1
	石川中央	157	22.3	15.5	160	22.7	15.6
	能登中部	42	28.4	13.7	34	23.0	10.3
	能登北部	26	30.1	13.5	26	30.1	13.1
男	合計	169	29.7	20.2	178	31.3	21.1
	南加賀	33	29.0	19.2	35	30.8	20.1
	石川中央	95	27.6	21.6	101	29.3	22.9
	能登中部	22	31.3	16.2	21	29.8	14.5
	能登北部	19	47.2	23.7	21	52.2	25.3
女	合計	114	18.8	10.2	99	16.3	8.5
	南加賀	25	20.2	10.8	22	17.8	9.2
	石川中央	62	17.2	10.6	59	16.4	9.8
	能登中部	20	25.8	12.3	13	16.7	7.7
	能登北部	7	15.2	5.1	5	10.9	3.2

胆道

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	216	18.4	9.4	202	17.2	8.6
	南加賀	48	20.2	11.2	43	18.1	10.1
	石川中央	119	16.9	9.8	114	16.2	9.1
	能登中部	27	18.2	7.2	24	16.2	6.5
	能登北部	22	25.5	8.0	21	24.3	7.3
男	合計	103	18.1	11.7	90	15.8	10.2
	南加賀	21	18.5	12.4	16	14.1	9.6
	石川中央	60	17.4	13.0	55	16.0	12.0
	能登中部	14	19.9	9.1	11	15.6	7.1
	能登北部	8	19.9	8.5	8	19.9	8.1
女	合計	113	18.6	7.7	112	18.4	7.3
	南加賀	27	21.8	10.3	27	21.8	10.6
	石川中央	59	16.4	7.3	59	16.4	6.6
	能登中部	13	16.7	6.3	13	16.7	6.6
	能登北部	14	30.4	7.2	13	28.2	6.4

膝

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	205	17.4	9.8	193	16.4	9.0
	南加賀	59	24.9	13.2	46	19.4	9.8
	石川中央	101	14.3	9.6	99	14.1	9.3
	能登中部	26	17.6	8.3	28	18.9	8.7
	能登北部	19	22.0	6.6	20	23.2	7.1
男	合計	102	17.9	12.2	92	16.2	10.7
	南加賀	30	26.4	16.4	23	20.2	12.3
	石川中央	51	14.8	11.8	45	13.1	10.0
	能登中部	13	18.5	11.2	13	18.5	11.4
	能登北部	8	19.9	7.8	11	27.4	10.6
女	合計	103	17.0	7.7	101	16.6	7.6
	南加賀	29	23.5	10.9	23	18.6	8.0
	石川中央	50	13.9	7.6	54	15.0	8.6
	能登中部	13	16.7	5.5	15	19.3	5.8
	能登北部	11	23.9	5.7	9	19.5	4.5

肺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	632	53.7	30.7	572	48.6	27.0
	南加賀	123	51.8	27.8	114	48.0	25.0
	石川中央	335	47.6	31.8	289	41.0	26.7
	能登中部	88	59.5	27.0	87	58.8	26.7
	能登北部	86	99.7	37.1	82	95.1	35.7
男	合計	464	81.6	53.6	420	73.9	47.6
	南加賀	87	76.5	47.9	80	70.4	43.1
	石川中央	250	72.6	56.0	216	62.8	47.4
	能登中部	60	85.3	43.5	59	83.9	43.6
	能登北部	67	166.6	70.0	65	161.6	69.0
女	合計	168	27.7	13.9	152	25.0	12.3
	南加賀	36	29.1	13.6	34	27.5	12.7
	石川中央	85	23.6	14.0	73	20.3	11.9
	能登中部	28	36.1	15.1	28	36.1	14.5
	能登北部	19	41.3	12.6	17	36.9	10.5

甲状腺

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
男女計	合計	68	5.8	4.4	22	1.9	0.9
	南加賀	23	9.7	7.5	7	2.9	1.3
	石川中央	35	5.0	4.1	10	1.4	0.8
	能登中部	6	4.1	3.2	2	1.4	0.4
	能登北部	4	4.6	2.6	3	3.5	1.4
男	合計	11	1.9	1.5	6	1.1	0.6
	南加賀	3	2.6	1.6	2	1.8	1
	石川中央	6	1.7	1.7	2	0.6	0.4
	能登中部	1	1.4	0.5	1	1.4	0.5
	能登北部	1	2.5	0.8	1	2.5	1
女	合計	57	9.4	7.3	16	2.6	1.0
	南加賀	20	16.2	13.1	5	4.0	1.4
	石川中央	29	8.0	6.2	8	2.2	1.0
	能登中部	5	6.4	6.0	1	1.3	0.4
	能登北部	3	6.5	4.5	2	4.3	1.9

女性乳房

	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	199	32.8	24.5	80	13.2	9.2
	南加賀	50	40.5	30.2	19	15.4	9.6
	石川中央	107	29.7	23.5	46	12.8	9.9
	能登中部	25	32.2	22.6	7	9.0	6.5
	能登北部	17	36.9	20.1	8	17.4	7.9
浸潤	合計	167	27.5	20.1	80	13.2	9.2
	南加賀	43	34.8	25.1	19	15.4	9.6
	石川中央	87	24.1	18.7	46	12.8	9.9
	能登中部	22	28.3	20.1	7	9.0	6.5
	能登北部	15	32.6	18.1	8	17.4	7.9
上皮内	合計	32	5.3	4.4	0	—	—
	南加賀	7	5.7	5.1	0	—	—
	石川中央	20	5.6	4.7	0	—	—
	能登中部	3	3.9	2.6	0	—	—
	能登北部	2	4.3	2.0	0	—	—

子宮

性	医療圏	罹患数	罹患率	年齢調整罹患率	死亡数	死亡率	年齢調整死亡率
計	合計	95	15.6	13.1	38	6.3	3.6
	南加賀	20	16.2	13.9	6	4.9	2.7
	石川中央	60	16.7	14.3	22	6.1	3.7
	能登中部	9	11.6	8.2	5	6.4	4.2
	能登北部	6	13.0	7.7	5	10.9	3.7
部位不明	合計	12	2.0	1.2	13	2.1	1.3
	南加賀	1	0.8	0.6	1	0.8	0.6
	石川中央	8	2.2	1.4	9	2.5	1.7
	能登中部	2	2.6	1.9	2	2.6	1.9
	能登北部	1	2.2	0.3	1	2.2	0.3
頸部	合計	40	6.6	5.4	17	2.8	1.6
	南加賀	14	11.3	9.0	4	3.2	1.9
	石川中央	23	6.4	5.6	9	2.5	1.5
	能登中部	1	1.3	0.5	2	2.6	1.5
	能登北部	2	4.3	1.8	2	4.3	2.1
体部	合計	24	4.0	2.8	8	1.3	0.6
	南加賀	2	1.6	1.1	1	0.8	0.3
	石川中央	14	3.9	2.8	4	1.1	0.6
	能登中部	6	7.7	5.8	1	1.3	0.9
	能登北部	2	4.3	1.3	2	4.3	1.3
頸部 上皮内	合計	19	3.1	3.7	0	—	—
	南加賀	3	2.4	3.2	0	—	—
	石川中央	15	4.2	4.5	0	—	—
	能登中部	0	0.0	0.0	0	—	—
	能登北部	1	2.2	4.3	0	—	—

V 全国推計値との比較関係

年齢調整率は直接法、昭和60年モデル人口を使用

(率は人口10万対)

表5-1 罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)
胃	65.8	81.8	85.7	112.4	47.2	52.6
結腸	36.1	49.1	39.1	56.6	33.2	41.9
直腸	19.5	25.5	24.3	33.0	15.0	18.3
肝	24.1	30.0	29.7	42.2	18.8	18.2
胆道	18.4	13.5	18.1	12.9	18.6	13.9
膵	17.4	15.2	17.9	16.9	17.0	13.5
肺	53.7	50.0	81.6	72.8	27.7	28.2
女性乳房					32.8	55.8
子宮					15.6	28.4
甲状腺	5.8	6.3	1.9	2.5	9.4	10.0

表5-2 年齢調整罹患率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)	石川県 (平14)	全国推計値 (平11)
胃	38.6	57.1	58.0	87.1	23.6	33.3
結腸	20.1	33.9	25.4	43.8	16.2	25.9
直腸	12.1	18.2	16.7	25.7	8.5	12.0
肝	14.6	20.6	20.2	32.4	10.2	10.9
胆道	9.4	8.5	11.7	9.9	7.7	7.5
膵	9.8	10.0	12.2	13.0	7.7	7.6
肺	30.7	33.3	53.6	55.7	13.9	16.9
女性乳房					24.5	46.4
子宮					13.1	24.7
甲状腺	4.4	5.3	1.5	2.1	7.3	8.3

表5-3 死亡率の比較

	男女計		男		女	
	石川県 (平14)	全国値 (平14)	石川県 (平14)	全国値 (平14)	石川県 (平14)	全国値 (平14)
胃	43.5	39.1	55.9	51.5	31.8	27.1
結腸	23.0	19.8	22.9	20.4	23.0	19.3
直腸	12.9	10.1	17.9	13.0	8.2	7.3
肝	23.6	27.5	31.3	38.7	16.3	16.8
胆道	17.2	12.5	15.8	11.8	18.4	13.1
膵	16.4	16.0	16.2	17.5	16.6	14.5
肺	48.6	44.8	73.9	66.8	25.0	23.7
女性乳房					13.2	14.9
子宮					6.3	8.3

表5-4 年齢調整死亡率の比較

	男		女	
	石川県 (平14)	全国値 (平14)	石川県 (平14)	全国値 (平14)
胃	36.2	35.3	15.1	13.8
結腸	14.7	13.9	9.5	9.5
直腸	12.3	9.1	4.6	3.9
肝	21.1	26.7	8.5	8.5
胆道	10.2	7.9	7.3	5.9
膵	10.7	12.1	7.6	7.2
肺	47.6	45.3	12.3	11.8
女性乳房			9.2	10.8
子宮			3.6	5.2

VI 生存率集計関係

集計対象：平成10年罹患者

表6-1 部位別、性別5年生存率、5年相対生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
5年生存率	男女計	57.5	62.2	55.5	20.4	18.8	5.7	25.8			93.3
	男	55.5	60.2	53.4	19.6	24.4	3.7	22.1			85.7
	女	60.6	64.5	58.3	22.1	13.7	8.6	39.5	83.7	72.5	94.3
5年相対生存率	男女計	64.4	70.1	61.9	22.9	21.1	6.7	29.3			96.2
	男	63.4	68.7	59.7	22.7	28.3	4.3	25.0			90.2
	女	66.4	71.8	65.7	23.1	14.5	10.5	42.1	87.5	75.7	97.0

表6-2 検診群、外来群別5年生存率 (%)

		胃	結腸	直腸	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
男女計	検診群	83.6	92.0	78.6	60.7			100.0
	外来群	54.4	58.4	53.4	15.9			91.2
男	検診群	87.1	92.9	87.5	52.8			
	外来群	50.7	55.6	50.6	13.8			85.7
女	検診群	70.0	90.9	66.6	72.6	90.0	80.0	100.0
	外来群	59.9	61.3	58.3	22.5	82.9	71.8	92.1

表6-3 病巣のひろがり別5年生存率 (%)

	胃	結腸	直腸	肝	胆道	膵	肺	女性乳房	子宮	甲状腺
早期がん	87.7	91.9	84.7	37.5	50.0	—	81.8	87.5	95.7	100.0
進行がん	36.0	51.3	46.2	21.4	16.0	2.7	19.4	83.3	55.5	93.9

※ 進行がんは、限局性、リンパ節転移、隣接臓器浸潤、遠隔転移の患者を総計したものである。

資 料

(目的)

第1条 がん予防対策を効果的に推進するため、県民に発生したがん患者に関する情報を収集し、その実態を把握、分析することを目的とする。

(実施主体)

第2条 本事業の実施主体は、石川県とし、社団法人石川県医師会の協力を得て行うものとする。

(事業内容)

第3条 本事業は、次に掲げる事項を実施するものとする。

- (1) がん患者に関する情報の収集
- (2) がん患者に関する情報の確認及び管理
- (3) がん患者に関する情報の入力
- (4) がん患者に関する情報の集計・解析
- (5) がん患者に関する情報の保管
- (6) がん患者に関する統計資料の利用及び公表
- (7) 届出医師及び医療機関への関係するがん患者情報の提供
- (8) 他県との情報交換
- (9) その他がん情報管理事業に必要な調査研究

なお、事業に関する必要な事項は、「石川県地域がん情報管理事業実施要領」に定めるものとする。

(事業の運営)

第4条 本事業は、「石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会」の指導を受けるものとする。

- 2 本事業における登録資料の利用に関して、「石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会」の意見を求めるものとし、同部会部会長は、議事の審議に関し必要があるときは、会議に委員以外の学識経験者の出席を求め、意見を聴取することができるものとする。

(医療機関等の協力)

第5条 本事業は、県内全医療機関及び金沢市の保健所の協力・参加を得て行うものとする。

(守秘義務)

第6条 この事業に従事した者は、業務上知り得た秘密を他に洩らしてはならない。また、その業務を離れた場合も同様とする。

附 則 この要綱は、平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要綱は、平成16年9月1日から施行する。

<資料2>

石川県地域がん情報管理事業実施要領

(趣旨)

第1 この要領は、「石川県地域がん情報管理事業実施要綱」に基づいて実施する事業に関して、必要な事項を定めるものとする。

(事業の対象)

第2 対象とする疾患の範囲は、「第10回修正国際疾病分類に基づく疾病、障害及び統計分類基本分類」のうち別表に定める悪性新生物とする。

2 がん患者の範囲は、県内に住所を有し、医療機関で前項に規定する疾患の確診・疑診を受けた者及びその疾患による死亡者とする。

(届出の時期)

第3 診療に従事する医師は、他の診療科又は他の医療機関の医師からの届出の有無にかかわらず、第2の1に規定する疾患と確診・疑診したときに届出のものとする。

2 治療が終了・中止されていた者を再び第2の1に規定する疾患と確診・疑診したとき及び届出済の患者を新たに別の第2の1に規定する疾患と確診・疑診したときに届出のものとする。

3 入院患者については、前2項の診断時の届出のほかに退院時(死亡退院を含む。)に届出のものとする。

4 診察に従事する医師から確診・疑診とされた場合及び診断名の変更など届出内容の変更時には、届出のものとする。

(届出の方法)

第4 診療に従事する医師は、別紙様式「石川県悪性新生物届出票」(以下「届出票」という。)により、所定の事項を記載のうえ医師会に届出のものとする。

(死亡情報の届出)

第5 保健所長は、第2の1に規定する疾患に関する人口動態に係る死亡情報を石川県健康福祉部健康推進課を経由し、医師会に送付するものとする。

(業務区分)

第6 関係機関の業務区分は、別紙「石川県地域がん情報管理事業業務区分」により行うものとする。

(情報の照合、検査等)

第7 医師会は、第4、第5による届出を受け、その情報について、照合、検査等を行った後、その情報を石川県保健環境センターに送付するものとする。

(情報の集計・解析等)

第8 石川県保健環境センターは、医師会より送付された情報について、公衆衛生学的集計・解析を行い、その結果を石川県健康福祉部健康推進課に送付するものとする。

(情報の報告等)

第9 石川県健康福祉部健康推進課は、がん情報に関する報告書の作成、事業の運営調整等を行うものとする。

(その他)

第10 この要領に定めるもののほか、必要な事項はその都度石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会で、協議、審議のうえ別に定めるものとする。

附 則 この要領は平成3年7月31日から施行する。

附 則 この要領は平成4年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成12年4月1日から施行する。

附 則 この要領は平成16年9月1日から施行する。

附 則 この要領は平成17年4月1日から施行する。

<資料3> 石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領細則

(目的)

第1 この細則は、「石川県地域がん情報管理事業における情報の取扱要領」第5第1号に基づき、石川県地域がん情報管理事業資料（以下「がん登録資料」という。）を利用するにあたって必要な事項を定める。

(利用者)

第2 がん登録資料を利用できる者（以下「利用者」という。）は、次の者とする。

- (1) 石川県健康福祉部、石川県保健環境センター及び石川県医師会において、石川県地域がん情報管理事業に従事する者
- (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師、医療機関及び検診機関の管理者
- (3) 悪性新生物の診断、治療及び予防を研究目的としている者で、石川県健康福祉部健康推進課長が石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞き、適切と認めた者

(資料の利用)

第3 利用者は、がん登録資料の利用にあたっては本要領に定める利用手続きを経なければならない。

(利用の申請)

第4 がん登録資料の利用を希望する者は、健康推進課長あて「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用申請書」(様式第1号)により利用申請しなければならない。
なお、個人を特定しうる情報を含む資料を利用する場合は「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用に関する誓約書」(様式第2号)を添えて申請しなければならない。

(利用の審査)

第5 健康推進課長は、以下の基準に基づき、申請内容について石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会の意見を聞くものとする。

- (1) 利用目的(研究等)が悪性新生物の診断・治療及び予防を目的としていること。
- (2) 利用目的(研究等)の公益性が高いこと。
- (3) がん登録情報利用の必要性が高いこと。
- (4) がん登録情報の提供による個人又は、第三者の権利利益侵害の可能性がないこと。

2 第5第1項の審査は、次の各号についてはがん登録・評価等部会の部会長、副部会長、法律の専門家による簡易審査とすることができる。簡易審査の結果については、審査を行った委員以外のすべての委員に報告されなければならない。

- (1) 個人を特定しうる情報を含まない統計解析を目的とした資料の提供を希望する場合
- (2) 石川県地域がん情報管理事業に協力している医師または医療機関の管理者が、現在の診療に役立てる等の目的で、届出患者の予後の情報提供を希望する場合
- (3) がん検診の精度管理のため、検診受診者のがん罹患状況などの資料の提供を希望する場合

3 健康推進課長は、「石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会具申」(様式第3号)に基づき、登録資料利用の承認について決定し、「審査結果通知書」(様式第4号)により通知するものとする。

(提供と受領)

第6 利用者は利用を承認された対象範囲及び項目についてのみ、コンピュータ出力帳票又は磁気媒体により提供を受けるものとする。

なお、オンライン供給による資料の提供は行わないものとする。

- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)受領書」(様式第5号)を健康推進課長に提出しなければならない。
- 3 利用期間は当該提供に係る承認の日から最長1年間とする。

(返却、消去)

第7 利用者は、利用期間が終了したとき、又は利用目的が完了したときには、提供された資料のすべてを返却又は消去し、直ちに「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)返却・消去報告書」(様式第6号)を提出しなければならない。

- 2 第7第1項の様式第6号の提出は、第5第2項第1号については省略することができる。

(利用者の責務)

第8 がん登録資料利用者は、次の各号を遵守しなければならない。

- (1) がん登録資料を承認された目的、方法以外に利用してはならない。また、第三者にがん登録資料を譲渡、貸与、閲覧させてはならない。
- (2) がん登録資料から得た患者個人及び届出医療機関の情報を漏らしてはならない。
- (3) がん登録資料から得た患者個人、その家族及び届出医療機関と接触してはならない。
- (4) がん登録資料の保管に最大限配慮しなければならない。

(利用者への検査等)

第9 健康推進課長は、この細則によりがん情報を提供した場合、必要に応じてその資料の保管状況等について立ち入り検査し、または報告を聴取することができる。

- 2 がん登録資料の提供を受けた者は、前項の検査、報告に協力しなければならない。
- 3 健康推進課長は、検査等の結果、利用者に遵守事項の違反があった場合は、ただちに提供した資料の返還を求めることができる。

(利用の明示と成果の報告)

第10 利用者は、研究結果の報告、発表、投稿にあたっては、石川県地域がん情報管理事業の資料を利用したことを明記しなければならない。

- 2 利用者は、「石川県地域がん情報管理事業資料(がん登録資料)利用(研究)成果報告書」(様式第7号)と報告、発表、投稿した報告書、抄録、論文の写しを健康推進課長あてに提出しなければならない。
- 3 第10第2項の様式第7号の提出は、第5第2項第2号、第3号については省略することができる。

(利用状況の報告)

第11 健康推進課長は、定期的ながん情報資料の利用状況について、石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会に報告しなければならない。

(主管部局)

第12 主管部課は、石川県健康福祉部健康推進課とする。

(その他)

第13 健康推進課長は、本取扱要領に記載のない申請事項については、関係機関と協議して定める。

附則：この細則は平成16年1月30日から施行する。

附則：この細則は平成16年9月1日から施行する。

附則：この細則は平成17年4月1日から施行する。

別 表

国際疾病分類	種 別
C16	胃の悪性新生物
C18	結腸の悪性新生物
C20、C19、C21	直腸、直腸S字結腸移行部及び肛門の悪性新生物
C22	肝及び肝内胆管の悪性新生物
C23、C24	胆のう(嚢)及び肝外胆管の悪性新生物
C25	膵の悪性新生物
C33、C34	気管、気管支及び肺の悪性新生物
C50(女)、D05(女)	女性乳房の悪性新生物
C55、C53、C54、D06	子宮の悪性新生物
C73	甲状腺の悪性新生物

<資料4> 石川県地域がん情報管理事業業務区分

- 1 石川県健康推進課の業務
 - (1) がん情報に関する報告書の作成、公表
 - (2) 石川県地域がん情報管理・運営協議会の事務
 - (3) 登録資料利用の事務
 - (4) 石川県成人病検診管理指導協議会がん登録・評価等部会
 - (5) 石川県地域がん情報管理事業の関係機関等との連絡調整
 - (6) 届出票、封筒の作成
 - (7) 委託業務の管理
- 2 石川県医師会の業務
 - (1) 医療機関に対する届出の依頼及びその体制の整備
 - (2) 届出票の受理及び保管
 - (3) 届出票の管理
 - (4) 届出票の内容に関する医療機関への照会及び訂正
 - (5) 届出情報の入力
 - (6) 登録資料利用の事務
 - (7) 医療機関への届出票等の配布
 - (8) 医療機関への届出謝金の支払
 - (9) 委託業務の報告
- 3 石川県及び金沢市の保健所の業務
 - (1) 保健所管内におけるがんに関わる死亡小票の入力及び送付
 - (2) 死亡情報の確認
- 4 石川県保健環境センターの業務
 - (1) 情報システムの運用管理
 - (2) 情報の集計、解析、検索
 - ① 年間届出数
 - ② 罹患数(罹患率)
 - ③ 死亡者数(死亡率)
 - ④ 生存率
 - ⑤ 入院率
 - ⑥ 治療方法
 - ⑦ その他公衆衛生学的解析に必要な事項
 - (3) 報告資料の作成
 - (4) 情報の保管

1 障害対策

医師会側の入力情報の障害対策として、悪性新生物届出データをコンピュータ本体の記憶装置から1ヶ月に1回はフロッピーディスクに退避させておくものとする。

2 セキュリティー対策

セキュリティ対策は、次のとおりとする。

(1) 医師会側のシステム及び操作

①システムの起動

医師会側システムは、石川県地域眼情報管理事業における情報の取扱要領第2の2の係員ごとに保持する個人用IDフロッピーディスクをセットし、個人パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②情報処理の開始

記号後の情報処理は、システムパスワードを正しく入力しない限り開始されないものとする。

③保健所側データの解読

保健所側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。

④出力

医師会側より石川県保健環境センターへのデータフロッピーは、キーワードを付してそうふするものとする。

(2) 保健所側のシステム及び操作

①システムの起動

保健所側のシステムは、パスワードを正しく入力しない限り起動しないものとする。

②出力

保健所側より医師会へのデータフロッピーは、暗号化して送付するものとする。

(3) 石川県保健環境センター側のシステム及び操作

医師会側より届くデータフロッピーは、キーワードを正しく入力しない限り解読されないものとする。

石川県成人病検診管理指導協議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県成人病検診管理指導協議会(以下、「協議会」という。)は、健康診査管理指導等事業実施のための指針(平成10年3月31日付老健第65号厚生省老人保健福祉局老人保健課長通知)(以下、「指針」という。)に基づき設置し、がん、心臓病、脳血管疾患等の生活習慣病の動向把握、並びに市町村及び検診機関に対する検診の実施方法や精度管理、情報の利用等のあり方について、専門的な見地から適切な指導を行うことを目的とする。

(構成)

第2条 協議会には、次の部会(以下、「部会」という。)を設け、所掌事務を協議する。

- (1) 循環器疾患等部会
- (2) 胃がん部会
- (3) 子宮がん部会
- (4) 肺がん部会
- (5) 乳がん部会
- (6) 大腸がん部会
- (7) がん登録・評価等部会

(所掌事務)

第3条 協議会は、各部会における健康診査管理事業のあり方の検討及び報告の取りまとめを行う。

2 各部会の所掌事務は、指針の第3に規定する各部会の運営方針による。

(協議会委員の委嘱等)

第4条 協議会の委員は、次の各号に掲げる者のうちから知事が委嘱又は任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 関係団体の推薦する者
- (3) 行政機関の職員
- (4) その他知事が必要と認める者

(部会委員の委嘱等)

第5条 各部会は、原則として15名以内の委員をもって構成する。

2 各部会委員は、協議会の委員に準じ健康福祉部長が委嘱又は任命する。

(委員の任期)

第6条 協議会及び部会の委員の任期は、2年とする。

2 前項の委員に欠員が生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長等)

第7条 協議会には、会長及び副会長を各1名置く。

2 協議会の会長は、協議会委員の中から知事が委嘱し又は任命し、副会長は、協議会委員の中から会長が指名する。

3 各部会には、部会長及び副部会長を各1名置く。

4 部会長は、各部会において協議会委員の中から選出し、副部会長は、部会長が部

会委員の中から指名する。

5 会長及び部会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

6 副会長及び副部会長は、それぞれの会長及び部会長を補佐し、会長及び部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議の招集)

第8条 会議は、協議会にあつては会長が、部会にあつては各部会長が招集する。
また、委員の半数以上の出席をもって、会議は成立するものとする。

(庶務)

第9条 協議会、及び部会の庶務は、石川県健康福祉部健康推進課において処理する。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、協議会及び各部会の運営に関して必要な事項は会長及び部会長が定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和59年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和61年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、昭和62年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成元年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成2年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成4年6月9日から施行する。

附 則

1 この要綱は、平成7年3月1日から施行する。

2 この要綱の施行後、最初に任命される脳卒中情報システム委員会の委員の任期は、第6条の規定にかかわらず、平成7年3月1日から平成7年3月31日までとする。

附 則

この要綱は、平成10年4月7日から施行する。

附 則

- 1 この要綱は、平成12年4月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行後、最初に任命されるがん情報管理委員会の委員の任期は、第6条の規定にかかわらず、平成12年4月1日から平成12年8月31日までとする。
- 3 次に掲げる要綱は廃止する。

石川県がん情報管理・運営協議会設置要綱(平成3年7月31日)

附 則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成16年9月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

<資料7> 石川県成人病検診管理指導協議会委員名簿

石川県成人病検診管理指導協議会

(任期:平成18年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備 考	
学 識 経 験 者	馬 洵 宏	金沢大学大学院医学系研究科脂質研究講座客員教授	会 長	
〃	磨 伊 正義	映寿会みらい病院名誉教授		
〃	井 上 正 樹	金沢大学大学院医学系研究科教授(分子移植学)		
〃	高 島 力	金沢大学名誉教授		
〃	三 輪 晃 一	富山労災病院長		
〃	中 川 秀 昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)		
石 川 県 医 師 会 推 薦	倉 西 久 雄	石川県医師会副会長		副会長
〃	中 村 彰	石川県医師会理事		
そ の 他 の 関 係 機 関 推 薦	西 正 美	石川県成人病予防センター理事長		
行 政 機 関	越 田 理 恵	金沢市保健衛生課担当課長		
	川 島 ひ ろ 子	石川県保健所長会会長		

がん登録・評価等部会

(任期:平成18年8月31日まで)

区 分	氏 名	職 名	備 考
学 識 経 験 者	中 川 秀 昭	金沢医科大学教授(健康増進予防医学)	部会長
〃	磨 伊 正義	映寿会みらい病院名誉教授	
〃	尾 島 茂 樹	金沢大学大学院法務研究科教授	
〃	越 島 久 弥	弁護士	副部会長
石 川 県 医 師 会 推 薦	倉 西 久 雄	石川県医師会副会長	
〃	中 村 彰	石川県医師会理事	
〃	大 平 政 樹	石川県医師会理事	
そ の 他 の 関 係 機 関 推 薦	竹 下 八 洲 男	金沢社会保険病院長	
〃	西 正 美	石川県成人病予防センター理事長	
行 政 機 関	堂 前 志 津 男	石川県保健奨励センター所長	
	越 田 理 恵	金沢市保健衛生課担当課長	
〃	小 林 勝 義	石川県石川中央保健福祉センター地域保健監兼 河北地域センター所長	

秘 石川県悪性新生物届出票

提出用

- 届出対象者は県内に住所を有する者とします。
- 届出対象となる悪性新生物(がん)は、原発部位が以下のものです。
 - 胃
 - 結腸
 - 直腸
 - 肝
 - 胆道(胆のうを含む。)
 - 膵
 - 肺(左・右・両方)
 - 女性乳房(左・右・両方)
 - 子宮(部位不明・頸部・体部)
 - 甲状腺
- 届出時期は以下のとおりです。速やかに届出してください。
 - 診断時 初発・再発、通院・入院を問わず、貴院にてがんの疑診あるいは確診とされた時
 - 退院時(死亡退院も含む。)
 - 届出内容変更時 診断名変更(取り消しも含む。),「疑診」から「確診」に変更など。ただし、診断名変更の場合は、旧診断名も記入してください。また、変更のない項目は斜線を引いてください。
- 同一患者に2つ以上のがんが発生した場合(転移性は除く。)には、それぞれにつき届出票を出してください。
- がん患者が在宅死亡した場合も届出が必要です。なお、前医がわかれば「意見欄」にその医療機関名及び主治医名を記入してください。
- 届出時点で記入できない欄は、斜線を引いてください。
- 記入に際しては「記入・届出上の留意事項」を参照してください。
 なお、ポリペクトミーの有無については、治療目的で行ったものに関して記入してください。

平成 年 月 日記入

フリガナ	生 年 月 日		1 男	届出時期	1 診断時
患者氏名	1 明 2 大 3 昭 4 平 年 月 日		2 女		2 退院時 (死亡退院も含む。)
住 所	石 川 県	市・郡	町・村	番地	3 届出内容変更時
診 断 名	※	旧診断名	1 初 発 2 再 発	1 確 診 2 疑 診	
原 発 部 位	1 胃 2 結腸 3 直腸 4 肝 5 胆道(胆のうを含む。) 6 膵 7 肺(左 右 両方) 8 女性乳房(左 右 両方) 9 子宮(部位不明 頸部 体部) 10 甲状腺			貴院での 診断年月日	年 月 日
病巣のひろがり (診 断 時)	1 早期(上皮内がんを含む。) 進行がん(2 限局性 3 所属リンパ節転移 4 隣接臓器浸潤 5 遠隔転移) 6 不 明				
貴 院 で の 診 断 方 法	① エックス線(1 した、2 していない) ④ C T(1 した、2 していない) ⑦組織診(1 した、2 していない) ② 超 音 波(1 した、2 していない) ⑤ 内視鏡(1 した、2 していない) ⑧手 術(1 した、2 していない) ③ R I (1 した、2 していない) ⑥ 細胞診(1 した、2 していない) ⑨その他()				
組 織 診 断 名	※				
来 院 の 動 機 (検 診 が 動 機 の 場 合 は 3、4、5)	1 貴院へ直接受診(検診関係を除く) 2 他院からの紹介(検診関係を除く) 3 施設検診 4 集団検診後の精密検査 5 健康診断(ドックを含む) 6 その他 7 不明			自覚 症状	1 有 2 無 3 不明
診 断 後 の 指 示	1 貴院で再検査又は加療 2 他院へ紹介(病医院へ 年 月 日 紹介)				
貴 院 で の 治 療 方 法	① 入院 {1 した(年 月 日 ~ 年 月 日)、 2 していない} 貴院での前回入院(1 あり、 2 なし) ② 手術(年 月 日、 1 治療切除 2 非治療切除 3 その他)、 4 手術していない ポリペクトミー {1 した(a 治療切除 b 非治療切除) 2 していない} ③ 放射線療法(1 した、2 していない) ⑤ ホルモン療法(1 した、2 していない) ⑦ 対症療法のみ(1 した、2 していない) ④ 化学療法(1 した、2 していない) ⑥ 免疫療法(1 した、2 していない) ⑧ その他()				
退 院 時 の 指 示 及 び 転 帰	1 治療終了(経過観察を含む。) 2 貴院で通院加療継続 3 他院へ紹介(病医院へ 年 月 日 紹介) 4 原病死(年 月 日) 5 他病死(年 月 日)			剖 検	1 有 2 無
意 見 欄					

医療機関 所在地
名称・診療科
電 話 番 号
届 出 医 師 名

整理番号(貴院カルテ番号)

※ 受付年月日	年	月	日	
登録年月日	年	月	日	登録番号

※欄は記入しないでください。

記入・届出上の留意事項

項 目	内 容
共 通 事 項	記入は、該当する算用数字に○印を付け、それ以外は具体的に記入してください。ただし、届出時点で記入できない欄は斜線を引いてください。
届 出 対 象 者	県内に住所を有する者を対象とします。
届出対象となるがん	届出対象となるがんは、原発部位が以下のものです。 1 胃 2 結腸 3 直腸 4 肝 5 胆道(胆のうを含む)。 6 膵 7 肺(左右両方) 8 女性乳房(左右両方) 9 子宮(部位不明・頸部・体部) 10 甲状腺
患 者 氏 名	氏名は漢字で、フリガナは正しい読み方を確認のうえ記入してください。
住 所	現住所を番地まで正確に記入してください。
届 出 時 期	1 診 断 時 初発・再発、通院・入院を問わず、貴院にてがんの疑診あるいは確診とされた時をいい、速やかに提出してください。 2 退院時(死亡退院も含む。) 3 届出内容変更時 診断名変更(取り消しも含む。),「疑診」から「確診」に変更などの場合です。 ただし、診断名変更の場合は、旧診断名も記入してください。 また、変更のない項目は斜線を引いてください。
診 断 名	<ul style="list-style-type: none"> ・がん又は肉腫が原発したと考えられる臓器名を詳しく記入してください。 ・診断名は、必ず日本語で記入してください。 ・同一患者に2つ以上のがんが発生した場合、転移性によるものを除き、それぞれにつき届出してください。 ・結腸又は直腸に2つ以上のがんが発生した場合は、上行・横行・下行・S状結腸、直腸、肛門等を異なる部位として、それぞれにつき届出してください。 ・両側性の臓器(肺・乳房)の場合は、左右どちらか又は両方かを明記してください。
旧 診 断 名	診断名変更時の届出の場合に、前回届出の診断名を記入してください。
初 発 ・ 再 発	1 初 発 再発や転移でないと判断されるものです。 2 再 発 貴院において、臨床的に治癒状態にあったもので、その後原発がんに関連するがんの発生があった場合です。
原 発 部 位	4 肝 肝原発及び肝内胆管を指します。 5 胆 道 胆のう及び肝外胆管を指します。
貴院での診断年月日	前医での診断の有無にかかわらず、貴院でがんと診断した日を記入してください。
病 巣 の ひ ろ が り (診断時)	6 不 明 届出時点で病巣のひろがり不明な場合です。

項 目	内 容
貴院での診断方法	① ～ ⑧ すべての項目について、(1 した、2 していない)の該当する番号に○印を付けてください。 ⑨ そ の 他 具体的に記入してください。
組 織 診 断 名	がんの病理組織所見を記入してください。 組織診断名が不明の場合は斜線を引いてください。
来 院 の 動 機	3 ～ 5 検診で見えられた場合に○印を付けてください。 3 施設検診 市町村又は職場が行う医療機関での検診をいいます。
貴院での治療方法	① ～ ⑧ 貴院で行った治療に関してのみ、お答えください。 ① 入 院 入院した場合は、入院年月日、退院年月日を記入してください。 貴院での前回入院の有無を記入してください。 ② 手 術 貴院で手術した場合は、手術実施年月日を記入してください。 1 治癒切除……………腫瘍を完全に摘除しえた時 2 非治癒切除……………不完全切除に終わった時 3 その他……………根治手術不能例に対して症状軽減若しくは延命効果を目的とした一手段として行った場合又は試験開腹等 ポリペクトミーは手術に含めないものとし、治療目的で行ったものに関して記入して下さい。 ⑦ 対症療法のみ 他の治療を一切せず、対症療法のみを行った場合です。 ⑧ そ の 他 具体的に記入してください。
退院時の指示及び帰転	3 他院へ紹介 病医院名、紹介日を記入してください。 4 原 病 死 診断名欄に記載した悪性新生物の進行、増悪によって死亡したものです。 5 他 病 死 届出以外のがん又は脳血管障害など他の因子によることが明らかかなものです。
意 見 欄	連絡欄として活用ください。 がん患者が在宅死亡した場合、前医がわかれば、その医療機関名及び主治医名を記入してください。
医 療 機 関	所在地、名称・診療科名、電話番号、届出医師名を記入してください。 整理番号（貴院カルテ番号）により、記載内容について問合わせすることがありますので、患者（カルテ）番号を記入してください。

平成14年度石川県がん情報管理事業におけるがん登録届出
医療機関名及び届出数

(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

地区	医療機関名	届出数
金沢	浅野内科医院	2
	有松中央病院	8
	石川県成人病予防センター	133
	うきた病院	3
	大平胃腸科外科クリニック	3
	丘村クリニック	3
	おぎの胃腸科クリニック	28
	金沢社会保険病院	43
	金沢市立病院	90
	金沢大学医学部附属病院	8
	金沢東クリニック	3
	石川県立中央病院	360
	金沢医療センター	327
	斉藤内科倉西外科医院	1
	ヤザキ外科医院	1
	米島内科医院	1
	石川県予防医学協会	201
加賀	板谷医院	18
	公立加賀中央病院	284
	久藤総合病院	3
	山下医院	13

地区	医療機関名	届出数
小松	神足産婦人科医院	1
	小松市民病院	53
	森田病院	4
	やわたメディカルセンター	13
能美	辰口芳珠記念病院	135
	能美市立病院	24
松任・石川	大倉外科医院	2
	新村病院	27
	つるぎ病院	8
	野々市産婦人科	5
	公立松任石川中央病院	79
河北	内灘温泉病院	1
	金沢医科大学病院	798
	河北中央病院	16
	二ツ屋病院	5
	山崎外科胃腸科医院	4
羽咋	加藤病院	1
	西村内科胃腸科クリニック	3
	公立羽咋病院	49
	村上産婦人科	1
七尾	円山病院	2
	恵寿総合病院	116
輪島	公立穴水総合病院	57
	伊藤医院	1
珠洲	升谷医院	8
合計		2,946

【参考：平成13年度届出数 1,866件】

<注> これは上記期間中に届出を受け付けた件数であるので、平成13年度に診断したとしても、平成14年度中に届出がなされれば平成14年度分の報告となる。

石川県におけるがん登録
(平成 14 年標準集計・平成 10 年罹患者生存率集計)

平成 18 年 3 月発行

発行 石川県健康福祉部健康推進課
石川県金沢市鞍月 1 丁目 1 番地
電話 076(225)1437

集計・解析 石川県保健環境センター
石川県太陽が丘 1-11
電話 076(229)2011